平成３０年　３月３０日

全国路線網に属する高速道路に係る業務実施計画の変更について

１中（１１０）を（１１２）とし、（９３）から（１０９）まで２ずつ繰り下げ、（８２）から（９２）までを１ずつ繰り下げ、（８１）、（９３）の次に次のとおり加える。

（８２）一般国道２４号（京奈和自動車道（大和北道路））

（９４）一般国道１６３号（第二阪奈道路）

「（７４）一般国道１１号（高松東道路）」を「（７４）一般国道１１号（高松東道路）※」に改め、（１１２）の次に次のとおり加える。

※平成２９年１１月２１日から高速自動車国道四国横断自動車道阿南四万十線として供用

２（１）、４（１）及び９（２）、「別紙１－Ｅ－１９０」を「別紙１－Ｅ－１９１」に、「別紙１－Ｗ－１２０」を「別紙１－Ｗ－１２７」に改める。

７（３）機構が会社に貸し付ける道路資産の貸付期間を次のとおり改める。

それぞれの道路資産が機構に帰属した日から平成７２年３月８日までとする。（各会社共通）

ただし、１中一般国道１６５号（南阪奈道路）は平成３０年４月１日から、一般国道１号（油小路線）は平成３１年４月１日から貸し付けるものとする。

別紙１－Ｅ－４、別紙１－Ｅ－９から別紙１－Ｅ－１２、別紙１－Ｅ－１５から別紙１－Ｅ－１７、別紙１－Ｅ－２６、別紙１－Ｅ－２９から別紙１－Ｅ－３１、別紙１－Ｅ－３４、別紙１－Ｅ－３６、別紙１－Ｅ－３７、別紙１－Ｅ－４２、別紙１－Ｅ－５６から別紙１－Ｅ－５８、別紙１－Ｅ－６１、別紙１－Ｅ－６４、別紙１－Ｅ－６５、別紙１－Ｅ－６９、別紙１－Ｅ－７３、別紙１－Ｅ－７５、別紙１－Ｅ－７６、別紙１－Ｅ－８０、別紙１－Ｅ－８６、別紙１－Ｅ－９０、別紙１－Ｅ－９５、別紙１－Ｅ－９６、別紙１－Ｅ－９８、別紙１－Ｅ－９９、別紙１－Ｅ－１０４、別紙１－Ｅ－１０６から別紙１－Ｅ－１０８、別紙１－Ｅ－１３０、別紙１－Ｅ－１４９から別紙１－Ｅ－１５２、別紙１－Ｅ－１５４から別紙１－Ｅ－１５７、別紙１－Ｅ－１５９、別紙１－Ｅ－１６１から別紙１－Ｅ－１９０、別紙１－Ｃ－２から別紙１－Ｃ－１０、別紙１－Ｃ－１３から別紙１－Ｃ－１５、別紙１－Ｃ－１７、別紙１－Ｃ－１９、別紙１－Ｃ－２０、別紙１－Ｃ－２２、別紙１－Ｃ－２４、別紙１－Ｃ－２６、別紙１－Ｃ－２９、別紙１－Ｃ－３０、別紙１－Ｃ－３２から別紙１－Ｃ－３４、別紙１－Ｃ－３６、別紙１－Ｃ－５０から別紙１－Ｃ－５３、別紙１－Ｃ－５５、別紙１－Ｃ－５８、別紙１－Ｃ－６０、別紙１－Ｃ－７１、別紙１－Ｃ－７８から別紙１－Ｃ－８０、別紙１－Ｃ－８２から別紙１－Ｃ－１０１、別紙１－Ｗ－２から別紙１－Ｗ－６、別紙１－Ｗ－９、別紙１－Ｗ－１２、別紙１－Ｗ－１３、別紙１－Ｗ－１６、別紙１－Ｗ－２４、別紙１－Ｗ－２７、別紙１－Ｗ－３１、別紙１－Ｗ－３４、別紙１－Ｗ－３５、別紙１－Ｗ－３９から別紙１－Ｗ－４１、別紙１－Ｗ－４７、別紙１－Ｗ－５１、別紙１－Ｗ－６２、別紙１－Ｗ－６９、別紙１－Ｗ－７０、別紙１－Ｗ－７４、別紙１－Ｗ－９１、別紙１－Ｗ－９９、別紙１－Ｗ－１０１、別紙１－Ｗ－１０４から別紙１－Ｗ－１１２、別紙１－Ｗ－１１４から別紙１－Ｗ－１１７、別紙１－Ｗ－１１９、別紙１－Ｗ－１２０、別紙１－Ｈ－１、別紙１－Ｈ－２を次のとおり改める。

別紙１－Ｅ－４

北海道横断自動車道黒松内釧路線

（北海道余市郡余市町登町から北海道小樽市新光町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道横断自動車道黒松内釧路線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　北海道余市郡余市町登町　　から
北海道小樽市新光町　　まで

（ロ） 延　　長　　23. 3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
北海道余市郡余市町登町 から 北海道小樽市新光町 まで	100	23. 3	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
北海道余市郡余市町登町 から 北海道小樽市新光町 まで	2 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	1．25×2	2．50	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道5号 道道登余市停車場線	北海道余市郡 余市町登町	平面接続	余市インターチェンジ
道道小樽西インター線	北海道小樽市 塩谷	立体接続	小樽塩谷インターチェンジ

（4） 工事予算

117，279 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　 4 月　19 日
②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　 3 月　31 日

※ 小樽ジャンクション小樽方面から余市方面へのランプの工事の着手及び完成の予定年月日は、本線部の進捗状況を踏まえ、別途定めるものとする。
※ 小樽ジャンクション余市方面から小樽方面へのランプの完成の予定年月日は、本線部と同時とし、上記②とする。

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

129，558 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　127，400 百万円）（消費税込み）

東北中央自動車道相馬尾花沢線
（山形県東置賜郡高畠町大字深沼から山形県上山市金瓶まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北中央自動車道相馬尾花沢線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　山形県東置賜郡高畠町大字深沼　　から
山形県上山市金瓶　　まで

（ロ） 延　　長　　24．4 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
山形県東置賜郡高畠町大字深沼 から 山形県上山市金瓶 まで	100	24．4	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245 kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50　メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
山形県東置賜郡 高畠町大字深沼　から 山形県上山市金瓶　まで	2 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	—	—	—	
トンネル部分	1．25×2	2．50	—	—	—	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

—　メートル　（土工部）
—　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道13号 （米沢南陽道路）	山形県東置賜郡 高畠町大字深沼	平面接続	本線
一般国道13号	山形県東置賜郡 高畠町大字深沼	立体接続	南陽高畠インターチェンジ
一般国道13号	山形県上山市藤吾	立体接続	かみのやま温泉インターチェンジ
一般国道13号	山形県上山市金瓶	立体接続	山形上山インターチェンジ

（4） 工事予算

123，889 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18　年　4　月　19　日
②工事の完成予定年月日　　平成　31　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

134，310 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　131，207 百万円）（消費税込み）

常磐自動車道

（福島県双葉郡富岡町大字上手岡から福島県相馬市粟津まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　福島県双葉郡富岡町大字上手岡　　から
福島県相馬市粟津　　まで

（ロ） 延　　長　　47．1 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
福島県双葉郡富岡町大字上手岡 から 福島県相馬市粟津 まで	100	47．1	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
福島県双葉郡 富岡町大字上手岡　から 福島県相馬市 粟津　まで	2 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	1．25×2	2．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50 メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
県道　小野富岡線	福島県双葉郡 富岡町大字上手岡	立体接続	常磐富岡インターチェンジ
一般国道114号	福島県双葉郡 浪江町大字室原	立体接続	浪江インターチェンジ
県道　原町川俣線	福島県南相馬市 原町区	立体接続	南相馬インターチェンジ
一般国道115号	福島県相馬市 粟津	立体接続	相馬インターチェンジ

（4） 工事予算

115，154　百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成　10　年　4　月　17　日	
②工事の完成予定年月日	平成　24　年　4　月　8　日	（南相馬～相馬供用開始）
	平成　26　年　12　月　6　日	（浪江～南相馬供用開始）
	平成　27　年　3　月　1　日	（常磐富岡～浪江供用開始）
	平成　31　年　3　月　30　日	（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

108，361　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　108，361百万円）（消費税込み）

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故における原子力損害により、工事に要する費用への影響が確認された場合は、必要な措置を相互に確認し、対処するものとする。

常磐自動車道

（福島県相馬市粟津から福島県相馬郡新地町駒ヶ嶺まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　福島県相馬市粟津　　から
福島県相馬郡新地町駒ヶ嶺　　まで

（ロ） 延　　長　　8. 5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
福島県相馬市粟津 から 福島県相馬郡新地町駒ヶ嶺 まで	100	8. 5	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
福島県相馬市 粟津　から 福島県相馬郡 新地町駒ヶ嶺　まで	2 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50 メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道115号	福島県相馬市粟津	立体接続	相馬インターチェンジ
一般国道113号	福島県相馬郡新地町駒ヶ嶺	立体接続	新地インターチェンジ

（4） 工事予算

19，436 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11　年　1　月　8　日
②工事の完成予定年月日　　平成　26　年　12　月　6　日　（供用開始）
　　平成　31　年　3　月　30　日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

20，683 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　20，683 百万円）（消費税込み）

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故における原子力損害により、工事に要する費用への影響が確認された場合は、必要な措置を相互に確認し、対処するものとする。

常磐自動車道

（福島県相馬郡新地町駒ヶ嶺から宮城県亘理郡山元町大平まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　福島県相馬郡新地町駒ヶ嶺　　から
宮城県亘理郡山元町大平　　まで

（ロ） 延　　長　　14．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
福島県相馬郡新地町駒ヶ嶺 から 宮城県亘理郡山元町大平 まで	100	14．8	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
福島県相馬郡 新地町駒ヶ嶺　から 宮城県亘理郡 山元町大平　まで	2 車線	4 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50 メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道113号	福島県相馬郡 新地町駒ヶ嶺	立体接続	新地インターチェンジ
一般国道6号	宮城県亘理郡 山元町大平	立体接続	山元インターチェンジ

（4） 工事予算

40，325 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18　年　4　月　19　日

②工事の完成予定年月日　　平成　26　年　12　月　6　日　（供用開始）
平成　28　年　4　月　1　日　（一部供用開始）
平成　31　年　3　月　30　日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

46，213 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　46，213 百万円）（消費税込み）

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故における原子力損害により、工事に要する費用への影響が確認された場合は、必要な措置を相互に確認し、対処するものとする。

東関東自動車道水戸線

（埼玉県三郷市鷹野三丁目から千葉県松戸市三矢小台二丁目まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　埼玉県三郷市鷹野三丁目　　から
千葉県松戸市三矢小台二丁目　　まで

（ロ） 延　　長　　5．4 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
埼玉県三郷市鷹野三丁目 から 千葉県松戸市三矢小台二丁目 まで	80	5．4	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
埼玉県三郷市鷹野三丁目　から 千葉県松戸市三矢小台二丁目　まで	4 車線	4 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	—	—	—	
トンネル部分	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（中小橋）	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	2．50×2	5．00	—	—	—	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道298号	埼玉県三郷市 鷹野三丁目	立体接続	三郷南インターチェンジ
一般国道298号	千葉県松戸市 三矢小台二丁目	立体接続	松戸インターチェンジ

（4） 工事予算

99，677 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12 年　 1 月　12 日
②工事の完成予定年月日　　平成　30 年　 6 月　30 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

90，560 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　82，424 百万円）（消費税込み）

東関東自動車道水戸線

（千葉県松戸市三矢小台二丁目から千葉県市川市高谷まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　千葉県松戸市三矢小台二丁目　　から
千葉県市川市高谷　　まで

（ロ） 延　　長　　10．1 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
千葉県松戸市三矢小台二丁目 から 千葉県市川市高谷 まで	80	10．1	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
千葉県松戸市 三矢小台二丁目　から 千葉県市川市高谷　まで	4 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	—	—	—	
トンネル部分	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分 （中小橋）	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分 （長大橋）	2．50×2	5．00	—	—	—	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　ー　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道298号	千葉県松戸市三矢小台二丁目	立体接続	松戸インターチェンジ
一般国道298号	千葉県市川市国分	立体接続	市川北インターチェンジ
一般国道298号	千葉県市川市平田	立体接続	市川中央インターチェンジ
一般国道14号（京葉道路）	千葉県市川市稲荷木	立体接続	京葉ジャンクション
一般国道298号	千葉県市川市高谷	立体接続	市川南インターチェンジ
県道高速湾岸線	千葉県市川市高谷	立体接続	高谷ジャンクション
東関東自動車道	千葉県市川市高谷	立体接続	高谷ジャンクション

（4） 工事予算

812，544 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　 1 月　 8 日

②工事の完成予定年月日　　平成　21 年　10 月　13 日　（京葉JCT施工に伴う京葉道路切替）

平成　28　年　 2 月　25 日　（一部供用開始）

平成　30 年　 6 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

748，341 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　736，340 百万円）（消費税込み）

東関東自動車道水戸線

（茨城県鉾田市飯名から茨城県東茨城郡茨城町大字鳥羽田まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　茨城県鉾田市飯名　　から
茨城県東茨城郡茨城町大字鳥羽田　　まで

（ロ） 延　　長　　8．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
茨城県鉾田市飯名 から 茨城県東茨城郡茨城町大字鳥羽田 まで	100	8．8	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
茨城県鉾田市飯名 から 茨城県東茨城郡茨城町 大字鳥羽田 まで	2 車線	4 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	—	—	—	
トンネル部分	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分 （中小橋）	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分 （長大橋）	—	—	—	—	—	

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50 メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

—　メートル（土工部）
—　メートル（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
県道鉾田茨城線	茨城県鉾田市飯名	立体接続	鉾田インターチェンジ
県道茨城鹿島線	茨城県東茨城郡茨城町大字鳥羽田	立体接続	茨城空港北インターチェンジ

（4） 工事予算

26，524 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　 1 月　 8 日

②工事の完成予定年月日　　平成　30 年　 2 月　 3 日　　（鉾田IC～茨城空港北IC　供用開始）

平成　32 年　 3 月　30 日　　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

30，630 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　29，710 百万円）（消費税込み）

北海道縦貫自動車道函館名寄線（八雲PA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1．工事の内容

（1） 路線名

北海道縦貫自動車道函館名寄線

（2） 工事の箇所

北海道二海郡八雲町

別　紙　1

（3） 工事予算

971 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手及び完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年　12 月　4 日

②工事の完成予定年月日　　平成　21 年　10 月　10 日　（供用開始）

平成　33 年　3 月　31 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，190 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，190 百万円）（消費税込み）

北海道縦貫自動車道函館名寄線（剣淵PA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道縦貫自動車道函館名寄線

（2） 工事の箇所

北海道上川郡剣淵町

別　紙　1

（3） 工事予算

1，342 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手及び完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年　12 月　4 日

②工事の完成予定年月日　　平成　38 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，731 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，656 百万円）（消費税込み）

北海道横断自動車道黒松内釧路線（銭函IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1．工事の内容

（1） 路線名

北海道横断自動車道黒松内釧路線

（2） 工事の箇所

北海道小樽市星野町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
道道銭函インター線	北海道小樽市 星野町	立体接続	銭函インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

5，524 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手及び完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　8 年　7 月　31 日

②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　3 月　31 日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

3，754 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　3，628 百万円）（消費税込み）

北海道横断自動車道黒松内釧路線（手稲IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1．工事の内容

（1） 路線名

北海道横断自動車道黒松内釧路線

（2） 工事の箇所

北海道札幌市手稲区富丘

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道手稲インター線	北海道札幌市 手稲区富丘	立体接続	手稲インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

1，252 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手及び完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12 年　 1 月　18 日

②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，515 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，462 百万円）（消費税込み）

北海道横断自動車道黒松内北見線（本別JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1．工事の内容

（1） 路線名

北海道横断自動車道黒松内北見線

（2） 工事の箇所

北海道中川郡本別町勇足

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
北海道横断自動車道 黒松内釧路線	北海道中川郡 本別町勇足	立体接続	本別ジャンクション

別　紙　1

（4） 工事予算

1，384 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手及び完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年　12 月　4 日

②工事の完成予定年月日　　平成　38 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，779 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，668 百万円）（消費税込み）

北海道横断自動車道黒松内北見線（足寄IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1．工事の内容

（1） 路線名

北海道横断自動車道黒松内北見線

（2） 工事の箇所

北海道足寄郡足寄町郊南

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道242号	北海道足寄郡 足寄町郊南	立体接続	足寄インターチェンジ
北海道横断自動車道 黒松内北見線	北海道足寄郡 足寄町郊南	平面接続	本線（新直轄）

別　紙　1

（4） 工事予算

1，148 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手及び完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年　12 月　4 日

②工事の完成予定年月日　　平成　38 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，669 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，594 百万円）（消費税込み）

東北縦貫自動車道弘前線

（東京都練馬区大泉町五丁目から埼玉県川口市赤芝新田まで）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道弘前線

（2） 工事の箇所

東京都練馬区大泉町五丁目　　から
埼玉県川口市赤芝新田　　まで

別　紙　1

（3） 工事予算

12，697 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　8 年　7 月　31 日

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

6，300 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　6，103 百万円）（消費税込み）

東北縦貫自動車道弘前線(福島JCT)に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道弘前線

（2） 工事の箇所

福島県福島市笹谷

別　紙　1

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
東北中央自動車道相馬尾花沢線	福島県福島市笹谷	平面接続	福島ジャンクション

（4） 工事予算

8，462 百万円　（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　18 年　4 月　19 日

②工事の完成予定年月日　平成　28 年　9 月　11 日　（供用開始）

平成　31 年　3 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

9，480 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　9，474 百万円）（消費税込み）

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故における原子力損害により、工事に要する費用への影響が確認された場合は、必要な措置を相互に確認し、対処するものとする。

日本海沿岸東北自動車道（雄和PA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

日本海沿岸東北自動車道

（2） 工事の箇所

秋田県秋田市

別　紙　1

（3） 工事予算

1，289 百万円　（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　4 月　30 日

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，424 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，364 百万円）（消費税込み）

東北中央自動車道相馬尾花沢線（山形PA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北中央自動車道相馬尾花沢線

（2） 工事の箇所

山形県山形市

別　紙　1

（3） 工事予算

1，815 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年　12 月　4 日

②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，364 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，321 百万円）（消費税込み）

東北中央自動車道相馬尾花沢線
（山形県天童市大字大町から山形県東根市大字羽入まで）（改築）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北中央自動車道相馬尾花沢線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　山形県天童市大字大町　　から
山形県東根市大字羽入　　まで

（ロ） 延　　長　　1．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
山形県天童市大字大町 から 山形県東根市大字羽入 まで	100	1．7	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
山形県天童市 大字大町　から 山形県東根市 大字羽入　まで	4 車線	4 車線	付加車線事業

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50	2．50	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	2．50	2．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	－	－	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 中央帯の標準幅員

ー　メートル

（チ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
国道287号	山形県東根市大字羽入	立体接続	東根インターチェンジ
東北中央自動車道相馬尾花沢線	山形県東根市大字羽入	平面接続	本線 （新直轄）

（4） 工事予算

3，763 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年 12 月　4 日

②工事の完成予定年月日　　平成 29 年　6 月 21 日（供用開始）
平成 31 年　3 月 30 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

4，129 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　4，007 百万円）（消費税込み）

関越自動車道新潟線

（埼玉県深谷市本田から群馬県渋川市八木原まで）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

関越自動車道　新潟線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間

Ⅰ	埼玉県深谷市本田	から
	埼玉県深谷市黒田	まで
Ⅱ	埼玉県本庄市児玉町高関	から
	埼玉県児玉郡上里町大字嘉美	まで
Ⅲ	群馬県北群馬郡吉岡町大字下野田	から
	群馬県渋川市八木原	まで

（ロ） 延　　長

Ⅰ	埼玉県深谷市本田	から	2．3　キロメートル
	埼玉県深谷市黒田	まで	
Ⅱ	埼玉県本庄市児玉町高関	から	1．7　キロメートル
	埼玉県児玉郡上里町大字嘉美	まで	
Ⅲ	群馬県北群馬郡吉岡町大字下野田	から	1．8　キロメートル
	群馬県渋川市八木原	まで	

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間			設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
Ⅰ	埼玉県深谷市本田	から	120	2．3	
	埼玉県深谷市黒田	まで			
Ⅱ	埼玉県本庄市児玉町高関	から	120	1．7	
	埼玉県児玉郡上里町大字嘉美	まで			
Ⅲ	群馬県北群馬郡吉岡町大字下野田	から	120	1．8	
	群馬県渋川市八木原	まで			

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　3．50 メートル　（ただし、Ⅰ埼玉県深谷市本田から埼玉県深谷市畠山までは3．00メートル（登坂車線））

（ホ） 車線数

設計区間		工事施工	用地買収	摘要
Ⅰ	埼玉県深谷市本田 から 埼玉県深谷市黒田 まで	6 車線	6 車線	付加車線事業
Ⅱ	埼玉県本庄市児玉町高関 から 埼玉県児玉郡上里町大字嘉美 まで	6 車線	6 車線	付加車線事業
Ⅲ	群馬県北群馬郡吉岡町大字下野田 から 群馬県渋川市八木原 まで	4 車線	4 車線	付加車線事業

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	Ⅰ		Ⅱ		Ⅲ		摘要
	左側	計	左側	計	左側	計	
土工（掘割）部分	1．75	1．75	2．50	2．50	2．50	2．50	
トンネル部分	－	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	1．75	1．75	－	－	2．50	2．50	
橋梁高架部分（長大橋）	1．50	1．50	2．50	2．50	－	－	

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
－	－	－	

（4） 工事予算

8，347 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　16 年　 6 月　29 日
②工事の完成予定年月日　　平成　22 年　12 月　17 日　（本庄児玉IC　供用開始）

平成　23 年　 3 月　17 日　（花園IC、渋川伊香保IC　供用開始）

平成　31 年　 3 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

9，697 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　8，549 百万円）（消費税込み）

常磐自動車道

（埼玉県川口市赤芝新田から埼玉県三郷市番匠免二丁目まで）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の箇所

埼玉県川口市赤芝新田　　から
埼玉県三郷市番匠免二丁目　　まで

別　紙　1

（3） 工事予算

9，080 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　8 年　7 月　31 日

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，274 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，205 百万円）（消費税込み）

常磐自動車道（八潮PA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の箇所

埼玉県八潮市

（3） 工事予算

25，262 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12 年　1 月　18 日

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

27，031 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　26，023 百万円）（消費税込み）

常磐自動車道（鳥の海PA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1．工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の箇所

宮城県亘理郡亘理町

別　紙　1

（3） 工事予算

1，079 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　16 年　 6 月　29 日

②工事の完成予定年月日　　平成　26 年　12 月　 6 日　（供用開始）

平成　33 年　 3 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，370 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，370 百万円）（消費税込み）

東関東自動車道水戸線

（埼玉県三郷市番匠免二丁目から埼玉県三郷市鷹野三丁目まで）（二次改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の箇所

埼玉県三郷市番匠免二丁目　　から
埼玉県三郷市鷹野三丁目　　まで

（3） 工事予算

1，749 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　1 月　20 日

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，990 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，961 百万円）（消費税込み）

東関東自動車道水戸線（三郷JCT（ 二次改築））に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の箇所

Ⅰ	埼玉県三郷市天神
Ⅱ	埼玉県三郷市天神　から 埼玉県三郷市上口　まで
Ⅲ	埼玉県三郷市番匠免二丁目

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
常磐自動車道 一般国道298号 県道高速足立三郷線	埼玉県三郷市 番匠免二丁目	立体接続	三郷ジャンクション

別　紙　1

（4） 工事予算

19，740 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成	12 年	1 月	12 日	
②工事の完成予定年月日	平成	24 年	9 月	14 日	（BHランプ供用開始）
	平成	25 年	4 月	3 日	（Bランプ供用開始）
	平成	26 年	7 月	30 日	（一部供用開始）
	平成	31 年	3 月	31 日	（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

21，445 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　20，813 百万円）（消費税込み）

東関東自動車道水戸線（三郷中央IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の箇所

埼玉県三郷市谷口

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道298号	埼玉県三郷市谷口	立体接続	三郷中央インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

3，126 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12 年　1 月　12 日

②工事の完成予定年月日　　平成　30 年　6 月　30 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

3，428 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　3，320 百万円）（消費税込み）

東関東自動車道水戸線（大栄JCT）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の箇所

千葉県成田市吉岡

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道468号 （首都圏中央連絡自動車道）	千葉県成田市 吉岡	立体接続	大栄ジャンクション

別　紙　1

（4） 工事予算

2，211 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　16 年　6 月　29 日

②工事の完成予定年月日　　平成　37 年　3 月　31 日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，866 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，668 百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（横浜横須賀道路）

（神奈川県横浜市金沢区釜利谷町から神奈川県横浜市戸塚区原宿三丁目まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 横浜横須賀道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県横浜市金沢区釜利谷町　　から
神奈川県横浜市戸塚区原宿三丁目　　まで

（ロ） 延　　長　　8．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
神奈川県横浜市 金沢区釜利谷町　から 神奈川県横浜市 戸塚区原宿三丁目　まで	80	8．7	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県横浜市 金沢区釜利谷町　から 神奈川県横浜市 戸塚区原宿三丁目　まで	6 車線	6 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	２．５０×２	５．００	－	－	－	
トンネル部分	０．７５×２	１．５０	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	１．７５×２	３．５０	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

３．００　　メートル　　（土工部）
３．００　　メートル　　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道16号（横浜横須賀道路）	神奈川県横浜市 金沢区釜利谷町	立体接続	釜利谷ジャンクション
都市計画道路 上郷公田線	神奈川県横浜市 栄区公田町	立体接続	公田インターチェンジ（仮称）
一般国道468号（横浜湘南道路） 及び都市計画道路　横浜藤沢線	神奈川県横浜市 栄区田谷町	立体接続	栄インター・ジャンクション（仮称）
一般国道1号	神奈川県横浜市 戸塚区原宿三丁目	立体接続	戸塚インターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

256，049 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

イ 神奈川県横浜市金沢区釜利谷町（STA0＋00）から神奈川県横浜市金沢区釜利谷町（STA2＋40）まで
平成 13 年 3 月 10 日

ロ 神奈川県横浜市金沢区釜利谷町（STA2＋40）から神奈川県横浜市栄区飯島町（STA59＋30）まで
平成 13 年 8 月 14 日

ハ 神奈川県横浜市栄区飯島町（STA59＋30）から神奈川県横浜市戸塚区原宿三丁目（STA87＋00）まで
平成 32 年 4 月 1 日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手（予定）年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける（予定）年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成 33 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

278，936 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　269，218 百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）

（埼玉県桶川市大字川田谷から埼玉県久喜市菖蒲町上大崎まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　埼玉県桶川市大字川田谷　　から
埼玉県久喜市菖蒲町上大崎　　まで

（ロ） 延　　長　　10．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
埼玉県桶川市大字川田谷　から 埼玉県久喜市菖蒲町上大崎　まで	100	10．8	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
埼玉県桶川市大字川田谷　から 埼玉県久喜市菖蒲町上大崎　まで	4 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	2．50×2	5．00	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道17号	埼玉県桶川市大字川田谷	立体接続	桶川北本インターチェンジ
県道川越栗橋線	埼玉県桶川市大字加納	立体接続	桶川加納インターチェンジ
一般国道122号	埼玉県久喜市菖蒲町台	立体接続	白岡菖蒲インターチェンジ

（4） 工事予算

69，836 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の年月日

①工事の着手年月日

イ　埼玉県桶川市大字川田谷(STA133+43)から埼玉県桶川市大字川田谷(STA134+95)まで
平成　27　年　3　月　1　日

ロ　埼玉県桶川市大字川田谷(STA134+95)から埼玉県桶川市大字上日出谷(STA151+00)まで
平成　26　年　4　月　1　日

ハ　埼玉県桶川市大字上日出谷(STA151+00)から埼玉県桶川市大字上日出谷(STA152+60)まで
平成　26　年　11　月　1　日

ニ　埼玉県桶川市大字上日出谷(STA152+60)から埼玉県桶川市大字上日出谷(STA155+20)まで
平成　26　年　8　月　1　日

ホ　埼玉県桶川市大字上日出谷(STA155+20)から埼玉県桶川市大字上日出谷(STA156+49)まで
平成　26　年　8　月　20　日

ヘ　埼玉県桶川市大字上日出谷(STA156+49)から埼玉県桶川市大字上日出谷(STA159+19)まで
平成　26　年　12　月　1　日

ト　埼玉県桶川市大字上日出谷(STA159+19)から埼玉県桶川市大字上日出谷(STA161+94)まで
平成　26　年　12　月　20　日

別　紙　1

チ　埼玉県桶川市大字上日出谷(STA161+94)から埼玉県北本市大字二ツ家(STA164+22)まで
平成　27　年　1　月　1　日

リ　埼玉県北本市大字二ツ家(STA164+22)から埼玉県北本市大字二ツ家(STA167+37)まで
平成　26　年　12　月　11　日

ヌ　埼玉県北本市大字二ツ家(STA167+37)から埼玉県桶川市大字加納(STA167+86)まで
平成　27　年　1　月　1　日

ル　埼玉県桶川市大字加納(STA167+86)から埼玉県桶川市大字加納(STA168+46)まで
平成　27　年　2　月　16　日

ヲ　埼玉県桶川市大字加納(STA168+46)から埼玉県桶川市大字加納(STA170+65)まで
平成　27　年　1　月　1　日

ワ　埼玉県桶川市大字加納(STA170+65)から埼玉県桶川市大字加納(STA179+47)まで
平成　27　年　3　月　1　日

カ　埼玉県桶川市大字加納(STA179+47)から埼玉県桶川市大字加納(STA180+84)まで
平成　27　年　3　月　1　日

ヨ　埼玉県桶川市大字加納(STA180+84)から埼玉県桶川市大字加納(STA182+59)まで
平成　25　年　4　月　1　日

タ　埼玉県桶川市大字加納(STA182+59)から埼玉県桶川市大字加納(STA183+91)まで
平成　24　年　12　月　21　日

別　紙　1

レ　埼玉県桶川市大字加納（STA183+91）から埼玉県桶川市大字加納（STA184+44）まで
平成　25　年　4　月　1　日

ソ　埼玉県桶川市大字加納（STA184+44）から埼玉県桶川市大字加納（STA187+47）まで
平成　24　年　2　月　1　日

ツ　埼玉県桶川市大字加納（STA187+47）から埼玉県桶川市大字加納（STA187+88）まで
平成　24　年　10　月　16　日

ネ　埼玉県桶川市大字加納（STA187+88）から埼玉県桶川市赤堀（STA191+49）まで
平成　23　年　12　月　15　日

ナ　埼玉県桶川市赤堀（STA191+49）から埼玉県桶川市赤堀（STA192+00）まで
平成　24　年　4　月　1　日

ラ　埼玉県桶川市赤堀（STA192+00）から埼玉県桶川市大字五丁台（STA195+00）まで
平成　23　年　12　月　15　日

ム　埼玉県桶川市大字五丁台（STA195+00）から埼玉県桶川市大字五丁台（STA196+70）まで
平成　24　年　4　月　1　日

ウ　埼玉県桶川市大字五丁台（STA196+70）から埼玉県桶川市大字五丁台（STA197+16）まで
平成　26　年　8　月　22　日

ノ　埼玉県桶川市大字五丁台（STA197+16）から埼玉県桶川市大字五丁台（STA198+35）まで
平成　24　年　12　月　21　日

別　紙　1

オ　埼玉県桶川市大字五丁台（STA198+35）から埼玉県久喜市菖蒲町下栢間（STA207+94）まで
平成　24　年　4　月　1　日

ク　埼玉県久喜市菖蒲町下栢間（STA207+94）から埼玉県久喜市菖蒲町下栢間（STA210+35）まで
平成　26　年　4　月　1　日

ヤ　埼玉県久喜市菖蒲町下栢間（STA210+35）から埼玉県久喜市菖蒲町上大崎（STA241+72）まで
平成　25　年　10　月　1　日

桶川北本IC　ランプ部

マ　埼玉県桶川市大字川田谷（B-STA2+31）から埼玉県桶川市大字川田谷(B-STA4+51)まで
平成　26　年　4　月　1　日

ケ　埼玉県桶川市大字川田谷（C-STA0+74）から埼玉県桶川市大字川田谷(C-STA5+92)まで
平成　25　年　3　月　1　日

フ　埼玉県桶川市大字川田谷（C-STA5+92）から埼玉県桶川市大字川田谷(C-STA6+73)まで
平成　27　年　3　月　1　日

コ　埼玉県桶川市大字川田谷（C-STA6+73）から埼玉県桶川市大字川田谷(C-STA7+90)まで
平成　25　年　3　月　1　日

エ　埼玉県桶川市大字川田谷（C-STA7+90）から埼玉県桶川市大字川田谷(C-STA9+42)まで
平成　26　年　4　月　1　日

別　紙　1

テ　埼玉県桶川市大字川田谷（D-STA5+81）から埼玉県桶川市大字川田谷(D-STA10+26)まで
　　平成　25　年　3　月　1　日

桶川加納IC　ランプ部
ア　埼玉県桶川市大字加納（A-STA1+70）から埼玉県桶川市大字加納(A-STA2+50)まで
　　平成　26　年　12　月　1　日

サ　埼玉県桶川市大字加納（B-STA2+72）から埼玉県桶川市大字加納(B-STA3+02)まで
　　平成　25　年　11　月　1　日

キ　埼玉県桶川市大字加納（C-STA1+99）から埼玉県桶川市大字加納(C-STA3+80)まで
　　平成　24　年　5　月　15　日

ユ　埼玉県桶川市大字加納（D-STA2+33）から埼玉県桶川市大字加納(D-STA2+72)まで
　　平成　24　年　5　月　15　日

メ　埼玉県桶川市大字加納（D-STA2+72）から埼玉県桶川市大字加納(D-STA4+40)まで
　　平成　27　年　2　月　11　日

桶川加納IC　料金所部
ミ　埼玉県桶川市大字加納(B-STA0+80)から埼玉県桶川市大字加納(E-STA0+50)まで
　　平成　24　年　5　月　15　日

桶川加納IC　ランプ部
シ　埼玉県桶川市大字加納（E-STA1+30）から埼玉県桶川市大字加納(E-STA1+58)まで
　　平成　25　年　10　月　1　日

別　紙　1

ヒ　埼玉県桶川市大字加納（G-STA1+98）から埼玉県桶川市大字加納(G-STA2+48)まで
平成　24　年　5　月　15　日

モ　埼玉県桶川市大字加納（G-STA2+98）から埼玉県桶川市大字加納(G-STA3+32)まで
平成　26　年　1　月　1　日

セ　埼玉県桶川市大字加納（H-STA2+32）から埼玉県桶川市大字加納(H-STA3+07)まで
平成　24　年　5　月　15　日

菖蒲PA
ス　埼玉県久喜市菖蒲町下栢間(STA207+22)から埼玉県久喜市菖蒲町下栢間(STA210+87)まで
平成　26　年　12　月　21　日

ス－1　埼玉県久喜市菖蒲町下栢間(STA207+87)から埼玉県久喜市菖蒲町下栢間(STA208+60)まで
平成　27　年　4　月　30　日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成年月日　　平成　27 年　10 月　31 日（供用開始）

平成　31 年　 3 月　30 日（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

72，269 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　72，346 百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（東京湾横断・木更津東金道路）

（千葉県東金市丹尾から千葉県茂原市石神まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 東京湾横断・木更津東金道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　千葉県東金市丹尾　　から
千葉県茂原市石神　　まで

（ロ） 延　　長　　21．6 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
千葉県東金市丹尾　から 千葉県茂原市石神　まで	100	21．6	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
千葉県東金市丹尾　から 千葉県茂原市石神　まで	2 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	1．00×2	2．00	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道126号	千葉県東金市丹尾	立体接続	東金ジャンクション
市道5164号線	千葉県東金市山台	立体接続	東金インターチェンジ
県道五井本納線	千葉県茂原市上太田	立体接続	茂原北インターチェンジ
一般国道409号 （茂原・一宮・大原道路）	千葉県長生郡長南町坂本	立体接続	茂原長南インターチェンジ

（4） 工事予算

23，110 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

イ 千葉県東金市丹尾（STA0－01）から千葉県東金市小野（STA7＋60）まで
平成　24 年 11 月 1 日

イ 千葉県東金市小野（STA7＋60）から千葉県東金市小野（STA8＋60）まで
平成　24 年 10 月 1 日

イ 千葉県東金市小野（STA8＋60）から千葉県東金市小野（STA11＋60）まで
平成　24 年 12 月 1 日

ロ 千葉県東金市小野（STA11＋60）から千葉県東金市小野（STA14＋20）まで
平成　24 年 8 月 1 日

ロ 千葉県東金市小野（STA14＋20）から千葉県東金市丘山台（STA16＋40）まで
平成　24 年 11 月 1 日

ロ 千葉県東金市丘山台（STA16＋40）から千葉県東金市小野（STA19＋00）まで
平成　24 年 10 月 1 日

ハ 千葉県東金市小野（STA19＋00）から千葉県大網白里町養安寺（STA21＋35）まで
平成　24 年 12 月 1 日

別　紙　1

ニ　千葉県大網白里町養安寺（STA21＋35）から千葉県大網白里町小西（STA27＋85）まで
平成　24　年　12　月　1　日

ホ　千葉県大網白里町小西（STA27＋85）から千葉県大網白里町餅木（STA33＋69．5）まで
平成　24　年　9　月　1　日

ヘ　千葉県大網白里町餅木（STA33+69．5）から千葉県大網白里町餅木（STA35＋23）まで
平成　24　年　6　月　1　日

ト　千葉県大網白里町餅木（STA35＋23）から千葉県大網白里町金谷郷（STA48＋69）まで
平成　24　年　2　月　15　日

チ　千葉県大網白里町金谷郷（STA48＋69）から千葉県大網白里町南玉（STA57＋23）まで
平成　24　年　10　月　1　日

リ　千葉県大網白里町南玉（STA57＋23）から千葉県千葉市緑区小食土町（STA65＋40）まで
平成　21　年　8　月　1　日

ヌ　千葉県千葉市緑区小食土町（STA65＋40）から千葉県千葉市緑区小食土町（STA65＋70）まで
平成　24　年　6　月　1　日

ル　千葉市緑区小食土町（STA65＋70）から千葉県大網白里町小中（STA80＋00）まで
平成　21　年　8　月　1　日

ヲ　千葉県大網白里町小中（STA80＋00）から千葉県大網白里町神房（STA86＋00）まで
平成　19　年　12　月　1　日

別　紙　1

ワ　千葉県大網白里町神房（STA86＋00）から千葉県茂原市柴名（STA106＋94）まで
平成　21　年　8　月　1　日

カ　千葉県茂原市柴名（STA106＋94）から千葉県茂原市柴名（STA109＋20）まで
平成　19　年　12　月　1　日

ヨ　千葉県茂原市柴名（STA109＋20）から千葉県茂原市柴名（STA113＋60）まで
平成　24　年　5　月　1　日

タ　千葉県茂原市柴名（STA113＋60）から千葉県茂原市上太田（STA123＋11）まで
平成　24　年　10　月　9　日

レ　千葉県茂原市上太田（STA123＋11）から千葉県茂原市上太田（STA124＋34）まで
平成　24　年　11　月　1　日

ソ　千葉県茂原市上太田（STA124＋34）から千葉県茂原市真名（STA148＋91）まで
平成　24　年　2　月　15　日

ツ　千葉県茂原市真名（STA148＋91）から千葉県茂原市真名（STA156＋20）まで
平成　24　年　5　月　1　日

ネ　千葉県茂原市真名（STA156＋20）から千葉県長柄町榎本（STA179＋60）まで
平成　24　年　2　月　15　日

ナ　千葉県長柄町榎本（STA179＋60）から千葉県長柄町榎本（STA183＋80）まで
平成　24　年　7　月　1　日

別　紙　1

ラ　千葉県長柄町榎本（STA183＋80）から千葉県長柄町榎本（STA187＋78）まで
　平成　24 年　8 月　1 日

ラ　千葉県長柄町榎本（STA187＋78）から千葉県長南町須田（STA194＋40）まで
　平成　24 年　7 月　1 日

ム　千葉県長南町須田（STA194＋40）から千葉県長南町関原（STA203＋88．2）まで
　平成　24 年　8 月　1 日

ウ　千葉県長南町関原（STA203＋88．2）から千葉県茂原市石神（STA210＋39）まで
　平成　24 年　7 月　1 日

ノ　千葉県茂原市石神（STA210＋39）から千葉県茂原市石神（STA216＋20）まで
　平成　24 年　9 月　1 日

東金JCT　Cランプ
イ　千葉県東金市山田（STA5＋18）から千葉県東金市山田（STA6＋20）まで
　平成　24 年　12 月　1 日

別　紙　1

茂原北IC　ランプ部
オ　千葉県茂原市柴名（STA4＋20）から千葉県茂原市上太田（STA0＋60）まで
　平成　19 年 12 月 1 日

ク　千葉県茂原市上太田（STA0＋60）から千葉県茂原市上太田（STA0＋20）まで
　平成　20 年 10 月 1 日

ヤ　千葉県茂原市上太田（STA0＋20）から千葉県茂原市上太田（STA2＋10）まで
　平成　19 年 12 月 1 日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　平成 23 年 10 月 20 日　（東金ICランプ切替）

平成 25 年 4 月 27 日　（供用開始）

平成 31 年 3 月 30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

25，151 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　25，229 百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（東京湾横断・木更津東金道路）

（千葉県茂原市石神から千葉県木更津市下郡まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 東京湾横断・木更津東金道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　千葉県茂原市石神　　から
千葉県木更津市下郡　　まで

（ロ） 延　　長　　21．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
千葉県茂原市石神　から 千葉県木更津市下郡　まで	100	21．3	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
千葉県茂原市石神　から 千葉県木更津市下郡　まで	2 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	１．７５×２	３．５０	－	－	－	
トンネル部分	１．００×２	２．００	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	１．７５×２	３．５０	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	１．７５×２	３．５０	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　３．５０　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道409号 （茂原・一宮・大原道路）	千葉県長生郡長南町坂本	立体接続	茂原長南インターチェンジ
一般国道297号	千葉県市原市田尾	立体接続	市原鶴舞インターチェンジ
一般国道410号バイパス	千葉県木更津市下郡	立体接続	木更津東インターチェンジ

（4） 工事予算

13，639 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

イ　千葉県茂原市石神（STA216＋20）から千葉県長生郡長南町坂本（STA219＋73）まで
平成 24 年 9 月 1 日

ロ　千葉県長生郡長南町坂本（STA219＋73）から千葉県長生郡長南町坂本（STA220＋73）まで
平成 24 年 5 月 1 日

ハ　千葉県長生郡長南町坂本（STA220＋73）から千葉県長生郡長南町坂本（STA222＋77）まで
平成 24 年 7 月 18 日

ニ　千葉県長生郡長南町坂本（STA222＋77）から千葉県長生郡長南町坂本（STA233＋60）まで
平成 24 年 5 月 1 日

ホ－1　千葉県長生郡長南町坂本（STA233＋60）から千葉県長生郡長南町報恩寺（STA243＋17）まで
平成 24 年 11 月 1 日

ホ－2　千葉県長生郡長南町報恩寺（STA243＋17）から千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA250＋00）まで
平成 24 年 8 月 1 日

ホ－3　千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA250＋00）から千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA252＋59）まで
平成 24 年 9 月 1 日

別　紙　1

ホ － 4　千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA252＋59）から千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA252＋64）まで
平成　24　年　8　月　1　日

ホ － 5　千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA252＋64）から千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA253＋00）まで
平成　24　年　10　月　1　日

へ － 1　千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA253＋00）から千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA253＋05）まで
平成　24　年　8　月　1　日

へ － 2　千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA253＋05）から千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA259＋20）まで
平成　24　年　12　月　1　日

へ － 3　千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA259＋20）から千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA262＋60）まで
平成　24　年　11　月　1　日

ト － 1　千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA262＋60）から千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA266＋60）まで
平成　24　年　10　月　1　日

ト － 2　千葉県長生郡長南町茗荷沢（STA266＋60）から千葉県長生郡長南町岩撫（STA272＋86）まで
平成　24　年　12　月　1　日

チ － 1　千葉県長生郡長南町岩撫（STA272＋86）から千葉県市原市田尾（STA297＋06）まで
平成　24　年　3　月　26　日

チ － 2　千葉県市原市田尾（STA297＋06）から千葉県市原市田尾（STA298＋49．7）まで
平成　24　年　10　月　1　日

別　紙　1

リ － 1　千葉県市原市田尾（STA298＋49．7）から千葉県市原市山小川（STA306＋80）まで
平成　24　年　12　月　1　日

リ － 2　千葉県市原市山小川（STA306＋80）から千葉県市原市山小川（STA307＋10）まで
平成　25　年　2　月　1　日

リ － 3　千葉県市原市山小川（STA307＋10）から千葉県市原市山小川（STA308＋40）まで
平成　24　年　12　月　1　日

リ － 4　千葉県市原市山小川（STA308＋40）から千葉県市原市山小川（STA309＋00）まで
平成　25　年　2　月　1　日

ヌ － 1　千葉県市原市山小川（STA309＋00）から千葉県市原市山小川（STA310＋00）まで
平成　25　年　2　月　1　日

ヌ － 2　千葉県市原市山小川（STA310＋00）から千葉県市原市不入（STA313＋81）まで
平成　24　年　12　月　1　日

ヌ － 3　千葉県市原市不入（STA313＋81）から千葉県市原市不入（STA316＋57）まで
平成　24　年　11　月　1　日

ヌ － 4　千葉県市原市不入（STA316＋57）から千葉県市原市大和田（STA317＋60）まで
平成　24　年　12　月　1　日

ヌ － 5　千葉県市原市大和田（STA317＋60）から千葉県市原市大和田（STA320＋05）まで
平成　25　年　2　月　20　日

別　紙　1

ヌ － 6　千葉県市原市大和田（STA320＋05）から千葉県市原市大和田（STA321＋18）まで
平成　24　年　12　月　1　日

ヌ － 7　千葉県市原市大和田（STA321＋18）から千葉県市原市大和田（STA321＋80）まで
平成　24　年　11　月　1　日

ヌ － 8　千葉県市原市大和田（STA321＋80）から千葉県市原市大和田（STA325＋40）まで
平成　24　年　12　月　1　日

ヌ － 9　千葉県市原市大和田（STA325＋40）から千葉県市原市養老（STA327＋3．5）まで
平成　25　年　2　月　12　日

ヌ － 10　千葉県市原市養老（STA327＋3．5）から千葉県市原市久保（STA332＋57）まで
平成　24　年　12　月　1　日

ヌ － 11　千葉県市原市久保（STA332＋57）から千葉県市原市久保（STA332＋72．6）まで
平成　24　年　11　月　1　日

ヌ － 12　千葉県市原市久保（STA332＋72．6）から千葉県市原市山口（STA340＋34）まで
平成　24　年　12　月　1　日

ル － 1　千葉県市原市山口（STA340＋34）から千葉県市原市山口（STA358＋20）まで
平成　24　年　11　月　1　日

ル － 2　千葉県市原市山口（STA358＋20）から千葉県市原市山口（STA360＋84）まで
平成　25　年　2　月　1　日

別　紙　1

ヲ　　千葉県市原市山口（STA360＋84）から千葉県木更津市真理谷（STA367＋59）まで
平成　24　年　11　月　1　日

ワ－1　千葉県木更津市真理谷（STA367＋59）から千葉県木更津市真理谷（STA372＋41）まで
平成　24　年　12　月　1　日

ワ－2　千葉県木更津市真理谷（STA372＋41）から千葉県木更津市真理谷（STA375＋21）まで
平成　24　年　10　月　1　日

カ　　千葉県木更津市真理谷（STA375＋21）から千葉県木更津市真理谷（STA380＋69）まで
平成　23　年　11　月　21　日

ヨ　　千葉県木更津市真理谷（STA380＋69）から千葉県木更津市真理谷（STA392＋12）まで
平成　24　年　8　月　1　日

タ－1　千葉県木更津市真理谷（STA392＋12）から千葉県木更津市真理谷（STA394＋80）まで
平成　24　年　11　月　1　日

タ－2　千葉県木更津市真理谷（STA394＋80）から千葉県木更津市真理谷（STA400＋51）まで
平成　24　年　3　月　26　日

レ　　千葉県木更津市真理谷（STA400＋51）から千葉県木更津市真理谷（STA402＋30．7）まで
平成　23　年　11　月　21　日

ソ　　千葉県木更津市真理谷（STA402＋30．7）から千葉県木更津市真理谷（STA404＋78）まで
平成　24　年　3　月　26　日

別　紙　1

ツ　　千葉県木更津市真理谷（STA404＋78）から千葉県木更津市茅野（STA413＋63．6）まで
平成　23　年　11　月　21　日

ネ　　千葉県木更津市茅野（STA413＋63．6）から千葉県木更津市下郡（STA429＋17）まで
平成　24　年　12　月　1　日

茂原長南IC 料金所部
ナ　　千葉県長生郡長南町坂本（C1-STA0＋19．2）から千葉県長生郡長南町坂本（E-STA1+10．8）まで
平成　23　年　11　月　21　日

茂原長南IC 管理施設部
ラ－　1　千葉県長生郡長南町坂本（C1-STA3＋88．5）から千葉県長生郡長南町坂本（E-STA3＋7）まで
平成　24　年　3　月　26　日

ラ－　2　千葉県茂原市石神（B-STA1＋3）から千葉県茂原市石神（B-STA2＋1．8）まで
平成　24　年　7　月　18　日

ラ－　3　千葉県茂原市石神（C1-STA0＋0）から千葉県茂原市石神（C1-STA2＋0）まで
平成　24　年　7　月　18　日

ラ－　4　千葉県長生郡長南町千手堂（E-STA0＋0）から千葉県長生郡長南町千手堂（E-STA12＋15）まで
平成　24　年　7　月　18　日

ラ－　5　千葉県長生郡長南町千手堂（F-STA12＋18．6）から千葉県長生郡長南町千手堂（F-STA21＋10）まで
平成　24　年　7　月　18　日

別　紙　1

ラ－　6　千葉県長生郡長南町千手堂（G-STA12＋11）から千葉県長生郡長南町千手堂（G-STA21＋00）まで
平成　24　年　7　月　18　日

市川南IC

ム－　1　千葉県市原市山小川（A-STA2＋25．4）から千葉県市原市山小川（A-STA5＋44．9）まで
平成　24　年　12　月　1　日

ム－　2　千葉県市原市山小川（B-STA2＋25．4）から千葉県市原市山小川（B-STA6＋11．9）まで
平成　24　年　12　月　1　日

ム－　3　千葉県市原市山小川（B-STA6＋11．9）から千葉県市原市山小川（B-STA6＋42）まで
平成　25　年　2　月　1　日

ム－　4　千葉県市原市山小川（B-STA6＋42）から千葉県市原市山小川（B-STA7＋72）まで
平成　24　年　12　月　1　日

ム－　5　千葉県市原市山小川（B-STA7＋72）から千葉県市原市山小川（B-STA8＋32．2）まで
平成　25　年　2　月　1　日

ム－　6　千葉県市原市山小川（C1-STA0＋8．9）から千葉県市原市山小川（C1-STA4＋14．7）まで
平成　24　年　12　月　1　日

ム－　7　千葉県市原市山小川（C2-STA4＋8．5）から千葉県市原市山小川（C2-STA7＋8．6）まで
平成　24　年　12　月　1　日

別　紙　1

ム－ 8　千葉県市原市山小川（C2-STA7＋8．6）から千葉県市原市山小川（C2-STA7＋38．9）まで
平成 25 年 2 月 1 日

ム－ 9　千葉県市原市山小川（C2-STA7＋38．9）から千葉県市原市山小川（C2-STA7＋91．9）まで
平成 24 年 12 月 1 日

ム－ 10　千葉県市原市山小川（D-STA4＋9．1）から千葉県市原市山小川（D-STA8＋26．5）まで
平成 24 年 12 月 1 日

市川南IC 料金所部
ウ　千葉県市原市田尾（C1-STA0＋8．95）から千葉県市原市田尾（E-STA0＋41．05）まで
平成 23 年 11 月 21 日

市川南IC 管理施設部
ノ　千葉県市原市田尾（C1-STA0＋95）から千葉県市原市田尾（E-STA0＋68）まで
平成 24 年 3 月 26 日

市川南IC 297号接道まで
オ　千葉県市原市田尾（E-STA0＋41．05）から千葉県市原市田尾（E-STA2＋34）まで
平成 24 年 11 月 1 日

高滝湖PA 内回り休憩施設
ク－ 1　千葉県市原市大和田から千葉県市原市大和田まで
平成 24 年 12 月 1 日

別　紙　1

高滝湖PA　外回り休憩施設
ク－２　千葉県市原市大和田から千葉県市原市大和田まで
平成　26　年　12　月　11　日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　平成　25　年　4　月　27　日　（供用開始）
平成　25　年　7　月　12　日　（高滝湖PA 内回り供用開始）
平成　27　年　8　月　10　日　（高滝湖PA 外回り供用開始）
平成　31　年　3　月　30　日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

14，866 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　14，866 百万円）（消費税込み）

一般国道１４号（京葉道路）（市川IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道14号

（有料道路名 ： 京葉道路）

（2） 工事の箇所

千葉県市川市稲荷木

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　有料道路事業

（ロ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道市川浦安線	千葉県市川市稲荷木	立体接続	市川インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

1，481 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12　年　7　月　3　日

②工事の完成予定年月日　　平成　30　年　6　月　30　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，742 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，742 百万円）（消費税込み）

一般国道１４号（京葉道路）（市川PA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道14号

（有料道路名 ： 京葉道路）

（2） 工事の箇所

千葉県市川市

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　有料道路事業

別　紙　1

（4） 工事予算

16，954 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12　年　7　月　3　日

②工事の完成予定年月日　　平成　33　年　3　月　31　日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

18，763 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　17，111 百万円）（消費税込み）

一般国道１２６号（千葉東金道路）

（千葉県東金市丹尾から千葉県山武市松尾町谷津まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道126号

（有料道路名 ： 千葉東金道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　千葉県東金市丹尾　　から
千葉県山武市松尾町谷津　　まで

（ロ） 延　　長　　15. 7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　有料道路事業

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
千葉県東金市丹尾　から 千葉県山武市松尾町谷津　まで	100	15．7	

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
千葉県東金市丹尾　から 千葉県山武市松尾町谷津　まで	4 車線	4 車線	4車線化事業

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道468号 （東京湾横断・木更津東金道路）	千葉県東金市丹尾	平面接続 立体接続	東金ジャンクション
東金市道5146号線	千葉県東金市山台	立体接続	東金インターチェンジ
県道成東酒々井線	千葉県山武市矢部	立体接続	山武成東インターチェンジ
一般国道126号 （銚子連絡道路）	千葉県山武市松尾町谷津	立体接続	松尾横芝インターチェンジ
県道成田松尾線	千葉県山武市松尾町谷津	立体接続	松尾横芝インターチェンジ

（4） 工事予算

18，237 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12　年　7　月　3　日

②工事の完成予定年月日　　平成　39　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

22，100 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　19，767 百万円）（消費税込み）

一般国道１２７号（富津館山道路）（富山PA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道127号

（有料道路名 ： 富津館山道路）

（2） 工事の箇所

千葉県南房総市

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（4） 工事予算

976 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　14　年　9　月　2　日

②工事の完成予定年月日　　平成　38　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，156 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，103 百万円）（消費税込み）

一般国道４６６号（第三京浜道路）（野川IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道466号

（有料道路名 ： 第三京浜道路）

（2） 工事の箇所

神奈川県川崎市宮前区野川

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　有料道路事業

（ロ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道尻手黒川線	神奈川県川崎市宮前区野川	立体接続	野川インターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

17，354 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　昭和　63　年　1　月　1　日

②工事の完成予定年月日　　平成　38　年　3　月　31　日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

12，163 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　11，427 百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）

（東京都西多摩郡日の出町平井から埼玉県鶴ヶ島市大字藤金まで）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の箇所

東京都西多摩郡日の出町平井　　から

埼玉県鶴ヶ島市大字藤金　　まで

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　有料道路事業

（4） 工事予算

1，616 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　昭和　61　年　12　月　1　日

②工事の完成予定年月日　　平成　35　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，826 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，752 百万円）（消費税込み）

東日本高速道路株式会社が管理する高速道路に係る

高速道路利便増進事業に関する計画（スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1．工事の内容及び工事に要する費用に係る債務引受限度額

（1） 工事予算

43，830 百万円（消費税込み）

（2） 工事に要する費用に係る債務引受限度額

48，186 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　百万円（消費税込み））

（3） 個別箇所に関する工事の内容

個別箇所に関する工事の内容は、下記のとおりとする。
ただし、工事予算及び債務引受限度額については、（1）工事予算及び（2）債務引受限度額の内数である。
また、工事完成後は精算額としている。

（イ）路線名	（ロ）工事の箇所	（ハ）工事方法			（ニ）工事の着手及び完成の予定年月日		（ホ）工事予算（消費税込み）	（ヘ）債務引受限度額（消費税込み）		備考
		他の道路との接続位置及び接続の方法								
		他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	工事の着手年月日	工事の完成予定年月日			うち助成対象基準額（消費税込み）	
東北縦貫自動車道弘前線	栃木県佐野市黒袴町	県道佐野環状線	栃木県佐野市関川町及び黒袴町	立体接続	平成21年9月11日	平成23年4月28日（供用開始） 平成31年3月30日（残事業完成）	863百万円	1,193百万円	―	佐野SA
東北縦貫自動車道弘前線	栃木県宇都宮市今里町	県道上河内スマートインター線	栃木県宇都宮市今里町	立体接続	平成21年9月11日	平成22年12月18日（供用開始） 平成24年3月28日（残事業完成）	300百万円	338百万円	―	上河内SA

別　紙　1

（イ） 路線名	（ロ） 工事の箇所	（ハ）工事方法 他の道路との接続位置及び接続の方法			（ニ） 工事の着手及び完成の予定年月日		（ホ） 工事予算 （消費税込み）	（ヘ） 債務引受限度額 （消費税込み）	うち 助成対象 基準額 （消費税込み）	備考
		他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	工事の着手 年月日	工事の完成 予定年月日				
東北縦貫自動車道 弘前線	栃木県 那須郡 那須町 豊原丙	県道 那須高原 スマート インター線	栃木県 那須郡 那須町 豊原丙	立体接続	平成21年9月11日	平成22年12月18日 （供用開始） 平成24年3月28日 （残事業完成）	447百万円	483百万円	—	那須 高原 SA
東北横断自動車道 釜石秋田線	秋田県 大仙市 九升田	市道 赤坂強首線	秋田県 大仙市 強首及び 九升田	立体接続	平成21年9月11日	平成23年3月26日 （供用開始） 平成24年3月28日 （残事業完成）	92百万円	96百万円	—	西仙北 SA
東北横断自動車道 いわき新潟線	新潟県 新潟市 秋葉区福島	市道新津 １－90号線 及び 市道新津 １－91号線	新潟県 新潟市 秋葉区福島	立体接続	平成21年9月11日	平成23年12月17日 （供用開始） 平成26年3月30日 （残事業完成）	1,271百万円	1,387百万円	—	本線 直結 型
関越自動車道 新潟線	埼玉県 坂戸市塚崎	市道3979 号路線及び 市道6919 号路線	埼玉県 坂戸市塚崎 及び粟生田	立体接続	平成21年9月11日	平成25年8月25日 （供用開始） 平成27年3月30日 （残事業完成）	1,885百万円	2,132百万円	—	本線 直結 型
関越自動車道 新潟線	群馬県高崎 市上滝町	市道 G680号線 及び 市道 G681号線	群馬県高崎 市上滝町及 び佐波郡玉 村町上新田	立体接続	平成21年9月11日	平成26年2月22日 （供用開始） 平成27年3月30日 （残事業完成）	2,762百万円	3,174百万円	—	本線 直結 型
常磐自動車道	茨城県 石岡市 正上内	市道 A2485号線	茨城県 石岡市 正上内	立体接続	平成21年9月11日	平成23年3月24日 （供用開始） 平成25年3月28日 （残事業完成）	2,772百万円	3,006百万円	—	本線 直結 型
北陸自動車道	新潟県 三条市 福島新田	市道岡野 新田1号線 及び 市道岡野 新田2号線	新潟県 三条市 福島新田	立体接続	平成21年9月11日	平成24年7月14日 （供用開始） 平成26年3月30日 （残事業完成）	904百万円	1,028百万円	—	栄PA

別　紙　1

（イ） 路線名	（ロ） 工事の箇所	（ハ）工事方法 他の道路との接続位置及び接続の方法			（ニ） 工事の着手及び完成の予定年月日		（ホ） 工事予算 （消費税込み）	（へ） 債務引受限度額 （消費税込み）	うち 助成対象 基準額 （消費税込み）	備考
		他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	工事の着手 年月日	工事の完成 予定年月日				
関越自動車道 新潟線	埼玉県大里郡寄居町用土	深谷市道岡2-570号及び寄居町道A046号線	埼玉県深谷市本郷及び大里郡寄居町用土	立体接続	平成24年5月1日	平成31年3月31日	1,194百万円	1,534百万円	—	寄居PA
関越自動車道 新潟線	埼玉県児玉郡上里町大字五明	町道2480号線及び町道2087号線	埼玉県児玉郡上里町大字五明	立体接続	平成24年5月1日	平成27年12月20日（供用開始） 平成29年3月30日（残事業完成）	1,165百万円	1,240百万円	—	上里SA
北陸自動車道	新潟県長岡市上野町	市道上川西398号線及び市道上川西399号線	新潟県長岡市上野町及び大荒戸町	立体接続	平成24年5月1日	平成29年3月25日（供用開始） 平成30年3月30日（残事業完成）	2,491百万円	2,621百万円	—	本線直結型
北陸自動車道	新潟県新潟市江南区西野	主要地方道新潟港横越線	新潟県新潟市江南区西野	立体接続	平成24年5月1日	平成28年3月26日（供用開始） 平成29年3月31日（残事業完成）	3,376百万円	3,562百万円	—	本線直結型
北海道縦貫自動車道 函館名寄線	北海道砂川市空知太	市道砂川SAスマートインター線	北海道砂川市北光	立体接続	平成25年7月1日	平成27年8月8日（供用開始） 平成29年3月30日（残事業完成）	420百万円	455百万円	—	砂川SA
東北縦貫自動車道 弘前線	福島県郡山市大槻町	市道中央インター1号線及び市道中央インター2号線	福島県郡山市大槻町及び片平町	立体接続	平成25年7月1日	平成31年3月31日	3,158百万円	3,465百万円	—	本線直結型
東北縦貫自動車道 弘前線	岩手県奥州市胆沢区小山	市道附野下笹森線及び県道衣川水沢線	岩手県奥州市胆沢区小山	立体接続	平成25年7月1日	平成31年3月31日	2,549百万円	2,743百万円	—	本線直結型

別　紙　1

（イ） 路線名	（ロ） 工事の箇所	（ハ）工事方法 他の道路との接続位置及び接続の方法			（ニ） 工事の着手及び完成の予定年月日		（ホ） 工事予算 （消費税込み）	（ヘ） 債務引受限度額 （消費税込み）	うち 助成対象 基準額 （消費税込み）	備考
		他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	工事の着手 年月日	工事の完成 予定年月日				
東北縦貫自動車道 弘前線	岩手県紫波郡矢巾町大字煙山	県道不動盛岡線及び町道堤川目線	岩手県紫波郡矢巾町大字上矢次及び煙山	立体接続	平成25年7月1日	平成30年3月24日 （供用開始） 平成31年3月30日 （残事業完成）	1,475百万円	1,581百万円	—	矢巾 PA
東北縦貫自動車道 弘前線	岩手県滝沢市高屋敷平	村道茨島土沢線	岩手県滝沢市高屋敷平	立体接続	平成25年7月1日	平成31年3月31日	3,617百万円	3,843百万円	—	本線 直結 型
常磐自動車道	福島県南相馬市鹿島区浮田字椴木沢	市道西138号線	福島県南相馬市鹿島区浮田字椴木沢	立体接続	平成25年7月1日	平成27年2月21日 （供用開始） 平成28年3月30日 （残事業完成）	286百万円	291百万円	—	南相馬 鹿島 SA
常磐自動車道	宮城県亘理郡山元町坂元字法羅	町道坂元インター線	宮城県亘理郡山元町坂元字上小山	立体接続	平成25年7月1日	平成29年4月1日 （供用開始） 平成30年3月30日 （残事業完成）	2,802百万円	3,023百万円	—	本線 直結 型
常磐自動車道	宮城県亘理郡亘理町逢隈高屋	町道亘理スマートインター線	宮城県亘理郡亘理町逢隈高屋字新谷地	立体接続	平成25年7月1日	平成28年3月19日 （供用開始） 平成30年3月30日 （残事業完成）	636百万円	717百万円	—	鳥の海 PA
北関東自動車道	群馬県太田市成塚町	市道太田成塚北金井1093号線	群馬県太田市北金井町	立体接続	平成25年7月1日	平成31年3月31日	1,296百万円	1,421百万円	—	太田 PA
一般国道6号 （仙台東部道路）	宮城県名取市下増田耕谷	市道飯野坂杉ケ袋線	宮城県名取市下増田耕谷及び飯野坂小揚場	立体接続	平成25年7月1日	平成29年3月18日 （供用開始） 平成30年3月30日 （残事業完成）	2,409百万円	2,522百万円	—	本線 直結 型

別　紙　1

（イ） 路線名	（ロ） 工事の箇所	（ハ）工事方法 他の道路との接続位置及び接続の方法			（ニ） 工事の着手及び完成の予定年月日		（ホ） 工事予算 （消費税込み）	（へ） 債務引受限度額 （消費税込み）	うち 助成対象 基準額 （消費税込み）	備考
		他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	工事の着手 年月日	工事の完成 予定年月日				
一般国道468号 （東京湾横断・木更津東金道路）	千葉県大網白里市小中	市道01-03 2号線	千葉県大網白里市小中	立体接続	平成25年7月1日	平成31年3月31日	3,055百万円	3,337百万円	—	本線 直結 型
一般国道468号 （東京湾横断・木更津東金道路）	千葉県茂原市国府関	市道3級42 21号線	千葉県茂原市国府関	立体接続	平成25年7月1日	平成32年3月31日	2,605百万円	2,994百万円	—	本線 直結 型

関越自動車道上越線

（長野県上水内郡信濃町大字野尻から新潟県上越市大字中屋敷まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

関越自動車道上越線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　長野県上水内郡信濃町大字野尻　　から
新潟県上越市大字中屋敷　　まで

（ロ） 延　　長　　37. 5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分

設 計 区 間	道路の区分	摘　要
長野県上水内郡信濃町大字野尻 から 新潟県上越市中郷区二本木 まで	第1種第3級	道路構造令
新潟県上越市中郷区二本木 から 新潟県上越市大字中屋敷 まで	第1種第2級	道路構造令

別　紙　1

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
長野県上水内郡信濃町大字野尻 から 新潟県上越市中郷区二本木 まで	80	17．6	
新潟県上越市中郷区二本木 から 新潟県上越市大字中屋敷 まで	100	19．9	

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
長野県上水内郡信濃町大字野尻 から 新潟県上越市大字中屋敷 まで	4 車線	4 車線	4車線化

別　紙　1

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

設計区間	構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
		左　側	計	左　側	右　側	計	
長野県上水内郡信濃町大字野尻 から 新潟県上越市中郷区二本木 まで	土工（掘割）部分	1．75	1．75	－	－	－	
	トンネル部分	－	－	－	－	－	
	橋梁高架部分（中小橋）	1．75	1．75	－	－	－	
	橋梁高架部分（長大橋）	1．25	1．25	－	－	－	
新潟県上越市中郷区二本木 から 新潟県上越市大字中屋敷 まで	土工（掘割）部分	2．50	2．50	2．50	1．25	3．75	
	トンネル部分	－	－	1．00	1．00	2．00	
	橋梁高架部分（中小橋）	2．50	2．50	2．50	1．25	3．75	
	橋梁高架部分（長大橋）	1．75	1．75	1．75	1．25	3．00	

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

別　紙　1

（チ） 中央帯の標準幅員

設 計 区 間	幅　員	摘　要
長野県上水内郡信濃町大字野尻 から 新潟県上越市中郷区二本木 まで	3．00メートル（土工部） 3．00メートル（橋梁部）	
新潟県上越市中郷区二本木 から 新潟県上越市大字中屋敷 まで	4．50メートル（土工部） 4．50メートル（橋梁部）	

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
－	－	－	

（4） 工事予算

62，148　百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　24　年　5　月　1　日
②工事の完成予定年月日　　平成　31　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

67，225 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　65，820 百万円）（消費税込み）

東関東自動車道千葉富津線
（千葉県木更津市中烏田から千葉県富津市竹岡まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道千葉富津線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　千葉県木更津市中烏田　　から
千葉県富津市竹岡　　まで

（ロ） 延　　長　　20．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間		設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
千葉県木更津市中烏田	から	100	20．7	
千葉県富津市竹岡	まで			

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
千葉県木更津市中烏田 から 千葉県富津市竹岡 まで	4 車線	4 車線	4車線化

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	—	—	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

―　メートル（土工部）
―　メートル（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
―	―	―	

（4） 工事予算

29，961 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成 24 年 5 月 1 日
②工事の完成予定年月日　　平成 31 年 3 月 31 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

33，011 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　32，122 百万円）（消費税込み）

東関東自動車道水戸線（潮来IC）（改築）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の箇所

茨城県潮来市福島

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般県道水戸神栖線	茨城県潮来市福島	立体接続	潮来インターチェンジ

（4） 工事予算

1，223 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　23 年　4 月　1 日

②工事の完成予定年月日　　平成　37 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，605 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，532 百万円）（消費税込み）

東関東自動車道水戸線（鉾田IC）（改築）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の箇所

茨城県鉾田市秋山

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道鉾田茨城線	茨城県鉾田市 飯名	立体接続	鉾田インターチェンジ

（4） 工事予算

1，469 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　23 年　4 月　1 日

②工事の完成予定年月日　　平成　37 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，905 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，829 百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）

（埼玉県久喜市下早見から茨城県猿島郡五霞町大字江川まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　埼玉県久喜市下早見　　から
茨城県猿島郡五霞町大字江川　　まで

（ロ） 延　　長　　12．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
埼玉県久喜市下早見　から 茨城県猿島郡五霞町大字江川　まで	100	12．7	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
埼玉県久喜市下早見　から 茨城県猿島郡五霞町大字江川　まで	2 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	－	－	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	１．７５×２	３．５０	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　３．５　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
東北縦貫自動車道 弘前線	埼玉県久喜市 下早見	立体接続	久喜白岡ジャンクション
都市計画道路 惣新田・幸手線	埼玉県幸手市 大字平須賀	立体接続	幸手インターチェンジ
一般国道4号	茨城県猿島郡五霞町 大字江川	立体接続	五霞インターチェンジ

（4） 工事予算

25，452 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

イ　埼玉県久喜市下早見（STA274+95）から埼玉県幸手市大字上高野（STA331+83）まで
平成　26　年　4　月　1　日

ロ　埼玉県幸手市大字上高野（STA331+83）から埼玉県幸手市大字上高野（STA335+54）まで
平成　26　年　11　月　13　日

ハ　埼玉県幸手市大字上高野（STA335+54）から埼玉県幸手市大字上高野（STA339+04）まで
平成　26　年　10　月　1　日

二　埼玉県幸手市大字上高野（STA339+04）から埼玉県幸手市大字平須賀（STA357+16）まで
平成　26　年　4　月　1　日

ホ　埼玉県幸手市大字平須賀（STA357+16）から埼玉県幸手市大字平須賀（STA361+47）まで
平成　24　年　7　月　1　日

ヘ　埼玉県幸手市大字平須賀（STA361+47）から埼玉県幸手市大字平須賀（STA361+56）まで
平成　25　年　1　月　15　日

ト　埼玉県幸手市大字平須賀（STA361+56）から埼玉県幸手市大字木立（STA382+10）まで
平成　24　年　7　月　1　日

別　紙　1

チ　埼玉県幸手市大字木立（STA382+10）から茨城県猿島郡五霞町大字幸主（STA5+37）まで
平成　26　年　8　月　1　日

リ　茨城県猿島郡五霞町大字幸主（STA5+37）から茨城県猿島郡五霞町大字幸主（STA10+43）まで
平成　26　年　4　月　1　日

ヌ　茨城県猿島郡五霞町大字幸主（STA10+43）から茨城県猿島郡五霞町大字幸主（STA12+30）まで
平成　26　年　12　月　2　日

ル　茨城県猿島郡五霞町大字幸主（STA12+30）から茨城県猿島郡五霞町大字幸主（STA14+31）まで
平成　26　年　10　月　30　日

ヲ　茨城県猿島郡五霞町大字幸主（STA14+31）から茨城県猿島郡五霞町大字江川（STA15+01）まで
平成　26　年　11　月　13　日

ワ　茨城県猿島郡五霞町大字江川（STA15+01)から茨城県猿島郡五霞町大字江川(STA16+91)まで
平成　26　年　10　月　30　日

幸手IC　ランプ部
カ　埼玉県幸手市大字平須賀(D-STA1+28)から埼玉県幸手市大字平須賀(H-STA0+64)まで
平成　26　年　5　月　1　日

ヨ　埼玉県幸手市大字平須賀(H-STA0+64)から埼玉県幸手市大字平須賀(H-STA1+10)まで
平成　26　年　8　月　1　日

別　紙　1

タ　埼玉県幸手市大字平須賀(A-STA1+06)から埼玉県幸手市大字平須賀(E-STA0+67)まで
平成　26　年　5　月　1　日

レ　埼玉県幸手市大字平須賀(E-STA0+67)から埼玉県幸手市大字平須賀(E-STA1+12)まで
平成　26　年　8　月　1　日

幸手IC　管理施設部
ソ　埼玉県幸手市大字平須賀(D-STA1+31)から埼玉県幸手市大字平須賀(H-STA0+56)まで
平成　26　年　4　月　1　日

五霞IC　ランプ部
ツ　茨城県猿島郡五霞町大字江川(A-STA0+00)から茨城県猿島郡五霞町大字江川(A-STA0+12)まで
平成　26　年　10　月　30　日

ネ　茨城県猿島郡五霞町大字江川(A-STA0+12)から茨城県猿島郡五霞町大字江川(A-STA1+93)まで
平成　26　年　12　月　2　日

ナ　茨城県猿島郡五霞町大字江川(B-STA1+86)から茨城県猿島郡五霞町大字江川(B-STA3+68)まで
平成　26　年　12　月　2　日

ラ　茨城県猿島郡五霞町大字江川(C-STA0+52)から茨城県猿島郡五霞町大字江川(C-STA2+25)まで
平成　26　年　11　月　13　日

ム　茨城県猿島郡五霞町大字幸主(D-STA1+79)から茨城県猿島郡五霞町大字幸主(D-STA4+50)まで
平成　26　年　10　月　30　日

別　紙　1

ウ　茨城県猿島郡五霞町大字幸主(E-STA0+00)から茨城県猿島郡五霞町大字幸主(E-STA1+56)まで
平成　26　年　11　月　26　日

ノ　茨城県猿島郡五霞町大字江川(F-STA1+58)から茨城県猿島郡五霞町大字幸主(F-STA4+10)まで
平成　27　年　1　月　26　日

オ　茨城県猿島郡五霞町大字江川(G-STA1+00)から茨城県猿島郡五霞町大字幸主(G-STA4+12)まで
平成　27　年　1　月　26　日

ク　茨城県猿島郡五霞町大字幸主(H-STA1+60)から茨城県猿島郡五霞町大字江川(H-STA3+91)まで
平成　26　年　11　月　11　日

ヤ　茨城県猿島郡五霞町大字幸主(I-STA0+02)から茨城県猿島郡五霞町大字幸主(I-STA1+46)まで
平成　26　年　12　月　2　日

マ　茨城県猿島郡五霞町大字幸主(I-STA1+46)から茨城県猿島郡五霞町大字江川(I-STA3+83)まで
平成　26　年　12　月　2　日

ケ　茨城県猿島郡五霞町大字江川(I-STA3+83)から茨城県猿島郡五霞町大字江川(I-STA6+80)まで
平成　26　年　12　月　16　日

フ　茨城県猿島郡五霞町大字江川(I-STA6+80)から茨城県猿島郡五霞町大字幸主(I-STA7+37)まで
平成　26　年　12　月　6　日

コ　茨城県猿島郡五霞町大字幸主(I-STA7+37)から茨城県猿島郡五霞町大字幸主(I-STA8+78)まで
平成　26　年　11　月　18　日

別　紙　1

エ　茨城県猿島郡五霞町大字幸主(I-STA8+78)から茨城県猿島郡五霞町大字幸主(I-STA8+96)まで
平成　26　年　12　月　6　日

テ　茨城県猿島郡五霞町大字幸主(I-STA8+96)から茨城県猿島郡五霞町大字江川(I-STA11+72)まで
平成　26　年　11　月　13　日

ア　茨城県猿島郡五霞町大字江川(I-STA11+72)から茨城県猿島郡五霞町大字江川(I-STA11+88)まで
平成　27　年　2　月　1　日

サ　茨城県猿島郡五霞町大字江川(I-STA11+88)から茨城県猿島郡五霞町大字江川(I-STA14+15)まで
平成　26　年　12　月　6　日

五霞IC　料金所部
キ　茨城県猿島郡五霞町大字江川(I-STA5+65)から茨城県猿島郡五霞町大字江川(I-STA6+30)まで
平成　26　年　5　月　1　日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　27　年　3　月　29　日（供用開始）

平成　27　年　10　月　31　日（五霞インターチェンジ増設レーン供用開始）

平成　31　年　3　月　30　日（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

26，528 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　26，528 百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）

（茨城県猿島郡五霞町大字江川から茨城県つくば市新井まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　茨城県猿島郡五霞町大字江川　から
茨城県つくば市新井　まで

（ロ） 延　長　35. 4 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （ｷﾛﾒｰﾄﾙ/時）	延　長 （ｷﾛﾒｰﾄﾙ）	摘　要
茨城県猿島郡五霞町大字江川 から 茨城県つくば市新井 まで	100	35．4	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
茨城県猿島郡五霞町大字江川 から 茨城県つくば市新井 まで	2 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	１．７５×２	３．５０	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	１．７５×２	３．５０	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	１．７５×２	３．５０	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　３．５　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道4号	茨城県猿島郡 五霞町大字江川	立体接続	五霞インターチェンジ
一般国道354号	茨城県猿島郡 境町大字蛇池	立体接続	境古河インターチェンジ
主要地方道 結城岩井線	茨城県坂東市 冨田	立体接続	坂東インターチェンジ
一般国道294号	茨城県常総市 三坂新田町	立体接続	常総インターチェンジ
県道 取手つくば線	茨城県つくば市 柳橋	立体接続	つくば中央インターチェンジ

（4） 工事予算

41，533 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

イ　茨城県猿島郡五霞町大字江川（STA16+91）から茨城県猿島郡五霞町大字江川（STA17+13）まで
平成　26　年　10　月　30　日

ロ　茨城県猿島郡五霞町大字江川（STA17+13）から茨城県猿島郡五霞町大字江川（STA19+34）まで
平成　26　年　11　月　11　日

ハ　茨城県猿島郡五霞町大字江川（STA19+34）から茨城県猿島郡五霞町大字江川（STA23+00）まで
平成　26　年　11　月　11　日

ニ　茨城県猿島郡五霞町大字江川（STA23+00）から茨城県猿島郡五霞町大字江川（STA26+60）まで
平成　26　年　12　月　2　日

ホ　茨城県猿島郡五霞町大字江川（STA26+60）から茨城県猿島郡五霞町大字山王山（STA30+20）まで
平成　26　年　12　月　11　日

ヘ　茨城県猿島郡五霞町大字山王山（STA30+20）から茨城県猿島郡五霞町大字小福田（STA37+30）まで
平成　24　年　9　月　1　日

ト　茨城県猿島郡五霞町大字小福田（STA37+30）から茨城県猿島郡五霞町大字大福田（STA41+90）まで
平成　26　年　11　月　1　日

別　紙　1

チ　　茨城県猿島郡五霞町大字大福田（STA41+90）から茨城県猿島郡境町大字塚崎（STA50+25）まで
平成　26　年　9　月　1　日

リ　　茨城県猿島郡境町大字塚崎（STA50+25）から茨城県猿島郡境町大字長井戸（STA79+72）まで
平成　24　年　9　月　1　日

ヌ　　茨城県猿島郡境町大字長井戸（STA79+72）から茨城県猿島郡境町大字長井戸（STA80+40）まで
平成　25　年　2　月　1　日

ル　　茨城県猿島郡境町大字長井戸（STA80+40）から茨城県猿島郡境町大字西泉田（STA88+80）まで
平成　24　年　9　月　1　日

ヲ－１－１－１　　茨城県猿島郡境町大字西泉田（STA88+80）から茨城県猿島郡境町大字西泉田（STA92+00）まで
平成　28　年　8　月　1　日

ヲ－１－１－２　　茨城県猿島郡境町大字西泉田（STA92+00）から茨城県猿島郡境町大字西泉田（STA93+23）まで
平成　28　年　3　月　1　日

ヲ－１－１－３　　茨城県猿島郡境町大字西泉田（STA93+23）から茨城県猿島郡境町大字西泉田（STA99+00）まで
平成　28　年　1　月　1　日

ヲ－１－１－４　　茨城県猿島郡境町大字西泉田（STA99+00）から茨城県猿島郡境町山崎（STA111+28）まで
平成　28　年　8　月　1　日

別　紙　1

ヲ－１－２　茨城県猿島郡境町山崎（STA111+28）から茨城県猿島郡境町山崎（STA120+00）まで
平成　28　年　2　月　1　日

ヲ－１－３－１　茨城県猿島郡境町山崎（STA120+00）から茨城県坂東市菅谷（STA129+03）まで
平成　28　年　3　月　1　日

ヲ－１－３－２　茨城県坂東市菅谷（STA129+03）から茨城県坂東市生子（STA140+00）まで
平成　28　年　8　月　1　日

ヲ－１－３－３　茨城県坂東市生子（STA140+00）から茨城県坂東市生子（STA156+60）まで
平成　28　年　1　月　1　日

ヲ－１－４　茨城県坂東市生子（STA156+60）から茨城県坂東市半谷（STA159+11）まで
平成　28　年　2　月　1　日

ヲ－１－５－１　茨城県坂東市半谷（STA159+11）から茨城県坂東市冨田（STA162+80）まで
平成　28　年　8　月　1　日

ヲ－１－５－２　茨城県坂東市冨田（STA162+80）から茨城県坂東市冨田（STA167+90）まで
平成　28　年　6　月　1　日

ヲ－１－５－３　茨城県坂東市冨田（STA167+90）から茨城県坂東市冨田（STA172+45）まで
平成　28　年　4　月　1　日

別　紙　1

ヲ－ 2 茨城県坂東市冨田(STA172+45)から茨城県坂東市弓田(STA181+17)まで
平成 28 年 4 月 1 日

ヲ－ 3 － 1 茨城県坂東市弓田(STA181+17)から茨城県坂東市弓田(STA182+22)まで
平成 28 年 6 月 1 日

ヲ－ 3 － 2 茨城県坂東市弓田(STA182+22)から茨城県坂東市弓田(STA208+20)まで
平成 28 年 8 月 1 日

ヲ－ 4 茨城県坂東市弓田(STA208+20)から茨城県常総市大生郷町(STA231+73)まで
平成 28 年 5 月 1 日

ヲ－ 5 茨城県常総市大生郷町(STA231+73)から茨城県常総市花島町(STA251+16)まで
平成 28 年 8 月 1 日

ヲ－ 6 茨城県常総市花島町(STA251+16)から茨城県常総市三坂町(STA266+19)まで
平成 28 年 5 月 1 日

ヲ－ 7 茨城県常総市三坂町(STA266+19)から茨城県常総市三坂町(STA269+17)まで
平成 28 年 9 月 1 日

ヲ－ 8 茨城県常総市三坂町(STA269+17)から茨城県つくば市高良田元上新田(STA292+93)まで
平成 28 年 5 月 1 日

別　紙　1

ヲ－ 9　茨城県つくば市高良田元上新田（STA292+93）から茨城県つくば市高須賀（STA298+71）まで
　　平成　28　年　8　月　8　日

ヲ－ 10 茨城県つくば市高須賀（STA298+71））から茨城県つくば市高須賀（STA302+38）まで
　　平成　28　年　6　月　1　日

ヲ－ 11 茨城県つくば市高須賀（STA302+38）から茨城県つくば市高須賀（STA311+00）まで
　　平成　28　年　4　月　1　日

ヲ－ 12 茨城県つくば市高須賀（STA311+00）から茨城県つくば市島名（STA343+77）まで
　　平成　28　年　8　月　8　日

ヲ－ 13 茨城県つくば市島名（STA343+77）から茨城県つくば市平（STA352+40）まで
　　平成　28　年　5　月　1　日

ヲ－ 14 茨城県つくば市平（STA352+40）から茨城県つくば市大白硲（STA354+00）まで
　　平成　28　年　8　月　8　日

ヲ－ 15 茨城県つくば市大白硲（STA354+00）から茨城県つくば市柳橋（STA367+47）まで
　　平成　28　年　4　月　1　日

ヲ－ 16 茨城県つくば市柳橋（STA367+47）から茨城県つくば市新井（STA371+21）まで
　　平成　28　年　8　月　8　日

別　紙　1

坂東IC ランプ部

ワ－ 1　茨城県坂東市冨田（C-STA1+00）から茨城県坂東市冨田（E-STA0+35）まで
平成 27 年 7 月 10 日

ワ－ 2　茨城県坂東市冨田（A-STA1+00）から茨城県坂東市冨田（A-STA4+02）まで
平成 28 年 4 月 1 日

ワ－ 3　茨城県坂東市冨田（B-STA1+00）から茨城県坂東市弓田（B-STA4+64）まで
平成 28 年 4 月 1 日

ワ－ 4　茨城県坂東市冨田（C-STA1+00）から茨城県坂東市冨田（C-STA6+04）まで
平成 28 年 4 月 1 日

ワ－ 5　茨城県坂東市冨田（D-STA1+00）から茨城県坂東市冨田（D-STA8+23）まで
平成 28 年 4 月 1 日

常総IC ランプ部

カ－ 1　茨城県常総市三坂町（A-STA0+55）から茨城県常総市三坂町（E-STA0+25）まで
平成 27 年 7 月 1 日

カ－ 2　茨城県常総市三坂町（A-STA0+55）から茨城県常総市三坂町（A-STA1+00）まで
平成 28 年 3 月 1 日

別　紙　1

常総IC　ランプ部

カ － 3　　茨城県常総市三坂町（A-STA6+35）から茨城県常総市三坂町（A-STA6+90）まで
　　平成　28　年　5　月　1　日

カ － 4　　茨城県常総市三坂町（B-STA6+92）から茨城県常総市三坂新田町（B-STA8+12）まで
　　平成　28　年　5　月　1　日

カ － 5　　茨城県常総市三坂町（D-STA2+40）から茨城県常総市三坂町（D-STA5+68）まで
　　平成　28　年　5　月　1　日

カ － 6　　茨城県常総市三坂町（A-STA0+77）から茨城県常総市三坂町（A-STA6+35）まで
　　平成　28　年　9　月　1　日

カ － 7　　茨城県常総市三坂町（B-STA1+00）から茨城県常総市三坂町（B-STA6+92）まで
　　平成　28　年　9　月　1　日

カ － 8　　茨城県常総市三坂町（C-STA0+77）から茨城県常総市三坂町（C-STA4+31）まで
　　平成　28　年　9　月　1　日

カ － 9　　茨城県常総市三坂町（D-STA1+00）から茨城県常総市三坂町（D-STA2+40）まで
　　平成　28　年　9　月　1　日

別　紙　1

つくば中央IC

ヨ － 1　　茨城県つくば市新井（A-STA0+85）から茨城県つくば市新井（A-STA3+55）まで
　　平成　28　年　8　月　8　日

ヨ － 2　　茨城県つくば市新井（D-STA1+50）から茨城県つくば市柳橋（D-STA7+79）まで
　　平成　28　年　8　月　8　日

・なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　27　年　3　月　29　日（五霞～境古河　供用開始）

平成　29　年　2　月　26　日（境古河～つくば中央　供用開始）

平成　35　年　3　月　30　日（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

44，765 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　44，765 百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）
（茨城県稲敷市沼田から千葉県成田市吉岡まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　茨城県稲敷市沼田　　から
千葉県成田市吉岡　　まで

（ロ） 延　　長　　20．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
茨城県稲敷市沼田　から 千葉県成田市吉岡　まで	100	20．3	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
茨城県稲敷市沼田　から 千葉県成田市吉岡　まで	2 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	１．７５×２ ２．３０×１ ２．５０×１	３．５０ ２．３０ ２．５０	－	－	－	稲敷～神崎 神崎～大栄 神崎～大栄
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	１．７５×２	３．５	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	１．７５×２	３．５	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　３．５　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
主要地方道 江戸崎新利根線	茨城県稲敷市 沼田	立体接続	稲敷インターチェンジ
県道 江戸崎下総線	茨城県稲敷市 桑山	立体接続	稲敷東インターチェンジ
一般国道356号	千葉県香取郡 神崎町大字松崎	立体接続	神崎インターチェンジ
主要地方道 成田下総線	千葉県成田市 青山	立体接続	下総インターチェンジ
東関東自動車道 水戸線	千葉県成田市 吉岡	立体接続	大栄ジャンクション

（4） 工事予算

18，724 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

イ－ 1 茨城県稲敷市沼田（STA195+40）から茨城県稲敷市沼田（STA203+05）まで
平成 25 年 10 月 1 日

イ－ 2 茨城県稲敷市沼田（STA203+05）から茨城県稲敷市沼田（STA205+45）まで
平成 25 年 7 月 1 日

イ－ 3 茨城県稲敷市沼田（STA205+45）から茨城県稲敷市沼田（STA208+55）まで
平成 25 年 4 月 1 日

イ－ 4 茨城県稲敷市沼田（STA208+55）から茨城県稲敷市沼田（STA209+75）まで
平成 25 年 8 月 1 日

イ－ 5 茨城県稲敷市沼田（STA209+75）から茨城県稲敷市沼田（STA210+75）まで
平成 25 年 10 月 1 日

イ－ 6 茨城県稲敷市沼田（STA210+75）から茨城県稲敷市江戸崎（STA211+95）まで
平成 25 年 8 月 1 日

イ－ 7 茨城県稲敷市江戸崎（STA211+95）から茨城県稲敷市江戸崎（STA213+20）まで
平成 26 年 3 月 1 日

別　紙　1

イ－ 8　茨城県稲敷市江戸崎(STA213+20)から茨城県稲敷市江戸崎(STA220+74)まで
平成　25　年　8　月　1　日

イ－ 9　茨城県稲敷市江戸崎(STA220+74)から茨城県稲敷市江戸崎(STA225+65)まで
平成　25　年　7　月　1　日

イ－ 10 茨城県稲敷市江戸崎(STA225+65)から茨城県稲敷市駒塚(STA233+35)まで
平成　25　年　4　月　1　日

ロ－ 1　茨城県稲敷市駒塚(STA233+35)から茨城県稲敷市駒塚(STA233+85)まで
平成　25　年　11　月　1　日

ロ－ 2　茨城県稲敷市駒塚(STA233+85)から茨城県稲敷市駒塚(STA236+00)まで
平成　26　年　3　月　1　日

ロ－ 3　茨城県稲敷市駒塚(STA236+00)から茨城県稲敷市椎塚(STA237+82)まで
平成　25　年　9　月　1　日

ロ－ 4　茨城県稲敷市椎塚(STA237+82)から茨城県稲敷市椎塚(STA242+85)まで
平成　25　年　10　月　1　日

ロ－ 5　茨城県稲敷市椎塚(STA242+85)から茨城県稲敷市清水(STA247+10)まで
平成　26　年　3　月　1　日

ロ－ 6　茨城県稲敷市清水(STA247+10)から茨城県稲敷市清水(STA248+89)まで
平成　25　年　11　月　1　日

別　紙　1

ロ－ 7　茨城県稲敷市清水(STA248+89)から茨城県稲敷市清水(STA252+90)まで
平成　25　年　10　月　1　日

ハ－ 1　茨城県稲敷市清水(STA252+90)から茨城県稲敷市清水(STA265+45)まで
平成　25　年　10　月　1　日

ハ－ 2　茨城県稲敷市清水(STA265+45)から千葉県香取郡神崎町大字松崎(STA4+65)まで
平成　25　年　4　月　1　日

ニ－ 3　千葉県香取郡神崎町大字松崎(STA4+65)から千葉県香取郡神崎町大字松崎(STA7+80)まで
平成　25　年　11　月　1　日

ニ－ 4　千葉県香取郡神崎町大字松崎(STA7+80)から千葉県香取郡神崎町大字松崎(STA12+60)まで
平成　26　年　7　月　17　日

ニ－ 5　千葉県香取郡神崎町大字松崎(STA12+60)から千葉県香取郡神崎町大字松崎(STA13+24)まで
平成　26　年　8　月　1　日

ホ－ 1　千葉県香取郡神崎町大字松崎(STA13+24)から千葉県香取郡神崎町大字松崎(STA13+55)まで
平成　26　年　9　月　1　日

ホ－ 2　千葉県香取郡神崎町大字松崎(STA13+55)から千葉県成田市高(STA17+20)まで
平成　26　年　8　月　1　日

ホ－ 3　千葉県成田市高(STA17+20)から千葉県成田市高(STA17+80)まで
平成　26　年　10　月　1　日

別　紙　1

ホ－ 4　千葉県成田市高(STA17+80)から千葉県成田市高(STA19+40)まで
平成　26　年　8　月　1　日

ホ－ 5　千葉県成田市高(STA19+40)から千葉県成田市高(STA19+64)まで
平成　26　年　9　月　1　日

ホ－ 6　千葉県成田市高(STA19+64)から千葉県成田市高(STA20+24)まで
平成　26　年　8　月　18　日

ホ－ 7　千葉県成田市高(STA20+24)から千葉県成田市高(STA21+46)まで
平成　26　年　9　月　1　日

ホ－ 8　千葉県成田市高(STA21+46)から千葉県成田市高(STA22+02)まで
平成　26　年　11　月　10　日

ホ－ 9　千葉県成田市高(STA22+02)から千葉県成田市名木(STA24+35)まで
平成　26　年　9　月　15　日

ホ－ 10　千葉県成田市名木(STA24+35)から千葉県成田市名木(STA27+80)まで
平成　26　年　11　月　20　日

ホ－ 11　千葉県成田市名木(STA27+80)から千葉県成田市名木(STA31+20)まで
平成　26　年　12　月　1　日

ホ－ 12　千葉県成田市名木(STA31+20)から千葉県成田市名木(STA32+10)まで
平成　26　年　10　月　1　日

別　紙　1

ホ－ 13 千葉県成田市名木(STA32+10)から千葉県成田市名木(STA35+50)まで
平成 26 年 9 月 1 日

ホ－ 14 千葉県成田市名木(STA35+50)から千葉県成田市名木(STA37+60)まで
平成 26 年 11 月 20 日

ホ－ 15 千葉県成田市名木(STA37+60)から千葉県成田市名木(STA39+00)まで
平成 26 年 12 月 1 日

ホ－ 16 千葉県成田市名木(STA39+00)から千葉県成田市名木(STA41+83)まで
平成 26 年 11 月 10 日

ホ－ 17 千葉県成田市名木(STA41+83)から千葉県成田市名木(STA45+40)まで
平成 26 年 9 月 1 日

へ－ 1 千葉県成田市名木(STA45+40)から千葉県成田市倉水(STA59+20)まで
平成 26 年 9 月 1 日

へ－ 2 千葉県成田市倉水(STA59+20)から千葉県成田市稲荷山(STA60+40)まで
平成 26 年 12 月 1 日

へ－ 3 千葉県成田市稲荷山(STA60+40)から千葉県成田市稲荷山(STA63+00)まで
平成 26 年 11 月 10 日

へ－ 4 千葉県成田市稲荷山(STA60+40)から千葉県成田市成井(STA63+80)まで
平成 26 年 10 月 1 日

別　紙　1

へ－ 5　千葉県成田市成井(STA63+80)から千葉県成田市成井(STA66+20)まで
　　平成　26　年　11　月　20　日

へ－ 6　千葉県成田市成井(STA66+20)から千葉県成田市成井(STA67+45)まで
　　平成　26　年　12　月　10　日

へ－ 7　千葉県成田市成井(STA67+45)から千葉県成田市成井(STA68+20)まで
　　平成　26　年　9　月　1　日

へ－ 8　千葉県成田市成井(STA68+20)から千葉県成田市成井(STA71+40)まで
　　平成　26　年　8　月　1　日

へ－ 9　千葉県成田市成井(STA71+40)から千葉県成田市成井(STA73+46)まで
　　平成　26　年　7　月　17　日

へ－ 10 千葉県成田市成井(STA73+46)から千葉県成田市芝(STA76+52)まで
　　平成　26　年　8　月　18　日

へ－ 11 千葉県成田市芝(STA76+52)から千葉県成田市芝(STA87+77)まで
　　平成　26　年　7　月　17　日

へ－ 12 千葉県成田市芝(STA87+77)から千葉県成田市芝(STA92+20)まで
　　平成　26　年　8　月　18　日

へ－ 13 千葉県成田市芝(STA92+20)から千葉県成田市吉岡(STA101+68)まで
　　平成　26　年　7　月　17　日

別　紙　1

へ－ 14 千葉県成田市吉岡(STA101+68)から千葉県成田市吉岡(STA102+95)まで
平成 26 年 9 月 15 日

ト　千葉県成田市吉岡(STA102+95)から千葉県成田市吉岡(STA106+70)まで
平成 26 年 11 月 20 日

稲敷東IC
ハ　茨城県稲敷市清水(A-STA0＋85)から茨城県稲敷市清水(E-STA0＋55)まで

神崎IC
ニ－ 1 千葉県香取郡神崎町大字松崎(C-STA2＋22)から千葉県香取郡神崎町大字松崎(E-STA0＋50)まで
平成 25 年 1 月 21 日

ニ－ 2 千葉県香取郡神崎町大字松崎(E-STA0＋50)から千葉県香取郡神崎町大字松崎(E-STA3＋25)まで
平成 25 年 10 月 1 日

ニ－ 3 千葉県香取郡神崎町大字松崎(B-STA2+22)から千葉県香取郡神崎町大字松崎(B-STA7+06)まで
平成 26 年 7 月 17 日

ニ－ 4 千葉県香取郡神崎町大字松崎(C1-STA2+22)から千葉県香取郡神崎町大字松崎(C1-STA4+58)まで
平成 26 年 7 月 17 日

ニ－ 5 千葉県香取郡神崎町大字松崎(C2-STA0+0)から千葉県香取郡神崎町大字松崎(C2-STA3+20)まで
平成 26 年 7 月 17 日

ニ－ 6 千葉県香取郡神崎町大字松崎(D-STA0+0)から千葉県香取郡神崎町大字松崎(D-STA2+0)まで
平成 26 年 9 月 1 日

別　紙　1

下総IC

へ－ 1　千葉県成田市青山(C1-STA0+50)から千葉県成田市青山(E-STA0+71)まで
　　平成　26　年　7　月　17　日

へ－ 2　千葉県成田市青山(C1-STA0+50)から千葉県成田市青山(C1-STA1+91)まで
　　平成　26　年　9　月　1　日

へ－ 3　千葉県成田市青山(A-STA0+50)から千葉県成田市名木(A-STA4+25)まで
　　平成　26　年　9　月　1　日

へ－ 4　千葉県成田市青山(B-STA0+50)から千葉県成田市名木(B-STA4+96)まで
　　平成　26　年　9　月　1　日

へ－ 5　千葉県成田市青山(C2-STA1+91)から千葉県成田市名木(C2-STA4+97)まで
　　平成　26　年　9　月　1　日

へ－ 6　千葉県成田市青山(D-STA1+91)から千葉県成田市名木(D-STA5+86)まで
　　平成　26　年　9　月　1　日

へ－ 7　千葉県成田市青山(E-STA0+71)から千葉県成田市名木(E-STA1+91)まで
　　平成　27　年　1　月　1　日

別　紙　1

大栄JCT
ト－ 1　千葉県成田市吉岡（B-STA2+10）から千葉県成田市吉岡（B-STA9+53）まで
　　平成　26　年　12　月　1　日

ト－ 2　千葉県成田市吉岡（H-STA2+10）から千葉県成田市吉岡（H-STA7+48）まで
　　平成　26　年　12　月　1　日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　26　年　4　月　12　日　　（稲敷IC～神崎IC　供用開始）

平成　27　年　6　月　7　日　　（神崎IC～大栄JCT　供用開始）

平成　31　年　3　月　30　日　　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

20，362 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　20，362 百万円）（消費税込み）

関越自動車道新潟線

（東京都三鷹市北野から東京都練馬区大泉町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

関越自動車道新潟線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　東京都三鷹市北野　　から
東京都練馬区大泉町　　まで

（ロ） 延　　長　　9．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　直轄事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 2 種 第 1 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
東京都三鷹市北野　から 東京都練馬区大泉町　まで	80	9．8	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．25 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
東京都三鷹市北野　から 東京都練馬区大泉町　まで	6 車線	6 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	－	－	2．50	0．75	3．25	
トンネル部分	－	－	2．50	0．75	3．25	
橋梁高架部分（中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	－	－	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
中央自動車道富士吉田線	東京都三鷹市北野	立体接続 平面接続	中央ジャンクション（仮称） 本線
都道新宿国立線	東京都三鷹市牟礼	立体接続	東八道路インターチェンジ（仮称）
都道東京所沢線	東京都練馬区関町南	立体接続	青梅街道インターチェンジ（仮称）
都道練馬所沢線	東京都練馬区東大泉	立体接続	目白通りインターチェンジ（仮称）
東北縦貫自動車道弘前線	東京都練馬区大泉町	平面接続	本線
関越自動車道新潟線	東京都練馬区大泉町	立体接続	大泉ジャンクション

（4） 工事予算

476，402 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

イ　東京都三鷹市北野(STA.63+36)から東京都練馬区石神井台(STA.137+10)まで
平成　31　年　10 月　　1 日

ロ　東京都練馬区石神井台(STA.137+10)から東京都練馬区石神井町(STA.149+40)まで
平成　31　年　　4 月　　1 日

ハ　東京都練馬区石神井町(STA.149+40)から東京都練馬区大泉町(STA.159+15)まで
平成　29　年　　6 月　　1 日

ニ　東京都練馬区大泉町(STA.159+15)から東京都練馬区大泉町(STA.160+89)まで
平成　26　年　　9 月　11 日

・ なお、直轄事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が直轄事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　　3 月　31 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

519，521　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　504，659　百万円）（消費税込み）

北関東自動車道（太田PA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北関東自動車道

（2） 工事の箇所

群馬県太田市

別　紙　1

（3） 工事予算

5，994 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　25 年　7 月　1 日
②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

6，435 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　6，155 百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）

（神奈川県横浜市栄区田谷町から神奈川県藤沢市城南二丁目まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名　　一般国道468号
（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県横浜市栄区田谷町　　から
神奈川県藤沢市城南二丁目　　まで

（ロ） 延　　長　　7．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
神奈川県横浜市栄区田谷町　から 神奈川県藤沢市城南二丁目　まで	80	7．3	

別　紙　1

（二） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（へ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
神奈川県横浜市栄区田谷町　から 神奈川県藤沢市城南二丁目　まで	4 車線	4 車線	

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．5×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	－	－	2．50	0．75	3．25	
橋梁高架部分（中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

別　紙　1

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

3．00 メートル　（土工部）
3．00 メートル　（橋梁部）

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道468号（横浜横須賀道路）及び都市計画道路横浜藤沢線	神奈川県横浜市栄区田谷町	立体接続	栄インター・ジャンクション（仮称）
一般国道1号	神奈川県藤沢市城南二丁目	立体接続	藤沢インターチェンジ
一般国道1号（新湘南バイパス）	神奈川県藤沢市城南二丁目	平面接続	藤沢インターチェンジ

（4） 工事予算

14，645 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

イ　神奈川県横浜市栄区田谷町(STA.00+73)から神奈川県藤沢市城南一丁目(STA.74+05)まで
平成　31　年　4　月　1　日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手（予定）年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける（予定）年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　33　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

16，651 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　15，882 百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）
（千葉県成田市吉岡から千葉県山武市松尾町谷津まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名　　一般国道468号
（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　千葉県成田市吉岡　　から
千葉県山武市松尾町谷津　　まで

（ロ） 延　　長　　18．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
千葉県成田市吉岡 から 千葉県山武市松尾町谷津 まで	100	18．5	

別　紙　1

（二） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（へ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
千葉県成田市吉岡　から 千葉県山武市松尾町谷津　まで	2 車線	4 車線	

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	1．00×2	2．00	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	－	－	2．50	0．75	3．25	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

別　紙　1

（チ） 付加車線の標準幅員　　3．5 メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
東関東自動車道水戸線	千葉県成田市吉岡	立体接続	大栄ジャンクション
県道成田小見川鹿島港線	千葉県成田市川上	立体接続	（主）成田小見川鹿島港線インターチェンジ（仮称）
一般国道296号	千葉県香取郡多古町喜多	立体接続	国道296号インターチェンジ（仮称）
一般国道126号（銚子連絡道路）及び県道成田松尾線	千葉県山武市松尾町谷津	立体接続	松尾横芝インターチェンジ
一般国道126号（千葉東金道路）	千葉県山武市松尾町谷津	平面接続	松尾横芝インターチェンジ

（4） 工事予算

53，590 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

イ　千葉県成田市吉岡(STA.0+00)から千葉県山武市松尾町谷津(STA.184+90)まで
平成　31 年　4 月　1 日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手（予定）年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける（予定）年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　平成　37 年　3 月　31 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

64，631 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　61，646 百万円）（消費税込み）

北海道縦貫自動車道函館名寄線（士別剣淵IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道縦貫自動車道函館名寄線

（2） 工事の箇所

北海道士別市南町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
道道士別剣淵インター線	北海道士別市南町及び 北海道上川郡剣淵町	立体接続	士別剣淵インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

259　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　26 年　10 月　1 日

②工事の完成予定年月日　平成　38 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

291　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　278 百万円）（消費税込み）

日本海沿岸東北自動車道（酒田みなとIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

日本海沿岸東北自動車道

（2） 工事の箇所

山形県酒田市藤塚字ふけ田

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
主要地方道酒田八幡線	山形県酒田市 藤塚字南割	立体接続	酒田みなとインターチェンジ
日本海沿岸東北自動車道	山形県酒田市 藤塚字ふけ田	平面接続	本線 （新直轄）

（4） 工事予算

1，632 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　26 年　10 月　 1 日

②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，805 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，745 百万円）（消費税込み）

常磐自動車道（いわき小名浜IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の箇所

福島県いわき市山田町長沢

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
小名浜道路 （県道いわき上三坂小野線）	福島県いわき市 山田町長沢	立体接続	いわき小名浜インターチェンジ （仮称）

（4） 工事予算

1，317 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　26 年　10 月　 1 日

②工事の完成予定年月日　　平成　34 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，512 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，442 百万円）（消費税込み）

一般国道１３号（米沢南陽道路）（米沢北IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道13号

（有料道路名 ： 米沢南陽道路）

（2） 工事の箇所

山形県米沢市窪田町

別　紙　1

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 他の道路との接続位置及び接続方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
国道121号	山形県米沢市窪田町	立体接続	米沢北インターチェンジ
東北中央自動車道相馬尾花沢線	山形県米沢市窪田町	平面接続	本線 （新直轄）

（4） 工事予算

678 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

イ　山形県米沢市窪田町小瀬（STA 356 + 30.00）から山形県米沢市窪田町小瀬（STA 357+00.00）まで
平成　28　年　10　月　1　日

ロ　山形県米沢市窪田町小瀬（STA 357+00.00）から山形県米沢市窪田町小瀬（STA 358+39.00）まで
平成　29　年　4　月　15　日

別　紙　1

ハ　　山形県米沢市窪田町小瀬（STA 358+39.00）から山形県米沢市窪田町小瀬（STA 358+59.00）まで
平成　28　年　10　月　1　日

ニ　　山形県米沢市窪田町小瀬（STA 358+59.00）から山形県米沢市窪田町小瀬（STA 360+33.42）まで
平成　29　年　4　月　15　日

ホ　　山形県米沢市窪田町小瀬（C1-STA 1+3.62）から山形県米沢市窪田町小瀬（C1-STA 1+50.00）まで
平成　29　年　4　月　15　日

ヘ　　山形県米沢市窪田町小瀬（C1-STA 1+50.00）から山形県米沢市窪田町小瀬（C1-STA 6+25.00）まで
平成　28　年　10　月　1　日

・なお、工事の着手予定年月日とは、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　29　年　11　月　4　日　（供用開始）

平成　31　年　3　月　30　日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

750 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　717 百万円）（消費税込み）

東北縦貫自動車道　弘前線（平泉スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道　弘前線

（2） 工事の箇所

岩手県西磐井郡平泉町字祇園

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
町道　祇園線	岩手県西磐井郡平泉町字 祇園	立体接続	平泉スマートインターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

3，056 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　26 年　10 月　 1 日

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

3，326 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　百万円）（消費税込み）

東北縦貫自動車道　八戸線（八戸西スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道　八戸線

（2） 工事の箇所

青森県八戸市大字尻内町字根岸

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道　新川添線（上り線） 及び市道　畑田線（下り線）	青森県八戸市大字尻内町 字新川添及び畑田	立体接続	八戸西スマートインターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

2，637 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　26 年　10 月　 1 日

②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，794 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　百万円）（消費税込み）

東北横断自動車道　釜石秋田線（横手北スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北横断自動車道　釜石秋田線

（2） 工事の箇所

秋田県横手市猪岡字竜ノ末

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道　横手北スマートインター線	秋田県横手市猪岡字水越	立体接続	横手北スマートインターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

2，629 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　26 年　10 月　 1 日

②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，779 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　百万円）（消費税込み）

東北横断自動車道 いわき新潟線（田村中央スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北横断自動車道 いわき新潟線

（2） 工事の箇所

福島県田村市大越町牧野

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道　堀之内線	福島県田村市大越町牧野	立体接続	田村中央スマートインターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

2，246 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　26 年　10 月　 1 日

②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　 3 月　31 日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，378 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　百万円）（消費税込み）

常磐自動車道（水戸北スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の箇所

茨城県水戸市飯富町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道水戸北スマートインター1号線（仮称）及び市道水戸北スマートインター2号線（仮称）	茨城県水戸市飯富町	立体接続	水戸北スマートインターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

1，399 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　26 年　10 月　 1 日

②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　 9 月　30 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，519 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　百万円）（消費税込み）

常磐自動車道（ならはスマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の箇所

福島県双葉郡楢葉町大字大谷

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
町道　ならはスマートインター線	福島県双葉郡楢葉町大字 大谷	立体接続	ならはスマートインターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

2，432 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　26 年　10 月　 1 日

②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，581 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　百万円）（消費税込み）

東北縦貫自動車道弘前線（福島北JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道弘前線

（2） 工事の箇所

福島県伊達郡桑折町大字松原

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道115号（東北中央自動車道）相馬福島道路	福島県伊達郡桑折町大字松原	立体接続	福島北ジャンクション（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

5，296 百万円 （消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日　平成　27 年　9 月　1 日

②工事の完成予定年月日　平成　32 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

5，955 百万円 （消費税込み）

（うち、助成対象基準額　5，729 百万円）（消費税込み）

常磐自動車道（大熊IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の箇所

福島県双葉郡大熊町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
町道西20号線	福島県双葉郡大熊町	立体接続	大熊インターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

2，531 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日　平成　27 年　9 月　1 日

②工事の完成予定年月日　平成　31 年　3 月　31 日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，697 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　2，571 百万円）（消費税込み）

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故における原子力災害により設定された帰還困難区域における施工のため、工事に要する費用への影響が確認された場合は、必要な措置を相互に確認し、対処するものとする。

常磐自動車道（双葉IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の箇所

福島県双葉郡双葉町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
町道双葉インター線	福島県双葉郡双葉町	立体接続	双葉インターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

2，695 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日　平成　27 年　9 月　1 日

②工事の完成予定年月日　平成　32 年　3 月　31 日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，893 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　2，820 百万円）（消費税込み）

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故における原子力災害により設定された帰還困難区域における施工のため、工事に要する費用への影響が確認された場合は、必要な措置を相互に確認し、対処するものとする。

東北縦貫自動車道弘前線（大谷スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道弘前線

（2） 工事の箇所

栃木県宇都宮市宝木町及び駒生町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道大谷スマートインター1号線及び市道大谷スマートインター2号線	栃木県宇都宮市宝木町及び駒生町	立体接続	大谷スマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

3，740 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日　平成　27 年　9 月　1 日

②工事の完成予定年月日　平成　33 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

3，996 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　―　百万円）（消費税込み）

関越自動車道新潟線（三芳スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

関越自動車道新潟線

（2） 工事の箇所

埼玉県入間郡三芳町上富

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
町道幹線3号線及び町道上富69号線	埼玉県入間郡三芳町上富	立体接続	三芳スマートインターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

1，048 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日　平成　27 年　9 月　1 日

②工事の完成予定年月日　平成　31 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，104 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　―　百万円）（消費税込み）

一般国道１６号（横浜横須賀道路）（横須賀ＰＡスマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道16号

（有料道路名：横浜横須賀道路）

（2） 工事の箇所

神奈川県横須賀市平作

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道7566号坂本芦名線	神奈川県横須賀市平作	立体接続	横須賀PAスマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

1，084 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日　平成　27 年　9 月　1 日

②工事の完成予定年月日　平成　33 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，163 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　―　百万円）（消費税込み）

東関東自動車道水戸線（京葉JCT）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の箇所

千葉県市川市稲荷木

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道14号 （京葉道路）	千葉県市川市 稲荷木	立体接続	京葉ジャンクション

別　紙　1

（4） 工事予算

32，814 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日　　平成　28 年　3 月　1 日

②工事の完成予定年月日　　平成　35 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

37，996 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　36，191 百万円）（消費税込み）

常磐自動車道

（福島県いわき市好間町から福島県双葉郡広野町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　福島県いわき市好間町　　から
福島県双葉郡広野町　　まで

（ロ） 延　　長　　26．6 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
福島県いわき市好間町 から 福島県双葉郡広野町 まで	100	26．6	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
福島県いわき市好間町 から 福島県双葉郡広野町 まで	4 車線	4 車線	4車線化

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	—	—	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル（土工部）
4．50　メートル（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
―	―	―	

（4） 工事予算

90，000 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　28　年　7　月　1　日
②工事の完成予定年月日　　平成　33　年　3　月　31　日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

101，053 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　96，964 百万円）（消費税込み）

常磐自動車道

（宮城県亘理郡山元町大平から宮城県亘理郡亘理町逢隈まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

常磐自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　宮城県亘理郡山元町大平　　から
宮城県亘理郡亘理町逢隈　　まで

（ロ） 延　　長　　11．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
宮城県亘理郡山元町大平 から 宮城県亘理郡亘理町逢隈 まで	100	11．5	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
宮城県亘理郡山元町大平 から 宮城県亘理郡亘理町逢隈 まで	4 車線	4 車線	4車線化

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	—	—	—	
トンネル部分	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル（土工部）
4．50　メートル（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
―	―	―	

（4） 工事予算

28，000 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　28　年　7　月　1　日
②工事の完成予定年月日　　平成　33　年　3　月　31　日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

33，511 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　32，225 百万円）（消費税込み）

一般国道６号（仙台東部道路）

（宮城県亘理郡亘理町逢隈から宮城県岩沼市押分まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道6号

（有料道路名 ： 仙台東部道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　宮城県亘理郡亘理町逢隈　から
宮城県岩沼市押分　まで

（ロ） 延　長　2. 2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　有料道路事業

（ロ） 道路の区分　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
宮城県亘理郡亘理町逢隈 から 宮城県岩沼市押分 まで	100	2．2	

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
宮城県亘理郡亘理町逢隈 から 宮城県岩沼市押分 まで	4 車線	4 車線	4車線化

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	—	—	—	
トンネル部分	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル（土工部）
4．50　メートル（橋梁部）

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
—	—	—	

別　紙　1

（4） 工事予算

12，000 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　28　年　7　月　1　日

②工事の完成予定年月日　　平成　33　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

14，197 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　13，626 百万円）（消費税込み）

北海道縦貫自動車道函館名寄線（苫小牧中央IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北海道縦貫自動車道函館名寄線

（2） 工事の箇所

北海道苫小牧市字高丘

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
道道　苫小牧中央インター線	北海道苫小牧市 字高丘	立体接続	苫小牧中央インターチェンジ （仮称）

（4） 工事予算

1，508 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　28　年　7　月　1　日

②工事の完成予定年月日　　平成　33　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，787 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，705 百万円）（消費税込み）

東北縦貫自動車道　弘前線（都賀西方スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道　弘前線

（2） 工事の箇所

栃木県栃木市都賀町及び西方町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道都賀西方スマートインター1号線及び市道都賀西方スマートインター2号線	栃木県栃木市都賀町及び西方町	立体接続	都賀西方スマートインターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

1，240 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　28　年　7　月　1　日

②工事の完成予定年月日　　平成　33　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，422 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　百万円）（消費税込み）

東北縦貫自動車道　弘前線（矢板北スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道　弘前線

（2） 工事の箇所

栃木県矢板市下太田地内及び長井地内

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道矢板北スマートインター1号線及び市道矢板北スマートインター2号線	栃木県矢板市下太田地内及び長井地内	立体接続	矢板北スマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

796 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　28　年　7　月　1　日

②工事の完成予定年月日　　平成　33　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

936 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　百万円）（消費税込み）

東関東自動車道水戸線
（茨城県潮来市延方から茨城県鉾田市秋山まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東関東自動車道水戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　茨城県潮来市延方　から
茨城県鉾田市秋山　まで

（ロ） 延　長　30．9 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　直轄事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
茨城県潮来市延方 から 茨城県鉾田市秋山 まで	80	30．9	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
茨城県潮来市延方 から 茨城県鉾田市秋山 まで	2 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	２．５０×２	５．０	－	－	－	
トンネル部分	０．７５×２	１．５	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	２．５０×２	５．０	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	１．７５×２	３．５	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　３．５　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道水戸神栖線及び 市道（潮）1級13号線	茨城県潮来市 延方	立体接続	潮来インターチェンジ
市道麻生1-17号	茨城県行方市 石神	立体接続	麻生インターチェンジ（仮称）
一般国道354号	茨城県行方市 両宿	立体接続	北浦インターチェンジ（仮称）
県道鉾田茨城線	茨城県鉾田市 飯名	立体接続	鉾田インターチェンジ

（4） 工事予算

16，735 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日　平成　29　年　7　月　1　日

・ なお、直轄事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、
会社が直轄事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいい、茨城県潮来市延方（STA－1－8.1）から
茨城県鉾田市塔ヶ崎（STA286+4.0）は、平成35年　4月　1日までに着手するものとする

②工事の完成予定年月日　　平成　37　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

21，162 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　20，062 百万円）（消費税込み）

東北縦貫自動車道 弘前線（菅生スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東北縦貫自動車道　弘前線

（2） 工事の箇所

宮城県柴田郡村田町菅生

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
主要地方道　仙台村田線	宮城県柴田郡村田町菅生	立体接続	菅生スマートインターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

2，103 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　29 年　10 月　 1 日

②工事の完成予定年月日　　平成　35 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，726 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　百万円）（消費税込み）

関越自動車道上越線（甘楽PAスマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

関越自動車道　上越線

（2） 工事の箇所

群馬県甘楽郡甘楽町大字白倉及び天引

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
町道　甘楽PAスマートIC線	群馬県甘楽郡甘楽町大字白倉及び天引	立体接続	甘楽PAスマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

974 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　29 年　10 月　 1 日

②工事の完成予定年月日　　平成　35 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，274 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　百万円）（消費税込み）

北関東自動車道（出流原PAスマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北関東自動車道

（2） 工事の箇所

栃木県佐野市出流原町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道出流原PAスマートインター線（西行き）及び市道出流原PAスマートインター線（東行き）	栃木県佐野市出流原町	立体接続	出流原PAスマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

1，335 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　29 年　10 月　 1 日

②工事の完成予定年月日　　平成　34 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，684 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）　（つくばスマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1．工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号（首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の箇所

茨城県つくば市島名

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道つくばスマートICアクセス1号線及び市道つくばスマートICアクセス2号線	茨城県つくば市島名	立体接続	つくばスマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

1，908 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　29 年　10 月　 1 日

②工事の完成予定年月日　　平成　34 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，440 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）

（埼玉県久喜市大字下早見から千葉県成田市吉岡まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号（有料道路名　：　首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　埼玉県久喜市大字下早見　　から
千葉県成田市吉岡　　まで

（ロ） 延　　長　　92. 2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般道路事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
埼玉県久喜市大字下早見　から 千葉県成田市吉岡　まで	100	92．2	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
埼玉県久喜市大字下早見　から 千葉県成田市吉岡　まで	4 車線	4 車線	4車線化

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

設 計 区 間	構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
		左 側	計	左 側	右 側	計	
埼玉県久喜市 大字下早見 から	土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	—	—	—	
	トンネル部分	—	—	—	—	—	
千葉県 成田市吉岡 まで	橋梁高架部分 （中小橋）	2．50×2	5．00	—	—	—	
	橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	

（チ） 付加車線の標準幅員　　—　メートル

別　紙　1

（リ） 中央帯の標準幅員

設 計 区 間	幅　　員	摘　要
埼玉県久喜市大字下早見　　から 千葉県成田市吉岡　　まで	3．00メートル（土工部） 3．50メートル（橋梁部）	

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
―	―	―	

（4） 工事予算

381，666 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　30　年　5　月　1　日
②工事の完成予定年月日　　平成　37　年　3　月　31　日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手（予定）年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける（予定）年月日をいう。

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

450，990 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　429，342 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－２

第二東海自動車道横浜名古屋線

（神奈川県海老名市門沢橋から神奈川県厚木市下津古久まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第二東海自動車道　横浜名古屋線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県海老名市門沢橋　　から
神奈川県厚木市下津古久　　まで

（ロ） 延　　長　　1．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
神奈川県海老名市門沢橋 から 神奈川県厚木市下津古久 まで	120	1．5	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
神奈川県海老名市 門沢橋　から 神奈川県厚木市 下津古久　まで	4 車線	6 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	－	－	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

―　メートル　（土工部）

2．25　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道468号（首都圏中央連絡自動車道）	神奈川県海老名市門沢橋	立体接続	海老名南ジャンクション
第一東海自動車道	神奈川県海老名市門沢橋	立体接続	海老名南ジャンクション
一般国道129号	神奈川県厚木市下津古久	立体接続	厚木南インターチェンジ

（4） 工事予算

102，673 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10　年　4　月　17　日
②工事の完成予定年月日　　平成　30　年　1　月　28　日　（供用開始）
　　平成　35　年　3　月　30　日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

87，694 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　83，309 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－３

第二東海自動車道横浜名古屋線

（神奈川県厚木市下津古久から神奈川県伊勢原市上粕屋まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第二東海自動車道　横浜名古屋線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県厚木市下津古久　　から
神奈川県伊勢原市上粕屋　　まで

（ロ） 延　　長　　6．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
神奈川県厚木市 下津古久　から 神奈川県伊勢原市 上粕屋　まで	120	6．7	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
神奈川県厚木市 下津古久　から 神奈川県伊勢原市 上粕屋　まで	4 車線	6 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	－	－	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50 メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）

2．25　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道129号	神奈川県厚木市 下津古久	立体接続	厚木南インターチェンジ
第一東海自動車道	神奈川県伊勢原市 東富岡	立体接続	伊勢原ジャンクション（仮称）
一般国道246号 （厚木秦野道路）	神奈川県伊勢原市 上粕屋	立体接続	伊勢原北インターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

247，480 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10　年　4　月　17　日
②工事の完成予定年月日　　平成　31　年　3　月　31　日　［厚木南IC～伊勢原JCT（仮称）］
　　平成　32　年　3　月　31　日　［伊勢原JCT（仮称）～伊勢原北IC（仮称）］

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

246，483 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　234，159 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－４

第二東海自動車道横浜名古屋線

（神奈川県伊勢原市上粕屋から神奈川県秦野市柳川まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第二東海自動車道　横浜名古屋線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県伊勢原市上粕屋　　から
神奈川県秦野市柳川　　まで

（ロ） 延　　長　　12．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
神奈川県伊勢原市上粕屋　から 神奈川県秦野市柳川　まで	120	12．8	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県伊勢原市上粕屋 から 神奈川県秦野市柳川 まで	4 車線	6 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	－	－	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	－	－	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分（中小橋）	－	－	2．50	1．25	3．75	
橋梁高架部分（長大橋）	－	－	1．75	1．25	3．00	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　ー　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道246号（厚木秦野道路）	神奈川県伊勢原市上粕屋	立体接続	伊勢原北インターチェンジ（仮称）
一般国道246号	神奈川県秦野市菖蒲	立体接続	秦野インターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

337，284 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12　年　1　月　12　日
②工事の完成予定年月日　　平成　33　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

364，555 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　346，327 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－５

第二東海自動車道横浜名古屋線

（神奈川県秦野市柳川から静岡県御殿場市駒門まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第二東海自動車道　横浜名古屋線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県秦野市柳川　　から
静岡県御殿場市駒門　　まで

（ロ） 延　　長　　32. 3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
神奈川県秦野市柳川　から 静岡県御殿場市駒門　まで	120	32. 3	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県秦野市柳川 から 静岡県御殿場市駒門 まで	4 車線	6 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	――――	―――	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	1．75	1．25	3．00	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　―――　　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道138号及び県道仁杉柴怒田線	静岡県御殿場市柴怒田	立体接続	御殿場インターチェンジ（仮称）
第一東海自動車道	静岡県御殿場市駒門	立体接続	御殿場ジャンクション

（4） 工事予算

557，107 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18　年　4　月　19　日
②工事の完成予定年月日　　平成　33　年　3　月　31　日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

599，790 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　569，801 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－６

第二東海自動車道横浜名古屋線

（静岡県御殿場市駒門から静岡県駿東郡長泉町大字元長窪まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第二東海自動車道　横浜名古屋線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　静岡県御殿場市駒門　　から
静岡県駿東郡長泉町大字元長窪　　まで

（ロ） 延　　長　　13．2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
静岡県御殿場市駒門　から 静岡県駿東郡長泉町大字元長窪　まで	120	13．2	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　3.50 メートル 及び 3.75 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
静岡県御殿場市駒門 から 静岡県駿東郡長泉町大字元長窪 まで	4 車線	6 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	－	－	3．00	1．75	4．75	
トンネル部分	－	－	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分（中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	－	－	3．00	1．25	4．25	

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
第一東海自動車道	静岡県御殿場市駒門	立体接続	御殿場ジャンクション
一般国道1号（伊豆縦貫自動車道）及び県道大岡元長窪線	静岡県駿東郡長泉町大字元長窪	立体接続	長泉沼津インターチェンジ

（4） 工事予算

215，487 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10　年　1　月　20　日
②工事の完成予定年月日　　平成　24　年　4　月　14　日　　（供用開始）
　　平成　30　年　3　月　30　日　　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

135，745 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　135，745 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－７

第二東海自動車道横浜名古屋線

（静岡県駿東郡長泉町大字元長窪から静岡県浜松市北区引佐町東黒田まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第二東海自動車道　横浜名古屋線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　静岡県駿東郡長泉町大字元長窪　　から
静岡県浜松市北区引佐町東黒田　　まで

（ロ） 延　　長　　131．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
静岡県駿東郡長泉町大字元長窪　から 静岡県浜松市北区引佐町東黒田　まで	120	131．5	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル　および　3．75 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
静岡県駿東郡 長泉町大字元長窪　から 静岡県浜松市 北区引佐町東黒田　まで	4 車線	6 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	－	－	3．00	1．75	4．75	
トンネル部分	－	－	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	3．00	1．75	4．75	
橋梁高架部分 （長大橋）	－	－	3．00	1．25	4．25	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道1号（伊豆縦貫自動車道）及び県道大岡元長窪線	静岡県駿東郡長泉町大字元長窪	立体接続	長泉沼津インターチェンジ
一般国道139号（西富士道路）及び県道一色久沢線	静岡県富士市厚原	立体接続	新富士インターチェンジ
一般国道52号	静岡県静岡市清水区宍原	立体接続	新清水インターチェンジ
中部横断自動車道	静岡県静岡市清水区吉原	立体接続	新清水ジャンクション
県道清水富士宮線	静岡県静岡市清水区杉山	立体接続	清水いはらインターチェンジ
第一東海自動車道	静岡県静岡市清水区草ヶ谷	立体接続	清水ジャンクション
県道井川湖御幸線及び県道山脇大谷線	静岡県静岡市葵区下	立体接続	新静岡インターチェンジ

別　紙　1

一般国道1号 及び県道静岡朝比奈藤枝線	静岡県藤枝市 岡部町入野	立体接続	藤枝岡部インターチェンジ
一般国道473号	静岡県島田市 横岡新田	立体接続	島田金谷インターチェンジ
県道掛川天竜線	静岡県周智郡 森町睦実	立体接続	森掛川インターチェンジ
一般国道152号	静岡県浜松市 浜北区中瀬	立体接続	浜松浜北インターチェンジ
一般国道474号 （三遠南信自動車道）	静岡県浜松市 北区引佐町東黒田	立体接続	浜松いなさジャンクション
一般国道257号	静岡県浜松市 北区引佐町東黒田	立体接続	浜松いなさインターチェンジ
第一東海自動車道	静岡県浜松市 北区三ヶ日町福長	立体接続	三ヶ日ジャンクション

（4） 工事予算

2，294，749 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5　年　12　月　4　日

②工事の完成予定年月日　　平成　24　年　4　月　14　日　（供用開始）

平成　30　年　3　月　30　日　（残事業一部完成）

平成　33　年　3　月　30　日　（残事業完成）

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

971，117 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　971，117 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｃ－８

第二東海自動車道横浜名古屋線

（静岡県浜松市北区引佐町東黒田から愛知県豊田市岩倉町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第二東海自動車道　横浜名古屋線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　静岡県浜松市北区引佐町東黒田　　から
愛知県豊田市岩倉町　　まで

（ロ） 延　　長　　55. 2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
静岡県浜松市北区引佐町東黒田 から 愛知県豊田市岩倉町 まで	120	55. 2	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
静岡県浜松市北区引佐町東黒田 から 愛知県豊田市岩倉町 まで	4 車線	6 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	3．25×2	6．50	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	—	—	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分（中小橋）	3．25×2	6．50	2．50	1．25	3．75	
橋梁高架部分（長大橋）	2．50×2	5．00	1．75	1．25	3．00	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50 メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

3．00メートル(土工部)
3．00メートル(橋梁部)

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道474号（三遠南信自動車道）	静岡県浜松市北区引佐町東黒田	立体接続	浜松いなさジャンクション
一般国道151号	愛知県新城市八束穂	立体接続	新城インターチェンジ
一般国道473号	愛知県岡崎市樫山町	立体接続	岡崎東インターチェンジ
一般国道475号（東海環状自動車道）	愛知県豊田市岩倉町	立体接続	豊田東ジャンクション

（4） 工事予算

610，649 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成　5　年　12　月　4　日	
②工事の完成予定年月日	平成　28　年　2　月　13　日	（供用開始）
	平成　30　年　3　月　30　日	（残事業一部完成）
	平成　33　年　3　月　30　日	（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

632，092 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　632，092 百万円）（消費税込み）

中部横断自動車道

（静岡県静岡市清水区吉原から山梨県南巨摩郡南部町福士まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中部横断自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　静岡県静岡市清水区吉原　　から
山梨県南巨摩郡南部町福士　　まで

（ロ） 延　　長　　20. 7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
静岡県静岡市清水区吉原 から 山梨県南巨摩郡南部町福士 まで	80	20. 7	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
静岡県静岡市 清水区吉原　から 山梨県南巨摩郡 南部町福士　まで	2 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	1．25×2	2．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員　　－　メートル　（土工部）
　　－　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
第二東海自動車道横浜名古屋線	静岡県静岡市清水区吉原	立体接続	新清水ジャンクション
一般国道52号	山梨県南巨摩郡南部町福士	立体接続	富沢インターチェンジ
中部横断自動車道	山梨県南巨摩郡南部町福士	平面接続	本線（新直轄）

（4） 工事予算

169，431 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11　年　1　月　8　日
②工事の完成予定年月日　　平成　31　年　3　月　31　日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

183，790 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　174，601 百万円）（消費税込み）

中部横断自動車道

（山梨県西八代郡市川三郷町宮原から山梨県南巨摩郡富士川町大椚まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中部横断自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　山梨県西八代郡市川三郷町宮原　　から
山梨県南巨摩郡富士川町大椚　　まで

（ロ） 延　　長　　9．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
山梨県西八代郡市川三郷町宮原 から 山梨県南巨摩郡富士川町大椚 まで	80	9．3	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
山梨県西八代郡 市川三郷町宮原　から 山梨県南巨摩郡 富士川町大椚　まで	2 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	1．25×2	2．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員　　－　メートル
　　－　メートル

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
中部横断自動車道	山梨県西八代郡 市川三郷町宮原	平面接続	本線（新直轄）
県道市川三郷身延線	山梨県西八代郡 市川三郷町宮原	立体接続	六郷インターチェンジ
一般国道52号	山梨県南巨摩郡 富士川町青柳町	立体接続	増穂インターチェンジ

（4） 工事予算

72，842 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11　年　1　月　8　日
②工事の完成予定年月日　　平成　29　年　3　月　19　日　（供用開始）
　　平成　31　年　3　月　30　日　（残事業完成）

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

78，989 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　78，989 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道名古屋神戸線

（三重県四日市市伊坂町から三重県四日市市北山町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　三重県四日市市伊坂町　　から
三重県四日市市北山町　　まで

（ロ） 延　　長　　4．4 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
三重県四日市市伊坂町 から 三重県四日市市北山町 まで	100	4．4	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
三重県四日市市伊坂町 から 三重県四日市市北山町 まで	4 車線	6 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	—	—	—	
トンネル部分	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
近畿自動車道　名古屋亀山線	三重県四日市市伊坂町	立体接続	四日市ジャンクション
一般国道475号（東海環状自動車道）	三重県四日市市北山町	立体接続	新四日市ジャンクション

（4） 工事予算

53，320 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成 11 年 1 月 8 日
②工事の完成予定年月日　平成 28 年 8 月 11 日　（供用開始）
平成 31 年 3 月 30 日　（残事業完成）

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

57，013 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　57，013 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道名古屋神戸線

（三重県四日市市北山町から三重県三重郡菰野町大字潤田まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　三重県四日市市北山町　　から
三重県三重郡菰野町大字潤田　　まで

（ロ） 延　　長　　8．2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
三重県四日市市北山町 から 三重県三重郡菰野町大字潤田 まで	120	8．2	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
三重県四日市市北山町 から 三重県三重郡菰野町大字潤田 まで	4 車線	6 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	—	—	—	
トンネル部分	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（中小橋）	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道475号（東海環状自動車道）	三重県四日市市北山町	立体接続	新四日市ジャンクション
一般国道477号	三重県三重郡菰野町大字潤田	立体接続	菰野インターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

99，459　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　11　年　1　月　8　日
②工事の完成予定年月日　平成　31　年　3　月　31　日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

105，256　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　99，993　百万円）（消費税込み）

近畿自動車道名古屋神戸線

（三重県三重郡菰野町大字潤田から三重県亀山市安坂山町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　三重県三重郡菰野町大字潤田　　から
三重県亀山市安坂山町　　まで

（ロ） 延　　長　　15. 2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
なお、暫定施工時は、第1種第2級(道路構造令)

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
三重県三重郡菰野町大字潤田　から 三重県亀山市安坂山町　まで	120	15. 2	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
三重県三重郡菰野町大字潤田 から 三重県亀山市安坂山町 まで	4 車線	6 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	－	－	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	1．75	1．25	3．00	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
－	－	－	－

（4） 工事予算

195，866 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成 18 年 4 月 19 日
②工事の完成予定年月日　平成 31 年 3 月 31 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

206，543 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　196，216 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道尾鷲多気線

（三重県北牟婁郡紀北町紀伊長島区東長島から三重県度会郡大紀町崎まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　尾鷲多気線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　三重県北牟婁郡紀北町紀伊長島区東長島　から
三重県度会郡大紀町崎　まで

（ロ） 延　　長　　10．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
三重県北牟婁郡紀北町紀伊長島区東長島 から 三重県度会郡大紀町崎 まで	80	10．3	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　3．50メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
三重県北牟婁郡紀北町紀伊長島区東長島 から 三重県度会郡大紀町崎 まで	2 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	—	—	—	
トンネル部分	1．25×2	2．50	—	—	—	
橋梁高架部分（中小橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	1．25×2	2．50	—	—	—	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

—　メートル

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
近畿自動車道尾鷲多気線	三重県北牟婁郡紀北町紀伊長島区東長島	平面接続	本線（新直轄）
一般国道422号	三重県北牟婁郡紀北町紀伊長島区東長島	立体接続	紀伊長島インターチェンジ
県道紀勢インター線	三重県度会郡大紀町崎	立体接続	紀勢大内山インターチェンジ

（4） 工事予算

42，062 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11　年　1　月　8　日
②工事の完成予定年月日　　平成　25　年　3　月　24　日　（供用開始）
　　平成　30　年　9　月　30　日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

46，729 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　46，729 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道敦賀線

（福井県小浜市府中から福井県敦賀市高野まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　敦賀線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　福井県小浜市府中　　から
福井県敦賀市高野　　まで

（ロ） 延　　長　　39．0 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
福井県小浜市府中　から 福井県敦賀市高野　まで	80	39．0	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
福井県小浜市府中 から 福井県敦賀市高野 まで	2 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	—	—	—	
トンネル部分	1．25×2	2．50	—	—	—	
橋梁高架部分（中小橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	—	—	—	

※ 土工部については、左側路肩を二次除雪作業に必要な作業幅員2．50mを確保する。

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50メートル

（チ） 中央帯の標準幅員　　―　メートル

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
県道上中田烏線	福井県三方上中郡若狭町上黒田	立体接続	若狭上中インターチェンジ
一般国道27号	福井県三方上中郡若狭町気山	立体接続	若狭三方インターチェンジ
一般国道27号	福井県三方郡美浜町山上	立体接続	若狭美浜インターチェンジ
北陸自動車道	福井県敦賀市高野	立体接続	敦賀ジャンクション

（4） 工事予算

172，261 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11　年　1　月　8　日
②工事の完成予定年月日　　平成　26　年　7　月　20　日　（供用開始）
　　平成　31　年　3　月　30　日　（残事業完成）

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

178，006　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　178，006　百万円）（消費税込み）

中央自動車道富士吉田線（高井戸IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　富士吉田線

（2） 工事の箇所

東京都杉並区上高井戸

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
都道環状放射5号線	東京都杉並区上高井戸	立体接続	浅間橋ONランプ
都道環状放射5号線	東京都杉並区上高井戸	立体接続	高井戸OFFランプ
主要地方道環状8号線	東京都杉並区上高井戸	立体接続	中之橋ONランプ

（4） 工事予算

42，531 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　昭和　37 年　10 月　 1 日

②工事の完成予定年月日　　平成　30 年　 3 月　30 日　（工事一部完成）
平成　33 年　 3 月　31 日　（工事完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

49，812 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額 47，321 百万円）（消費税込み）

中央自動車道富士吉田線（元八王子IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　富士吉田線

（2） 工事の箇所

東京都八王子市元八王子町

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
都道山田宮ノ前線	東京都八王子市 元八王子町	立体接続	元八王子インターチェンジ （仮称）

（4） 工事予算

56 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日　　平成　36 年　 4 月　 1 日

②工事の完成予定年月日　　平成　38 年　 3 月　31 日

当該インターチェンジは、接続道路管理者が高速自動車国道法第11条の2第1項の連結許可を受けていないため、今後の検討に必要な当面の設計費用のみを計上することとする。着手予定年月日は、さしあたり平成36年4月1日とし、完成予定年月日は、現行整備計画区間が全て完成すると想定している時期とした。なお、連結許可が出された時点で必要な協定変更を行う。

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

79 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　79 百万円）（消費税込み）

中央自動車道富士吉田線（八王子JCT）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　富士吉田線

（2） 工事の箇所

東京都八王子市裏高尾町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道468号 （首都圏中央連絡自動車道）	東京都八王子市 裏高尾町	立体接続	八王子ジャンクション

別　紙　1

（4） 工事予算

9，217 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　2 年　4 月　3 日

②工事の完成予定年月日　　平成　24 年　3 月　25 日　（供用開始）
平成　30 年　3 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

8，385 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　8，385 百万円）（消費税込み）

中央自動車道西宮線（諏訪IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　西宮線

（2） 工事の箇所

長野県諏訪市中洲

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道20号	長野県諏訪市 中洲	立体接続	諏訪インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

1，028 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　昭和　41 年　10 月　25 日

②工事の完成予定年月日　　平成　38 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，218 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，157 百万円）（消費税込み）

中央自動車道西宮線（養老JCT）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　西宮線

（2） 工事の箇所

岐阜県養老郡養老町飯積

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道475号 （東海環状自動車道）	岐阜県養老郡養老町飯積	立体接続	養老ジャンクション

別　紙　1

（4） 工事予算

2，257 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　4 月　19 日

②工事の完成予定年月日　　平成　29 年　10 月　22 日　（供用開始）
平成　33 年　3 月　31 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

3，918 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　3，722 百万円）（消費税込み）

中央自動車道長野線（松本JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　長野線

（2） 工事の箇所

長野県松本市島立

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道158号 （中部縦貫自動車道）	長野県松本市島立	立体接続	松本ジャンクション（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

4，266 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　4 月　19 日

②工事の完成予定年月日　　平成　38 年　3 月　31 日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

5，645 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　5，362　百万円）（消費税込み）

第一東海自動車道

（神奈川県海老名市大谷から神奈川県海老名市今里まで）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第一東海自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県海老名市大谷　　から
神奈川県海老名市今里　　まで

（ロ） 延　　長　　2. 3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
神奈川県海老名市大谷 から 神奈川県海老名市今里 まで	120	2. 3	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．60 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県海老名市 大谷　から 神奈川県海老名市 今里　まで	6 車線	6 車線	付加車線事業

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	2．50×2	5．00	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	－	－	－	－	－	

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
－	－	－	

（4） 工事予算

12，189 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成 14 年 4 月 9 日
②工事の完成予定年月日　　平成 26 年 6 月 25 日　（供用開始）
平成 33 年 3 月 30 日　（残事業完成）

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

13，011 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　13，011 百万円）（消費税込み）

第一東海自動車道

（神奈川県海老名市門沢橋から神奈川県海老名市社家まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第一東海自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県海老名市門沢橋　　から
神奈川県海老名市社家　　まで

（ロ） 延　　長　　1．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
神奈川県海老名市門沢橋 から 神奈川県海老名市社家 まで	80	1．5	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
神奈川県海老名市 門沢橋　から 神奈川県海老名市 社家　まで	4 車線	4 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	－	－	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）

３．００　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道468号（首都圏中央連絡自動車道）	神奈川県海老名市門沢橋	平面接続	本線
第二東海自動車道横浜名古屋線	神奈川県海老名市門沢橋	立体接続	海老名南ジャンクション
第一東海自動車道	神奈川県海老名市社家	立体接続	海老名ジャンクション

（4） 工事予算

41，991 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11　年　1　月　8　日
②工事の完成予定年月日　　平成　27　年　3　月　8　日　（供用開始）
　　平成　31　年　3　月　30　日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

29，645 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　29，645 百万円）（消費税込み）

第一東海自動車道

（神奈川県海老名市社家から神奈川県海老名市中新田まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第一東海自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県海老名市社家　　から
神奈川県海老名市中新田　　まで

（ロ） 延　　長　　1．9 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　海老名市社家から海老名市中新田まで
第 1 種 第 3 級（道路構造令）

海老名市中新田から海老名市中新田まで
第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
神奈川県海老名市 社家　から 神奈川県海老名市 中新田　まで	80	1．2	
神奈川県海老名市 中新田　から 神奈川県海老名市 中新田　まで	100	0．7	

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県海老名市 社家　から 神奈川県海老名市 中新田　まで	4 車線	4 車線	

別　紙　1

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	－	－	－	－	－	上段（第1種第3級） 海老名市社家から 海老名市中新田まで 下段（第1種第2級） 海老名市中新田から 海老名市中新田まで
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	１．７５×２ ２．５０×２	３．５０ ５．００	－	－	－	

（ト） 付加車線の標準幅員　　－

（チ） 中央帯の標準幅員

海老名市社家から海老名市中新田まで
　　－　　メートル　（土工部）
　３．００　　メートル　（橋梁部）

海老名市中新田から海老名市中新田まで
　　－　　メートル　（土工部）
　４．５０　　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
第一東海自動車道	神奈川県海老名市 社家	立体接続	海老名ジャンクション
県道藤沢厚木線	神奈川県海老名市 中新田	立体接続	海老名インターチェンジ
一般国道468号 （首都圏中央連絡自動車道）	神奈川県海老名市 中新田	平面接続	本線

（4） 工事予算

78，511 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11　年　1　月　8　日
②工事の完成予定年月日　　平成　22　年　2　月　27　日　（供用開始）
　　平成　31　年　3　月　30　日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

41，323 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　41，323 百万円）（消費税込み）

第一東海自動車道（日進IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第一東海自動車道

（2） 工事の箇所

愛知県日進市岩崎町

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道日進瀬戸道路 （名古屋瀬戸道路）	愛知県日進市岩崎町	立体接続	日進インターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

1，851 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12 年　 1 月　18 日

②工事の完成予定年月日　　平成　38 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，258 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，145 百万円）（消費税込み）

一般国道１号（新湘南バイパス）

（神奈川県茅ヶ崎市柳島から神奈川県中郡大磯町東町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道1号

（有料道路名 ： 新湘南バイパス）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　神奈川県茅ヶ崎市柳島　から
神奈川県中郡大磯町東町　まで

（ロ） 延　長　5．6 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
神奈川県茅ヶ崎市 柳島　から 神奈川県中郡 大磯町東町　まで	80	5．6	

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県茅ヶ崎市 柳島　から 神奈川県中郡 大磯町東町　まで	4 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	－	－	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	１．２５×２	２．５	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
３．００　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道相模原茅ヶ崎線	神奈川県茅ヶ崎市 柳島	立体接続	茅ヶ崎海岸インターチェンジ
一般国道134号	神奈川県 平塚市高浜台	立体接続	平塚インターチェンジ （仮称）
一般国道134号	神奈川県中郡 大磯町東町	立体接続	大磯インターチェンジ （仮称）
一般国道1号 （西湘バイパス）	神奈川県中郡 大磯町東町	平面接続	本線

（4） 工事予算

5，050 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

イ 神奈川県茅ヶ崎市柳島から神奈川県茅ヶ崎市柳島まで

平成　33　年　4　月　1　日

別　紙　1

ロ　神奈川県茅ヶ崎市柳島から神奈川県中郡大磯町東町まで

平成　35　年　4　月　1　日

・　なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　36　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

6，548 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　6，221 百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）

（神奈川県海老名市中新田から神奈川県厚木市上依知まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県海老名市中新田　　から
神奈川県厚木市上依知　　まで

（ロ） 延　　長　　10．1 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
神奈川県海老名市 中新田　から 神奈川県厚木市 上依知　まで	100	10．1	

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県海老名市 中新田　から 神奈川県厚木市 上依知　まで	4 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	－	－	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
橋梁高架部分（長大橋）	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	

（チ） 付加車線の標準幅員　　—　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
第一東海自動車道	神奈川県海老名市中新田	平面接続	本線
県道藤沢厚木線	神奈川県海老名市中新田	立体接続	海老名インターチェンジ
一般国道246号（厚木秦野道路）	神奈川県厚木市中依知	立体接続	圏央厚木インターチェンジ
一般国道129号	神奈川県厚木市中依知	立体接続	圏央厚木インターチェンジ
一般国道129号	神奈川県相模原市南区当麻	立体接続	相模原愛川インターチェンジ
県道相模原町田線	神奈川県相模原市南区当麻	立体接続	相模原愛川インターチェンジ

（4） 工事予算

92，082 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

イ 神奈川県海老名市中新田から神奈川県海老名中新田まで　（STA110+52～STA113+40）
平成 16 年 6 月 29 日

ロ 神奈川県海老名市中新田から神奈川県海老名市河原口まで（STA113+40～STA114+60）
平成 21 年 5 月 11 日

ハ 神奈川県海老名市河原口から神奈川県厚木市金田まで　（STA114+60～STA128+40）
平成 16 年 6 月 29 日

ニ 神奈川県厚木市金田から神奈川県厚木市金田まで　（STA128+40～STA129+20）
平成 23 年 2 月 1 日

ホ 神奈川県厚木市金田から神奈川県厚木市金田まで　（STA129+20～STA130+00）
平成 23 年 6 月 1 日

ヘ 神奈川県厚木市金田から神奈川県厚木市金田まで　（STA130+00～STA131+20）
平成 23 年 1 月 1 日

ト 神奈川県厚木市金田から神奈川県厚木市金田まで　（STA131+20～STA132+91）
平成 23 年 1 月 1 日

チ 神奈川県厚木市金田から神奈川県厚木市金田まで　（STA132+91～STA138+00）
平成 18 年 6 月 30 日

別　紙　1

リ　神奈川県厚木市金田から神奈川県厚木市金田まで　（STA138+00～STA139+00）
平成　23　年　1　月　1　日

ヌ　神奈川県厚木市金田から神奈川県厚木市下依知まで　（STA139+00～STA146+05）
平成　18　年　6　月　30　日

ル　神奈川県厚木市下依知から神奈川県厚木市下依知まで　（STA146+05～STA151+50）
平成　20　年　7　月　1　日

ヲ　神奈川県厚木市下依知から神奈川県厚木市下依知まで　（STA151+50～STA152+50）
平成　21　年　12　月　1　日

ワ　神奈川県厚木市下依知から神奈川県厚木市中依知まで　（STA152+50～STA160+93.5）
平成　20　年　7　月　1　日

カ　神奈川県厚木市中依知から神奈川県厚木市関口まで　（STA160+93.5～STA164+85）
平成　20　年　7　月　1　日

ヨ　神奈川県厚木市下依知　（圏央厚木IC取り付け部）
平成　24　年　7　月　1　日

タ　神奈川県厚木市関口から神奈川県厚木市山際まで　（STA164+85～STA176+50）
平成　19　年　2　月　1　日

レ　神奈川県厚木市山際から神奈川県厚木市上依知まで　（STA176+50～STA201+45）
平成　24　年　6　月　1　日

別　紙　1

ソ　神奈川県厚木市上依知から神奈川県厚木市上依知まで　（STA201+45～STA206+31）
　平成　23　年　12　月　1　日

ツ　神奈川県厚木市上依知から神奈川県厚木市上依知まで　（STA204+10～STA204+70）
　平成　25　年　2　月　1　日

ネ　神奈川県厚木市上依知から神奈川県厚木市上依知まで　（STA204+70～STA206+31）
　平成　24　年　6　月　1　日

ナ　神奈川県厚木市上依知から神奈川県厚木市上依知まで　（STA206+31～STA211+44）
　平成　24　年　6　月　1　日

ラ　神奈川県厚木市上依知　（相模原ICランプ部）
　平成　24　年　12　月　1　日

ム　神奈川県厚木市上依知　（相模原IC　Hランプ部）
　平成　25　年　1　月　7　日

ウ　神奈川県厚木市上依知　（相模原IC　E,Fランプ部）
　平成　25　年　2　月　1　日

ヰ　神奈川県相模原市南区当麻　（相模原IC料金所部）
　平成　24　年　5　月　1　日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日

平成　25　年　3　月　30　日　（供用開始）
平成　30　年　3　月　30　日　（残事業一部完成）
平成　33　年　3　月　30　日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

91，813 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　91，813 百万円）（消費税込み）

一般国道468号（首都圏中央連絡自動車道）

（神奈川県厚木市上依知から東京都八王子市南浅川町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県厚木市上依知　　から
東京都八王子市南浅川町　　まで

（ロ） 延　　長　　14. 8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
神奈川県厚木市上依知　から 東京都八王子市南浅川町　まで	100	14．8	

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県厚木市上依知　から 東京都八王子市南浅川町　まで	4 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	1．00×2	2．00	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分（中小橋）	―	―	2．50	1．25	3．75	
橋梁高架部分（長大橋）	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	

（チ） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道129号	神奈川県相模原市南区当麻	立体接続	相模原愛川インターチェンジ
県道相模原町田線	神奈川県相模原市南区当麻	立体接続	相模原愛川インターチェンジ
津久井広域道路 県道長竹川尻線	神奈川県相模原市緑区城山町小倉	立体接続	相模原インターチェンジ
一般国道20号	東京都八王子市南浅川町	立体接続	高尾山インターチェンジ

（4） 工事予算

39，216 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

イ　神奈川県厚木市上依知から神奈川県愛甲郡愛川町まで　（上り線：STA.211+44～STA.0+06）
平成　25　年　11　月　1　日

ロ　神奈川県愛甲郡愛川町から神奈川県愛甲郡愛川町まで　（上り線：STA.0+06～STA.1+00）
平成　25　年　10　月　1　日

別　紙　1

ハ　神奈川県愛甲郡愛川町から神奈川県愛甲郡愛川町まで　（上り線：STA.1+00～STA.2+25）
平成　25　年　12　月　1　日

ニ　神奈川県愛甲郡愛川町から神奈川県愛甲郡愛川町まで　（上り線：STA.2+25～STA.18+24）
平成　25　年　9　月　1　日

ホ　神奈川県愛甲郡愛川町から神奈川県愛甲郡愛川町まで　（上り線：STA.18+24～STA.23+02）
平成　25　年　8　月　1　日

ヘ　神奈川県愛甲郡愛川町から神奈川県愛甲郡愛川町まで　（上り線：STA.23+02～STA.23+33）
平成　25　年　9　月　1　日

ト　神奈川県愛甲郡愛川町から神奈川県愛甲郡愛川町まで　（上り線：STA.23+33～STA.29+02）
平成　25　年　8　月　1　日

チ　神奈川県愛甲郡愛川町から神奈川県愛甲郡愛川町まで　（上り線：STA.29+02～STA.31+44）
平成　26　年　2　月　1　日

リ　神奈川県愛甲郡愛川町から神奈川県愛甲郡愛川町まで　（上り線：STA.31+44～STA.33+03）
平成　26　年　1　月　1　日

ヌ　神奈川県愛甲郡愛川町から神奈川県相模原市緑区小倉まで　（上り線：STA.33+03～STA.34+42）
平成　26　年　2　月　1　日

ル　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区葉山島まで　（上り線：STA.34+42～STA.44+17）
平成　26　年　1　月　1　日

別　紙　1

ヲ　神奈川県相模原市緑区葉山島から神奈川県相模原市緑区葉山島まで　（上り線：STA.44+17～STA.45+92）
平成　26　年　3　月　1　日

ワ　神奈川県相模原市緑区葉山島から神奈川県相模原市緑区葉山島まで　（上り線：STA.45+92～STA.46+82）
平成　26　年　3　月　20　日

カ　神奈川県相模原市緑区葉山島から神奈川県相模原市緑区葉山島まで　（上り線：STA.46+82～STA.49+70）
平成　26　年　1　月　1　日

ヨ　神奈川県相模原市緑区葉山島から神奈川県相模原市緑区葉山島まで　（上り線：STA.49+70～STA.50+86）
平成　26　年　3　月　1　日

タ　神奈川県相模原市緑区葉山島から神奈川県相模原市緑区葉山島まで　（上り線：STA.50+86～STA.56+37）
平成　26　年　1　月　1　日

レ　神奈川県相模原市緑区葉山島から神奈川県相模原市緑区小倉まで　（上り線：STA.56+37～STA.63+06）
平成　25　年　12　月　1　日

ソ　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで　（上り線：STA.63+06～STA.65+00）
平成　25　年　10　月　1　日

ツ　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで　（上り線：STA.65+00～STA.67+66）
平成　25　年　9　月　1　日

ネ　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで　（上り線：STA.67+66～STA.67+97）
平成　25　年　10　月　1　日

別　紙　1

ナ　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで　（上り線：STA.67+97～STA.72+81）
平成　25　年　9　月　1　日

ラ　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで　（上り線：STA.72+81～STA.77+38）
平成　25　年　5　月　7　日

ム　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで　（上り線：STA.77+38～STA.80+20）
平成　26　年　1　月　1　日

ウ　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで　（上り線：STA.80+20～STA.80+68）
平成　26　年　4　月　10　日

ヰ　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで　（上り線：STA.80+68～STA.84+00）
平成　25　年　12　月　1　日

ノ　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区城山まで　（上り線：STA.84+00～STA.93+60）
平成　26　年　1　月　1　日

オ　神奈川県相模原市緑区城山から神奈川県相模原市緑区城山まで　（上り線：STA.93+60～STA.93+71）
平成　26　年　2　月　1　日

ク　神奈川県相模原市緑区城山から神奈川県相模原市緑区城山まで　（上り線：STA.93+71～STA.97+88）
平成　25　年　4　月　1　日

ヤ　神奈川県相模原市緑区城山から神奈川県相模原市緑区城山まで　（上り線：STA.97+88～STA.100+00）
平成　25　年　11　月　1　日

別　紙　1

マ　神奈川県相模原市緑区城山から神奈川県相模原市緑区中沢まで　（上り線：STA.100+00～STA.107+99）
平成　25　年　10　月　1　日

ケ　神奈川県相模原市緑区中沢から東京都八王子市南浅川町まで　（上り線：STA.107+99～STA.143+76）
平成　25　年　7　月　1　日

フ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで　（上り線：STA.143+76～STA.143+86）
平成　25　年　8　月　1　日

コ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで　（上り線：STA.143+86～STA.145+00）
平成　23　年　8　月　1　日

エ　神奈川県厚木市上依知から神奈川県愛甲郡愛川町まで　（下り線：STA.211+44～STA.0+06）
平成　25　年　11　月　1　日

テ　神奈川県愛甲郡愛川町から神奈川県愛甲郡愛川町まで　（下り線：STA.0+06～STA.1+00）
平成　25　年　10　月　1　日

ア　神奈川県愛甲郡愛川町から神奈川県愛甲郡愛川町まで　（下り線：STA.1+00～STA.1+60）
平成　25　年　12　月　1　日

サ　神奈川県愛甲郡愛川町から神奈川県愛甲郡愛川町まで　（下り線：STA.1+60～STA.18+23）
平成　25　年　5　月　7　日

キ　神奈川県愛甲郡愛川町から神奈川県愛甲郡愛川町まで　（下り線：STA.18+23～STA.28+79）
平成　25　年　7　月　1　日

別　紙　1

ユ　神奈川県愛甲郡愛川町から神奈川県愛甲郡愛川町まで　（下り線：STA.28+79～STA.31+60）
平成　26　年　2　月　1　日

メ　神奈川県愛甲郡愛川町から神奈川県愛甲郡愛川町まで　（下り線：STA.31+60～STA.33+20）
平成　26　年　1　月　1　日

ミ　神奈川県愛甲郡愛川町から神奈川県相模原市小倉まで　（下り線：STA.33+20～STA.34+60）
平成　26　年　2　月　1　日

シ　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区葉山島まで　（下り線：STA.34+60～STA.44+48）
平成　26　年　1　月　1　日

ヱ　神奈川県相模原市緑区葉山島から神奈川県相模原市緑区葉山島まで　（下り線：STA.44+48～STA.47+00）
平成　26　年　3　月　25　日

ヒ　神奈川県相模原市緑区葉山島から神奈川県相模原市緑区葉山島まで　（下り線：STA.47+00～STA.49+90）
平成　26　年　1　月　1　日

モ　神奈川県相模原市緑区葉山島から神奈川県相模原市緑区葉山島まで　（下り線：STA.49+90～STA.51+00）
平成　26　年　3　月　1　日

セ　神奈川県相模原市緑区葉山島から神奈川県相模原市緑区葉山島まで　（下り線：STA.51+00～STA.56+54）
平成　26　年　1　月　1　日

ス　神奈川県相模原市緑区葉山島から神奈川県相模原市緑区小倉まで　（下り線：STA.56+54～STA.63+21）
平成　25　年　12　月　1　日

別　紙　1

ン　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで　（下り線：STA.63+21～STA.68+10）
平成　25　年　10　月　1　日

イー1　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで　（下り線：STA.68+10～STA.72+62）
平成　25　年　5　月　7　日

ロー1　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで　（下り線：STA.72+62～STA.72+93）
平成　25　年　8　月　1　日

ハー1　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで　（下り線：STA.72+93～STA.77+52）
平成　25　年　4　月　1　日

ニー1　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで　（下り線：STA.77+52～STA.80+20）
平成　26　年　1　月　1　日

ホー1　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで　（下り線：STA.80+20～STA.80+80）
平成　26　年　4　月　10　日

ヘー1　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで　（下り線：STA.80+80～STA.84+00）
平成　25　年　12　月　1　日

トー1　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区城山まで　（下り線：STA.84+00～STA.93+60）
平成　26　年　1　月　1　日

チー1　神奈川県相模原市緑区城山から神奈川県相模原市緑区城山まで　（下り線：STA.93+60～STA.93+71）
平成　26　年　2　月　1　日

別　紙　1

リー1　神奈川県相模原市緑区城山から神奈川県相模原市緑区城山まで　（下り線：STA.93+71～STA.97+88）
平成　25　年　4　月　1　日

ヌー1　神奈川県相模原市緑区城山から神奈川県相模原市緑区城山まで　（下り線：STA.97+88～STA.100+00）
平成　25　年　8　月　1　日

ルー1　神奈川県相模原市緑区城山から神奈川県相模原市緑区中沢まで　（下り線：STA.100+00～STA.104+80）
平成　25　年　6　月　1　日

ヲー1　神奈川県相模原市緑区中沢から神奈川県相模原市緑区中沢まで　（下り線：STA.104+80～STA.105+56）
平成　25　年　8　月　1　日

ワー1　神奈川県相模原市緑区中沢から神奈川県相模原市緑区中沢まで　（下り線：STA.105+56～STA.107+61）
平成　25　年　11　月　1　日

カー1　神奈川県相模原市緑区中沢から東京都八王子市南浅川町まで　（下り線：STA.107+61～STA.143+33）
平成　25　年　4　月　1　日

ヨー1　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで　（下り線：STA.143+33～STA.143+72）
平成　25　年　8　月　1　日

ター1　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで　（下り線：STA.143+72～STA.145+00）
平成　23　年　8　月　1　日

レー1　神奈川県愛甲郡愛川町　（愛川TN電気室ヤード）
平成　25　年　5　月　7　日

別　紙　1

ソー1　神奈川県相模原市緑区葉山島 平成　25　年　5　月　7　日	（葉山島TN電気室ヤード）
ツー1　神奈川県相模原市緑区小倉 平成　26　年　4　月　1　日	（相模原IC部　A・B・Cランプ橋）
ネー1　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで 平成　26　年　5　月　1　日	（相模原IC部　料金所ヤード、Bランプ土工部）
ナー1　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで 平成　26　年　6　月　1　日	（相模原IC部　TG・電気室・内プラヤード）
ラー1　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで 平成　26　年　7　月　1　日	（相模原IC部　Bランプ土工部、Dランプ）
ムー1　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで 平成　26　年　7　月　1　日	（相模原IC部　A・B・Cランプ土工部、TG張出部、管理用通路）
ウー1　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで 平成　26　年　9　月　1　日	（相模原IC部　料金所裏のり面、内プラ平地、串川土工部のり面）
ヰー1　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで 平成　26　年　11　月　1　日	（相模原IC部　A・B・Dランプ）
ノー1　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで 平成　27　年　1　月　1　日	（相模原IC部　E・F・G・Hランプ）

別　紙　1

オー1　神奈川県相模原市緑区小倉から神奈川県相模原市緑区小倉まで　　（川尻TN電気室ヤード）
平成　25　年　4　月　1　日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日

平成　26　年　6　月　28　日　（相模原愛川IC～高尾山IC）（供用開始）
平成　27　年　3　月　29　日　（相模原IC部）　（供用開始）
平成　31　年　3　月　30　日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

41，366 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　41，366 百万円）（消費税込み）

一般国道468号（首都圏中央連絡自動車道）

（東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市裏高尾町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　東京都八王子市南浅川町　　から
東京都八王子市裏高尾町　　まで

（ロ） 延　　長　　2．0 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
東京都八王子市南浅川町 から 東京都八王子市裏高尾町 まで	80	2．0	

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
東京都八王子市南浅川町 から 東京都八王子市裏高尾町 まで	4 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	－	－	1．75	1．00	2．75	
トンネル部分	－	－	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分（中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	－	－	1．75	1．00	2．75	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道20号	東京都八王子市南浅川町	立体接続	高尾山インターチェンジ
中央自動車道富士吉田線	東京都八王子市裏高尾町	立体接続	八王子ジャンクション

（4） 工事予算

23，779 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

イ 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（Eランプ）（STA−1−20～STA0−37）
平成 24年　1月　1日

ロ 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（Eランプ）（STA0−37～STA0+00）
平成 23年 12月　1日

ハ 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（料金所）
平成 23年　4月　1日

別　紙　1

ニ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（料金所周り平場部）
　平成 24年　2月　1日

ホ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（トールゲート）
　平成 23年　8月　1日

ヘ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（Aランプ）（STA0+00～STA0+40）
　平成 23年　12月　1日

ト　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（Aランプ）（STA0+40～STA1+63）
　平成 24年　1月　1日

チ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（Aランプ）（STA1+63～STA4+11）
　平成 23年　12月　1日

リ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（Aランプ）（STA4+11～STA5+29）
　平成 23年　9月　1日

ヌ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（Cランプ）（STA3+97+～STA4+12）
　平成 23年 12月　1日

ル　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（Cランプ）（STA4+12～STA6+80）
　平成 23年　9月　1日

ヲ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（Cランプ）（STA6+80～STA7+78）
　平成 24年　2月　1日

別　紙　1

ワ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（Bランプ）（STA0+00～STA0+40）
　平成 23年　12月　1日

カ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（Bランプ）（STA0+40～STA1+63）
　平成 24年　1月　1日

ヨ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（Bランプ）（STA1+63～STA3+44）
　平成 23年 12月　1日

タ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（Bランプ）（STA3+44～STA4+75）
　平成 23年　9月　1日

レ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（Dランプ）（STA3+29～STA3+49）
　平成 23年 12月　1日

ソ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（Dランプ）（STA3+49～STA6+07）
　平成 23年　9月　1日

ツ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（Dランプ）（STA6+07～STA7+63）
　平成 24年　1月　1日

ネ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（電気室）
　平成 23年　4月　1日

ナ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（電気室ヤードの盛土のり面（中央））
　平成 23年 12月　1日

別　紙　1

ラ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（電気室ヤードの盛土のり面（南側））
　平成 24年　1月　1日

ム　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（電気室ヤードの盛土のり面（北側））
　平成 24年　2月　1日

ウ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（上り線）（STA146+09～STA147+52）
　平成 24年　2月　1日

ヰ　東京都八王子市高尾町から東京都八王子市高尾町まで（上り線）（STA148+00～STA148+58）
　平成 23年 11月　1日

ノ　東京都八王子市高尾町から東京都八王子市高尾町まで（上り線）（STA148+58～STA153+68）
　平成 23年　9月　1日

オ　東京都八王子市高尾町から東京都八王子市高尾町まで（上り線）（STA153+68～STA158+00）
　平成 23年 11月　1日

ク　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（下り線）（STA145+82～STA146+20）
　平成 24年　2月　1日

ヤ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（下り線）（STA146+20～STA147+38）
　平成 23年 12月 12日

マ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市高尾町まで（下り線）（STA147+38～STA147+60）
　平成 24年　2月　1日

別　紙　1

ケ　東京都八王子市高尾町から東京都八王子市高尾町まで（下り線）（STA148+72～STA153+68）
　平成 23年 10月　1日

フ　東京都八王子市高尾町から東京都八王子市高尾町まで（下り線）（STA153+68～STA158+00）
　平成 23年 12月　1日

コ　東京都八王子市高尾町から東京都八王子市高尾町まで（下り線）（STA160+79～STA160+89）
　平成 24年　1月　1日

エ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市高尾町まで（切土のり面）
　平成 23年 11月　1日

テ　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市南浅川町まで（STA145+00～STA146+09）
　平成 23年　8月　1日

ア　東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市高尾町まで（STA147+52～STA148+72）
　平成 23年 12月 12日

サ　東京都八王子市高尾町から東京都八王子市裏高尾町まで（STA158+00～STA161+00）
　平成 23年 12月 12日

キ　東京都八王子市裏高尾町から東京都八王子市裏高尾町まで（高尾山トンネル北坑口換気ダクト部）
　平成 24年　2月　1日

ユ　東京都八王子市裏高尾町から東京都八王子市裏高尾町まで（STA160+89～STA0+06）
　平成 18年　8月　1日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日

平成　24　年　3　月　25　日　（供用開始）
平成　30　年　3　月　30　日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

26，451 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　26，451 百万円）（消費税込み）

一般国道468号（首都圏中央連絡自動車道）

（神奈川県茅ヶ崎市西久保から神奈川県海老名市門沢橋まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　神奈川県茅ヶ崎市西久保　　から

神奈川県海老名市門沢橋　　まで

（ロ） 延　　長　　7．9 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
神奈川県茅ヶ崎市 西久保　から 神奈川県海老名市 門沢橋　まで	80	7．9	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県茅ヶ崎市 西久保　から 神奈川県海老名市 門沢橋　まで	4 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	－	－	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	１．７５×２	３．５０	１．７５	１．００	２．７５	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
３．００　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道1号 （新湘南ﾊﾞｲﾊﾟｽ）	神奈川県茅ケ崎市 西久保	立体接続	茅ヶ崎ジャンクション
県道 伊勢原藤沢線	神奈川県高座郡 寒川町田端	立体接続	寒川南インターチェンジ
県道 相模原茅ヶ崎線	神奈川県高座郡 寒川町宮山	立体接続	寒川北インターチェンジ
第二東海自動車道 横浜名古屋線	神奈川県海老名市 門沢橋	立体接続	海老名南ジャンクション
第一東海自動車道	神奈川県海老名市 門沢橋	平面接続	本線

（4） 工事予算

22，071 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

イ　神奈川県茅ヶ崎市西久保から神奈川県高座郡寒川町田端まで　（STA.−1+86～STA.9+27）
平成　24　年　7　月　1　日

ロ　神奈川県高座郡寒川町田端から神奈川県高座郡寒川町田端まで　（STA.9+27～STA.11+57）
平成　25　年　3　月　1　日

ハ　神奈川県高座郡寒川町田端　（寒川南IC 料金所部）
平成　24　年　5　月　1　日

ニ　神奈川県高座郡寒川町田端　（寒川南IC ランプ部）
平成　24　年　12　月　1　日

ホ　神奈川県高座郡寒川町田端　（寒川南IC Cランプ部）
平成　25　年　1　月　15　日

ヘ　神奈川県高座郡寒川町田端　（寒川南IC D，Eランプ部）
平成　25　年　2　月　17　日

ト　神奈川県高座郡寒川町田端から神奈川県高座郡寒川町一ノ宮まで　（STA.11+57～STA.27+10）
平成　24　年　5　月　1　日

チ　神奈川県高座郡寒川町一ノ宮から神奈川県高座郡寒川町一ノ宮まで　（STA.27+10～STA.35+42）
平成　24　年　12　月　1　日

別　紙　1

リ　神奈川県高座郡寒川町一ノ宮から神奈川県高座郡寒川町宮山まで　（STA.35+42～STA.50+93.5）
平成　24　年　6　月　1　日

ヌ　神奈川県高座郡寒川町宮山　（寒川北IC 料金所部）
平成　24　年　6　月　1　日

ル　神奈川県高座郡寒川町宮山　（寒川北IC ランプ部）
平成　24　年　12　月　1　日

ヲ　神奈川県高座郡寒川町宮山　（寒川北IC AC，Bランプ部）
平成　25　年　1　月　1　日

ワ　神奈川県高座郡寒川町宮山　（寒川北IC AC，B，Dランプ部）
平成　25　年　2　月　1　日

カ　神奈川県高座郡寒川町宮山　（寒川北IC Eランプ部）
平成　25　年　2　月　1　日

ヨ　神奈川県高座郡寒川町宮山から神奈川県高座郡寒川町倉見まで　（STA.50+93.5～STA.53+78）
平成　24　年　7　月　1　日

タ　神奈川県高座郡寒川町倉見から神奈川県高座郡寒川町倉見まで　（STA.53+78～STA.57+15.5）
平成　26　年　11　月　1　日

レ　神奈川県高座郡寒川町倉見から神奈川県高座郡寒川町倉見まで　（STA.57+15.5～STA.59+30.5）
平成　26　年　12　月　1　日

別　紙　１

ソ　神奈川県高座郡寒川町倉見から神奈川県高座郡寒川町倉見まで　（STA.59+30.5～STA.60+77.5）
平成　26　年　7　月　1　日

ツ　神奈川県高座郡寒川町倉見から神奈川県高座郡寒川町倉見まで　（STA.60+77.5～STA.62+24.5）
平成　26　年　1　月　1　日

ネ　神奈川県高座郡寒川町倉見から神奈川県高座郡寒川町倉見まで　（STA.62+24.5～STA.66+93）
平成23　年１　月１　日

ナ　神奈川県高座郡寒川町倉見から神奈川県海老名市門沢橋まで　（STA.66+93～STA.72+09）
平成22　年８　月１　日

ラ　神奈川県海老名市門沢橋から神奈川県海老名市門沢橋まで　（STA.72+09～STA.73+39）
平成23　年３　月１　日

ム　神奈川県海老名市門沢橋から神奈川県海老名市門沢橋まで　（STA.73+39～STA.76+23）
平成22　年８　月１　日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

別　紙　1

②工事の完成予定年月日

平成　25　年　4　月　14　日　（茅ヶ崎JCT～寒川北IC）　（供用開始）
平成　27　年　3　月　8　日　（寒川北IC～海老名南JCT）　（供用開始）
平成　31　年　3　月　30　日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

23，836　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　23，836　百万円）（消費税込み）

一般国道４７５号（東海環状自動車道）（豊田東JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1．工事の内容

（1） 路線名

一般国道475号

（有料道路名 ： 東海環状自動車道）

（2） 工事の箇所

愛知県豊田市岩倉町

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
第二東海自動車道横浜名古屋線	愛知県豊田市岩倉町	立体接続	豊田東ジャンクション

別　紙　1

（4） 工事予算

361 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　26　年　10　月　1　日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　28　年　2　月　13　日（供用開始）
平成　30　年　3　月　30　日（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

420 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　420 百万円）（消費税込み）

一般国道４７５号（東海環状自動車道）

（岐阜県可児市久々利柿下入会から岐阜県可児郡御嵩町比衣まで）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道475号

（有料道路名 ： 東海環状自動車道）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　岐阜県可児市久々利柿下入会　　から
岐阜県可児郡御嵩町比衣　　まで

（ロ） 延　　長　　5．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
岐阜県可児市久々利柿下入会 から 岐阜県可児郡御嵩町比衣 まで	100	5．3	

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
岐阜県可児市久々利柿下入会 から 岐阜県可児郡御嵩町比衣 まで	2 車線	4 車線	付加車線事業

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	—	—	1．75	1．25	3．00	
橋梁高架部分（中小橋）	—	—	2．50	1．25	3．75	
橋梁高架部分（長大橋）	—	—	2．50	1．25	3．75	

（チ） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
―	―	―	

（4） 工事予算

―　　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日　　―

②工事の完成予定年月日　　―

（6） 工事の廃止予定年月日　　平成　30　年　3　月　30　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

―　　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　　百万円）（消費税込み）

中日本高速道路株式会社が管理する高速道路に係る

高速道路利便増進事業に関する計画（スマートIC)に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容及び工事に要する費用に係る債務引受限度額

（1） 工事予算

60，823 百万円（消費税込み）

（2） 工事に要する費用に係る債務引受限度額

68，005 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　百万円（消費税込み））

（3） 個別箇所に関する工事の内容及び工事に要する費用に係る債務引受限度額

個別箇所に関する工事の内容及び工事に要する費用に係る債務引受限度額は、下記のとおりとする。
ただし、工事予算及び債務引受限度額については、（1）工事予算及び（2）債務引受限度額の内数である。
また、工事完成後は精算額としている。

別　紙　1

（イ） 路線名	（ロ） 工事の箇所	（ハ）工事方法 他の道路との連結位置及び接続の方法			（ニ） 工事の着手および完成の予定年月日		（ホ） 工事予算 （消費税込み）	（ヘ） 債務引受限度額 （消費税込み）	うち 助成対象 基準額 （消費税込み）	備考
		他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	工事の着手 年月日	工事の完成 予定年月日				
中央自動車道 富士吉田線	東京都府中市是政	都道川崎府中線及び市道中央道側道	東京都府中市小柳町及び東京都府中市是政	立体接続	平成21年9月29日	平成27年3月7日 （供用開始） 平成30年3月30日 （残事業完成）	2,038百万円	2,252百万円	－	本線 直結型
中央自動車道 西宮線	滋賀県愛知郡愛荘町松尾寺	県道湖東三山インター線	滋賀県愛知郡愛荘町松尾寺	立体接続	平成21年9月29日	平成25年10月21日 （供用開始） 平成26年3月31日 （残事業完成）	1,184百万円	1,335百万円	－	湖東三山 PA
中央自動車道 長野線	長野県松本市島内	市道8087号線及び市道豊科3531号線	長野県松本市島内及び長野県安曇野市豊科高家	立体接続	平成21年9月29日	平成22年11月27日 （供用開始） 平成23年1月31日 （残事業完成）	494百万円	547百万円	－	梓川 SA
第一東海自動車道	愛知県名古屋市守山区下志段味	市道守山パーキングエリア線	愛知県名古屋市守山区下志段味	立体接続	平成21年9月29日	平成30年3月24日 （供用開始） 平成33年3月30日 （残事業完成）	3,265百万円	3,651百万円	－	守山 PA
中央自動車道 富士吉田線	山梨県富士吉田市上暮地	県道富士吉田西桂線	山梨県富士吉田市上暮地	立体接続	平成23年4月28日	平成30年4月15日 （供用開始：東京方面） 平成30年5月31日 （供用開始：河口湖方面）	4,447百万円	4,722百万円	－	本線 直結型
第一東海自動車道	静岡県焼津市上新田	市道0105号線	静岡県焼津市上新田	立体接続	平成23年4月28日	平成28年3月12日 （供用開始） 平成30年3月30日 （残事業完成）	2,845百万円	3,228百万円	－	本線 直結型
東海北陸自動車道	富山県南砺市上川崎	市道南砺スマートインター線	富山県南砺市柴田屋	立体接続	平成23年4月28日	平成27年3月1日 （供用開始） 平成28年3月30日 （残事業完成）	1,323百万円	1,457百万円	－	本線 直結型

別　紙　1

（イ） 路線名	（ロ） 工事の箇所	（ハ）工事方法 他の道路との連結位置及び接続の方法			（ニ） 工事の着手および完成の予定年月日		（ホ） 工事予算 （消費税込み）	（へ） 債務引受限度額 （消費税込み）	うち 助成対象 基準額 （消費税込み）	備考
		他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	工事の着手 年月日	工事の完成 予定年月日				
第二東海自動車道 横浜名古屋線	静岡県静岡 市葵区飯間	市道小瀬戸 飯間線及び 市道飯間本 線	静岡県静岡市 葵区小瀬戸及 び静岡県静岡 市葵区飯間	立体接続	平成23年4月28日	平成24年4月14日 （供用開始） 平成25年3月30日 （残事業完成）	200百万円	208百万円	－	静岡 SA
第二東海自動車道 横浜名古屋線	静岡県浜松 市浜北区四 大地	市道浜北灰 木大平１号線 及び市道須 部灰の木線	静岡県浜松市 浜北区四大地 及び静岡県浜 松市北区都田 町	立体接続	平成23年4月28日	平成24年4月14日 （供用開始） 平成25年3月30日 （残事業完成）	223百万円	230百万円	－	浜松 SA
北陸自動車道	富山県砺波 市下中条	市道高岡砺 波インター線	富山県砺波 市下中条	立体接続	平成23年4月28日	平成27年3月1日 （供用開始） 平成28年3月30日 （残事業完成）	1,964百万円	2,125百万円	－	本線 直結型
一般国道４７５号 （東海環状自動車道）	岐阜県土岐 市泉町	市道81920号 線、82525号線 及び82526号 線	岐阜県土岐 市泉町	立体接続	平成23年4月28日	平成25年2月28日 （供用開始） 平成25年8月30日 （残事業完成）	475百万円	532百万円	－	五斗蒔 PA
中央自動車道 西宮線	山梨県笛吹 市八代町南	県道３１３号藤 垈石和線及び 市道４０１５号 線	山梨県笛吹 市八代町南	立体接続	平成24年5月17日	平成29年3月26日 （供用開始） 平成31年3月30日 （残事業完成）	2,195百万円	2,424百万円	－	本線 直結型
第一東海自動車道	静岡県沼津 市宮本	市道０１１８号 線及び市道０ １０５号線	静岡県沼津 市宮本	立体接続	平成24年5月17日	平成28年3月19日 （供用開始） 平成29年3月30日 （残事業完成）	633百万円	735百万円	－	愛鷹 PA
第二東海自動車道 横浜名古屋線	静岡県周智 郡森町大字 円田	町道遠州森町 PA上り線及び 町道遠州森町 PA下り線	静岡県周智郡 森町大字一宮 及び静岡県周 智郡森町大字 円田	立体接続	平成24年5月17日	平成26年3月29日 （供用開始） 平成27年3月30日 （残事業完成）	567百万円	632百万円	－	遠州森町 PA

別　紙　1

（イ） 路線名	（ロ） 工事の箇所	（ハ）工事方法 他の道路との連結位置及び接続の方法			（ニ） 工事の着手および完成の予定年月日		（ホ） 工事予算 （消費税込み）	（ヘ） 債務引受限度額 （消費税込み）	うち 助成対象 基準額 （消費税込み）	備考
		他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	工事の着手年月日	工事の完成予定年月日				
北陸自動車道	滋賀県長浜市小谷丁野町	県道郷野湖北線及び県道丁野虎姫長浜線	滋賀県長浜市湖北町及び滋賀県長浜市小谷丁野町	立体接続	平成24年5月17日	平成29年3月25日（供用開始） 平成30年3月30日（残事業完成）	2,399百万円	2,678百万円	―	本線直結型
近畿自動車道名古屋神戸線	三重県鈴鹿市山本町	市道山本65号線	三重県鈴鹿市山本町	立体接続	平成24年5月17日	平成31年3月31日	1,564百万円	1,741百万円	―	鈴鹿PA（仮称）
近畿自動車道敦賀線	福井県敦賀市長谷	市道長谷2号線	福井県敦賀市長谷	立体接続	平成24年5月17日	平成29年3月25日（供用開始） 平成30年3月30日（残事業完成）	2,317百万円	2,468百万円	―	本線直結型
中央自動車道富士吉田線	山梨県上野原市大野	市道談合坂サービスエリア線	山梨県上野原市大野	立体接続	平成25年7月5日	平成31年9月30日	1,599百万円	1,760百万円	―	談合坂SA
中央自動車道西宮線	岐阜県安八郡安八町中	町道南長田坊野1号線	岐阜県安八郡安八町中	立体接続	平成25年7月5日	平成30年3月24日（供用開始） 平成31年3月30日（残事業完成）	3,491百万円	4,304百万円	―	本線直結型
中央自動車道西宮線	岐阜県養老郡養老町橋爪南川原	町道橋爪1号線及び町道橋爪42号線	岐阜県養老郡養老町橋爪南川原	立体接続	平成25年7月5日	平成30年6月30日	763百万円	858百万円	―	養老SA
第一東海自動車道	神奈川県綾瀬市小園	県道藤沢座間厚木	神奈川県綾瀬市小園	立体接続	平成25年7月5日	平成32年9月30日	7,568百万円	8,155百万円	―	本線直結型

別　紙　1

（イ） 路線名	（ロ） 工事の箇所	（ハ）工事方法 他の道路との連結位置及び接続の方法			（ニ） 工事の着手および完成の予定年月日		（ホ） 工事予算 （消費税込み）	（へ） 債務引受限度額 （消費税込み）	うち 助成対象 基準額 （消費税込み）	備考
		他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	工事の着手 年月日	工事の完成 予定年月日				
第一東海自動車道	静岡県静岡市駿河区宮川	市道大谷改良区7号線	静岡県静岡市駿河区宮川	立体接続	平成25年7月5日	平成31年9月30日	4,726百万円	5,151百万円	―	本線 直結型
第一東海自動車道	静岡県浜松市東区有玉西町	市道有玉南初生線及び市道有玉西１２号線	静岡県浜松市東区有玉西町	立体接続	平成25年7月5日	平成29年3月18日 （供用開始） 平成30年3月30日 （残事業完成）	945百万円	1,070百万円	―	三方原PA
第一東海自動車道	静岡県浜松市西区呉松町	県道引佐舘山寺線及び県道湖東舘山寺線	静岡県浜松市西区呉松町	立体接続	平成25年7月5日	平成31年3月31日	2,803百万円	3,002百万円	―	本線 直結型
第一東海自動車道	愛知県豊田市西田町長根山	市道上郷スマートインター1号線及び市道上郷スマートインター2号線	愛知県豊田市永覚新町及び愛知県豊田市西田町外林	立体接続	平成25年7月5日	平成33年3月31日	1,764百万円	2,374百万円	―	上郷 SA
第二東海自動車道 横浜名古屋線	静岡県駿東郡小山町大御神	町道3628号線及び町道3984号線	静岡県駿東郡小山町大御神	立体接続	平成25年7月5日	平成33年3月31日	883百万円	1,001百万円	―	小山PA （仮称）
第二東海自動車道 横浜名古屋線	静岡県沼津市根古屋	市道1970号線及び市道1971号線	静岡県沼津市根古屋	立体接続	平成25年7月5日	平成29年3月18日 （供用開始） 平成30年3月30日 （残事業完成）	813百万円	968百万円	―	駿河湾沼津 SA
第二東海自動車道 横浜名古屋線	静岡県磐田市敷地	市道下野部敷地線	静岡県磐田市敷地	立体接続	平成25年7月5日	平成32年9月30日	1,807百万円	1,973百万円	―	本線 直結型

別　紙　1

（イ） 路線名	（ロ） 工事の箇所	（ハ）工事方法 他の道路との連結位置及び接続の方法			（ニ） 工事の着手および完成の予定年月日		（ホ） 工事予算 （消費税込み）	（へ） 債務引受限度額 （消費税込み）	うち 助成対象 基準額 （消費税込み）	備考
		他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	工事の着手 年月日	工事の完成 予定年月日				
北陸自動車道	石川県能美市吉原釜屋町	市道木曽街道線	石川県能美市吉原釜屋町	立体接続	平成25年7月5日	平成30年3月25日 （供用開始） 平成31年3月30日 （残事業完成）	2,176百万円	2,450百万円	―	本線 直結型
近畿自動車道 敦賀線	福井県三方上中郡若狭町鳥浜	町道若狭梅街道線	福井県三方上中郡若狭町鳥浜	立体接続	平成25年7月5日	平成30年3月24日 （供用開始） 平成31年3月30日 （残事業完成）	1,665百万円	1,911百万円	―	三方五湖PA
一般国道468号 （首都圏中央連絡自動車道）	東京都八王子市美山町	市道川口339号線	東京都八王子市美山町	立体接続	平成25年7月5日	平成28年12月24日 （供用開始） 平成30年3月30日 （残事業完成）	984百万円	1,160百万円	―	本線 直結型
一般国道475号 （東海環状自動車道）	岐阜県岐阜市北野北	市道北野北線	岐阜県岐阜市北野北	立体接続	平成25年7月5日	平成33年3月31日	703百万円	903百万円	―	岐阜PA （仮称）

東海北陸自動車道（西尾張IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東海北陸自動車道

（2） 工事の箇所

愛知県一宮市大和町

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道岐阜稲沢線	愛知県一宮市大和町	立体接続	西尾張インターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

782 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　21 年　 9 月　 5 日

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

956　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　908　百万円）（消費税込み）

東海北陸自動車道

（岐阜県郡上市白鳥町那留から岐阜県高山市清見町夏厩まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東海北陸自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　岐阜県郡上市白鳥町那留　　から
岐阜県高山市清見町夏厩　　まで

（ロ） 延　　長　　40. 9 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
岐阜県郡上市白鳥町那留 から 岐阜県高山市清見町夏厩 まで	80	40. 9	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
岐阜県郡上市白鳥町那留 から 岐阜県高山市清見町夏厩 まで	4 車線	4 車線	4車線化

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	1．75	1．00	2．75	
トンネル部分	—	—	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分（中小橋）	1．75×2	3．50	1．75	1．00	2．75	
橋梁高架部分（長大橋）	1．25×2	2．50	1．25	1．00	2．25	

※ 切土部については、左側路肩を堆雪余裕幅として白鳥～高鷲2．0m、高鷲～飛騨清見3．0m拡幅する。

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

3.0　メートル　（土工部）
3.75　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
－	－	－	－

（4） 工事予算

106，508 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　24 年　 5 月　 1 日
②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

112，998 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　107，348 百万円）（消費税込み）

一般国道４７５号（東海環状自動車道）
（岐阜県関市広見から岐阜県大垣市桧町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道475号

（有料道路名 ： 東海環状自動車道）

（2） 工事の箇所

（イ） 工事の区間　岐阜県関市広見　から
岐阜県大垣市桧町　まで

（ロ） 延　長　35. 3キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
岐阜県関市広見　から 岐阜県大垣市桧町　まで	100	35．3	

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
岐阜県関市広見　から 岐阜県大垣市桧町　まで	2 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	1．75×2	3．50	1．75	1．25	3．00	
橋梁高架部分（中小橋）	1．75×2	3．50	2．50	1．25	3．75	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	2．50	1．25	3．75	

（チ） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員　　－　メートル　（土工部）
　　－　メートル　（橋梁部）

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道418号	岐阜県関市広見	立体接続	関広見インターチェンジ
一般国道256号	岐阜県山県市大字西深瀬	立体接続	高富インターチェンジ（仮称）
都計道岐阜インター線	岐阜県岐阜市大学北	立体接続	岐阜インターチェンジ（仮称）
一般国道157号	岐阜県本巣市上保	立体接続	糸貫インターチェンジ（仮称）
県道 岐阜関ヶ原線	岐阜県安八郡神戸町大字西座倉	立体接続	大野神戸インターチェンジ（仮称）
一般国道21号及び県道大垣環状線	岐阜県大垣市桧町	立体接続	大垣西インターチェンジ

（4） 工事予算

124，964　百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手(予定)年月日

イ　岐阜県大垣市桧町から岐阜県安八郡神戸町西座倉まで
平成 31 年 4 月 1 日

ロ　岐阜県安八郡神戸町西座倉から岐阜県安八郡神戸町西座倉まで
平成 30 年 5 月 1 日

ハ　岐阜県安八郡神戸町西座倉から岐阜県揖斐郡大野町下磯まで
平成 31 年 4 月 1 日

ニ　岐阜県揖斐郡大野町下磯から岐阜県瑞穂市七崎まで
平成 30 年 5 月 1 日

ホ　岐阜県揖斐郡大野町下磯から岐阜県瑞穂市七崎まで
平成 31 年 4 月 1 日

ヘ　岐阜県瑞穂市七崎から岐阜県本巣市見延まで
平成 30 年 5 月 1 日

ト　岐阜県瑞穂市見延から岐阜県本巣市見延まで
平成 31 年 4 月 1 日

チ　岐阜県瑞穂市見延から岐阜県本巣市三橋まで
平成 30 年 5 月 1 日

リ　岐阜県本巣市三橋から岐阜県本巣市三橋まで
　平成　31　年　4　月　1　日

ヌ　岐阜県本巣市三橋から岐阜県岐阜市城田寺まで
　平成　30　年　5　月　1　日

ル　岐阜県岐阜市城田寺から岐阜県岐阜市城田寺まで
　平成　31　年　4　月　1　日

ヲ　岐阜県岐阜市城田寺から岐阜県山県市西深瀬まで
　平成　35　年　4　月　1　日

ワ　岐阜県山県市西深瀬から岐阜県山県市西深瀬まで
　平成　30　年　5　月　1　日

カ　岐阜県山県市西深瀬から岐阜県関市広見まで
　平成　31　年　4　月　1　日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日　［高富IC（仮称）～大野・神戸IC（仮称）以外］
　　平成　37 年　3 月　31 日　［高富IC（仮称）～大野・神戸IC（仮称）］

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

141，888 百万円（消費税込み）
（うち、助成対象基準額　　134，794 百万円）（消費税込み）

一般国道４７５号（東海環状自動車道）
（岐阜県養老郡養老町飯積から三重県員弁郡東員町大字長深まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道475号

（有料道路名 ： 東海環状自動車道）

（2） 工事の箇所

（イ） 工事の区間　岐阜県養老郡養老町飯積　から
三重県員弁郡東員町大字長深　まで

（ロ） 延　長　34．1キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
岐阜県養老郡養老町飯積　から 三重県員弁郡東員町大字長深　まで	100	34．1	

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
岐阜県養老郡養老町飯積　から 三重県員弁郡東員町大字長深　まで	2 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員　　－　メートル　（土工部）
　　－　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
中央自動車道　西宮線	岐阜県養老郡養老町飯積	立体接続	養老ジャンクション
県道　養老平田線	岐阜県養老郡養老町口ヶ島	立体接続	養老インターチェンジ
一般国道306号及び一般国道365号	三重県いなべ市北勢町阿下喜	立体接続	北勢インターチェンジ（仮称）
一般国道365号	三重県いなべ市大安町高柳	立体接続	大安インターチェンジ（仮称）
一般国道365号	三重県員弁郡東員町大字長深	立体接続	東員インターチェンジ

（4） 工事予算

42，469　　百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

イ　岐阜県養老郡養老町直江から岐阜県養老郡養老町直江まで　（養老JCT　Gランプ）
平成　29　年　3　月　1　日

ロ　岐阜県養老郡養老町飯積から岐阜県養老郡養老町高田まで　（№4+7.0～№53+5.5）
平成　29　年　4　月　1　日

ハ　岐阜県養老郡養老町高田から岐阜県養老郡養老町高田まで　（№53+5.5～№63+7.5）
平成　29　年　5　月　1　日

ニ　岐阜県養老郡養老町高田から岐阜県養老郡養老町高田まで　（№63+7.5～№111+0.0）
平成　29　年　4　月　1　日

ホ　岐阜県養老郡養老町高田から岐阜県養老郡養老町ロケ島まで　（№111+0.0～№121+15.0）
平成　29　年　5　月　1　日

ヘ　岐阜県養老郡養老町ロケ島から岐阜県養老郡養老町ロケ島まで　（№121+15.0～№130+13.0）
平成　29　年　4　月　1　日

ト　岐阜県養老郡養老町ロケ島から岐阜県養老郡養老町西岩道まで　（№130+13.0～№141+11.0）
平成29　年５　月１　日

チ　岐阜県養老郡養老町西岩道から岐阜県養老郡養老町ロケ島まで　（養老IC　ランプ部）
平成29　年４　月１　日

別　紙　1

リ　岐阜県養老郡養老町ロケ島から岐阜県養老郡養老町大跡まで　　（養老IC　料金所部）
平成28　年12　月１　日

ヌ　岐阜県養老郡養老町西岩道から岐阜県海津市南濃町庭田まで
平成31　年４　月１　日

ル　岐阜県海津市南濃町庭田から三重県いなべ市北勢町二之瀬まで
平成29　年４　月１　日

ヲ　三重県いなべ市北勢町二之瀬から三重県いなべ市北勢町阿下喜まで
平成32　年４　月１　日

ワ　三重県いなべ市北勢町阿下喜から三重県いなべ市北勢町阿下喜まで
平成30　年５　月１　日

カ　三重県いなべ市北勢町阿下喜から三重県いなべ市北勢町阿下喜まで
平成31　年４　月１　日

ヨ　三重県いなべ市北勢町阿下喜から三重県いなべ市北勢町阿下喜まで
平成30　年５　月１　日

タ　三重県いなべ市北勢町阿下喜から三重県いなべ市北勢町阿下喜まで
平成31　年４　月１　日

レ　三重県いなべ市北勢町阿下喜から三重県いなべ市北勢町治田外面まで
平成30　年５　月１　日

別　紙　１

ソ　三重県いなべ市北勢町治田外面から三重県いなべ市北勢町治田外面まで
　平成３１　年４　月１　日

ツ　三重県いなべ市北勢町治田外面から三重県いなべ市北勢町治田外面まで
　平成３０　年５　月１　日

ネ　三重県いなべ市北勢町治田外面から三重県いなべ市大安町丹生川久下まで
　平成３１　年４　月１　日

ナ　三重県いなべ市大安町丹生川久下から三重県いなべ市北勢町麻生田まで
　平成３０　年５　月１　日

ラ　三重県いなべ市北勢町麻生田から三重県いなべ市北勢町麻生田まで
　平成３１　年４　月１　日

ム　三重県いなべ市北勢町麻生田から三重県いなべ市大安町片樋まで
　平成３０　年５　月１　日

ウ　三重県いなべ市大安町片樋から三重県いなべ市大安町高柳まで
　平成３１　年４　月１　日

ヰ　三重県いなべ市大安町高柳から三重県いなべ市大安町高柳まで
　平成３０　年５　月１　日

ノ　三重県いなべ市大安町高柳から三重県いなべ市大安町高柳まで
　平成３６　年４　月１　日

別　紙　1

オ　三重県いなべ市大安町高柳から三重県いなべ市大安町高柳まで
平成３１　年４　月１　日

ク　三重県いなべ市大安町高柳から三重県いなべ市大安町高柳まで
平成３０　年５　月１　日

ヤ　三重県いなべ市大安町高柳から三重県いなべ市大安町高柳まで
平成３１　年４　月１　日

マ　三重県いなべ市大安町高柳から三重県いなべ市大安町高柳まで
平成３０　年５　月１　日

ケ　三重県いなべ市大安町高柳から三重県いなべ市大安町高柳まで
平成３１　年４　月１　日

フ　三重県いなべ市大安町高柳から三重県いなべ市大安町高柳まで　（大安IC　Eランプ土工部　E-No.32+3.32～E-No.24+4.0）
平成３０　年12　月１　日

コ　三重県いなべ市大安町高柳から三重県いなべ市大安町高柳まで　（大安IC　Eランプ橋梁部　E-No.24+4.0～E-No.15+0.0）
平成　30　年　８　月　１　日

エ　三重県いなべ市大安町高柳から三重県いなべ市大安町高柳まで　（大安IC料金所部　E-No.15+0.0～A2-No0+0）
平成　30　年　４　月　１　日

テ　三重県いなべ市大安町高柳から三重県いなべ市大安町高柳まで　（大安IC　A・Cランプ橋梁部　C2-No.0+0～C2-No.28+0.0）
平成　30　年　８　月　１　日

別　紙　1

ア　三重県いなべ市大安町高柳から三重県いなべ市大安町高柳まで　（大安IC　Cランプ土工部　C2-No.28+0.0～C2-No.59+1.3）
平成３０　年12　月１　日

サ　三重県いなべ市大安町高柳から三重県いなべ市員弁町北金井まで　（大安IC　Cランプ土工部　C2-No.59+1.3～C2-No.77+9.2）
平成３０　年８　月１　日

キ　三重県いなべ市大安町高柳から三重県いなべ市員弁町北金井まで　（大安IC　Bランプ部　B-No.0+0～No.B-No.54+1.8）
平成３０　年８　月１　日

ユ　三重県いなべ市大安町高柳から三重県いなべ市員弁町北金井まで　（No.327+0.0～No.289+17.0）
平成３０　年８　月１　日

メ　三重県いなべ市員弁町北金井から三重県員弁郡東員町大字南大社まで（No.327+0.0～No.289+17.0）
平成３０　年10　月１　日

ミ　三重県員弁郡東員町大字南大社から三重県員弁郡東員町大字南大社（No.92+4.0～No.76+4.0）
平成３０　年11　月１　日

シ　三重県員弁郡東員町大字南大社から三重県員弁郡東員町大字長深まで（No.76+4.0～No.67+11.0 内回り）
平成３０　年10　月16　日

ヱ　三重県員弁郡東員町大字南大社から三重県員弁郡東員町大字長深まで（No.76+4.0～No.69+1.0 外回り）
平成３０　年10　月１　日

ヒ　三重県員弁郡東員町大字長深から三重県員弁郡東員町大字長深まで（No.67+11.0～No.57+5.0　内回り）
平成　30　年　９　月　１　日

別　紙　1

モ　三重県員弁郡東員町大字長深から三重県員弁郡東員町大字長深まで（№69+1.0～№55+7.0 外回り）
平成　30　年　11　月　1　日

セ　三重県員弁郡東員町大字長深から三重県員弁郡東員町大字長深まで（№57+5.0～№42+18.0　内回り）
平成30　年７　月１　日

ス　三重県員弁郡東員町大字長深から三重県員弁郡東員町大字長深まで（№55+7.0～№51+11.0　外回り）
平成30　年７　月１　日

ン　三重県員弁郡東員町大字長深から三重県員弁郡東員町大字長深まで（№51+11.0～№42+18.0 外回り）
平成30　年９　月１　日

イー１　三重県員弁郡東員町大字長深から三重県員弁郡東員町大字長深まで（№42+18.0～№18+0.0　内回り）
平成30　年４　月１　日

ロー１　三重県員弁郡東員町大字長深から三重県員弁郡東員町大字長深まで（№42+18.0～№33+17.0　外回り）
平成30　年６　月１　日

ハー１　三重県員弁郡東員町大字長深から三重県員弁郡東員町大字長深まで（№33+17.0～No.18+0.0　外回り）
平成30　年４　月１　日

ニー１　三重県員弁郡東員町大字長深から三重県員弁郡東員町大字長深まで（東員IC　A･Dランプ部）
平成30　年４　月１　日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

別　紙　1

②工事の完成予定年月日

平成　29 年　10 月　22 日　　（養老JCT～養老IC）

平成　33 年　 3 月　31 日　　［北勢IC（仮称）～大安IC（仮称）以外］

平成　37 年　 3 月　31 日　　［北勢IC（仮称）～大安IC（仮称）］

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

47，251 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　44，888 百万円）（消費税込み）

一般国道４７５号（東海環状自動車道）
（三重県員弁郡東員町大字長深から三重県四日市市北山町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道475号

（有料道路名 ： 東海環状自動車道）

（2） 工事の箇所

（イ） 工事の区間　三重県員弁郡東員町大字長深　から
三重県四日市市北山町　まで

（ロ） 延　長　1. 4キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　第 1 種 第 2 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （ｷﾛﾒｰﾄﾙ/時）	延　長 （ｷﾛﾒｰﾄﾙ）	摘　要
三重県員弁郡東員町大字長深 から 三重県四日市市北山町 まで	100	1．4	

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
三重県員弁郡東員町大字長深 から 三重県四日市市北山町 まで	2 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	2．50×2	5．00	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員　　4．50　メートル　（土工部）
　　4．50　メートル　（橋梁部）

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道365号	三重県員弁郡東員町大字長深	立体接続	東員インターチェンジ
近畿自動車道　名古屋神戸線	三重県四日市市北山町	立体接続	新四日市ジャンクション

別　紙　1

（4） 工事予算

2，982　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

イ 三重県員弁郡東員町大字長深　（東員IC地下通路部）
平成 27 年 1 月 1 日

ロ 三重県員弁郡東員町大字長深　（東員IC料金所部）
平成 27 年 4 月 1 日

ハ 三重県員弁郡東員町大字長深から三重県員弁郡東員町大字長深まで　（東員IC Dランプ部）
平成 27 年 4 月 1 日

ニ 三重県員弁郡東員町大字長深から三重県員弁郡東員町大字長深まで　（東員IC Eランプ部）
平成 27 年 6 月 1 日

ホ 三重県員弁郡東員町大字長深から三重県員弁郡東員町大字長深まで　（東員IC A・Dランプ部）
平成 27 年 7 月 15 日

ヘ 三重県員弁郡東員町大字長深から三重県員弁郡東員町大字長深まで　（上り線：No.18+0.0～No.7+12.0）
平成 27 年 4 月 1 日

別　紙　1

ト　三重県員弁郡東員町大字長深から三重県四日市市北山町まで　（上り線：No.7+12.0～STA. 3+40.0）
　平成 27 年　7 月 15 日

チ　三重県員弁郡東員町大字長深から三重県四日市市北山町まで　（下り線：No.18.+0.0～STA. 3+40.0）
　平成 27 年　7 月 15 日

リ　三重県四日市市北山町から三重県四日市市北山町まで　（新四日市JCT　B・Dランプ）
　平成 27 年　4 月　1 日

ヌ　三重県四日市市北山町から三重県四日市市北山町まで　（新四日市JCT　Dランプ）
　平成 27 年 12 月　1 日

ル　三重県四日市市北山町から三重県四日市市北山町まで　（新四日市JCT　Dランプ）
　平成 27 年 12 月　1 日

ヲ　三重県四日市市北山町から三重県四日市市北山町まで　（新四日市JCT　Dランプ）
　平成 27 年 12 月　1 日

ワ　三重県四日市市北山町から三重県四日市市北山町まで　（新四日市JCT　Bランプ）
　平成 30 年　7 月　1 日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が、一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

別　紙　1

②工事の完成予定年月日　　平成　28 年　8 月　11 日　（供用開始）
　　平成　31 年　3 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

3，126 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　3，126 百万円）（消費税込み）

中央自動車道　富士吉田線

（東京都三鷹市北野から東京都世田谷区大蔵まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　富士吉田線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　東京都三鷹市北野　　から
東京都世田谷区大蔵　　まで

（ロ） 延　　長　　6．4 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　直轄事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 2 種 第 1 級（道路構造令）

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
東京都三鷹市北野　から 東京都世田谷区大蔵　まで	80	6．4	

別　紙　1

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　3．25メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
東京都三鷹市北野 から 東京都世田谷区大蔵 まで	6 車線	6 車線	

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	――	――	――	――	――	
トンネル部分	――	――	2．50	0．75	3．25	
橋梁高架部分（中小橋）	――	――	――	――	――	
橋梁高架部分（長大橋）	――	――	――	――	――	

（チ） 付加車線の標準幅員　　―――　　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

―――　　メートル　（土工部）
―――　　メートル　（橋梁部）

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
関越自動車道新潟線	東京都三鷹市北野	平面接続	本線
中央自動車道富士吉田線	東京都三鷹市北野	立体接続	中央ジャンクション（仮称）
第一東海自動車道	東京都世田谷区大蔵	立体接続	東名ジャンクション（仮称）

（4） 工事予算

380，164 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日

イ　東京都三鷹市北野から東京都世田谷区喜多見
平成　30　年　10　月　1　日

ロ　東京都世田谷区成城から東京都世田谷区喜多見
平成　24　年　5　月　17　日

ロ’　東京都世田谷区成城から東京都世田谷区喜多見
平成　30　年　10　月　1　日

ハ　東京都世田谷区喜多見から東京都世田谷区大蔵
平成　24　年　5　月　17　日

ニ　東京都三鷹市北野から東京都世田谷区喜多見
平成　29　年　3　月　1　日

ホ　東京都調布市東つつじヶ丘から東京都世田谷区喜多見
平成　29　年　3　月　1　日

・なお、直轄事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が直轄事業者から事業引き継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　33　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

410，977 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　390，429 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道伊勢線
（愛知県名古屋市中川区島井町から愛知県海部郡飛島村木場まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　伊勢線

（2） 工事の箇所

（イ） 工事の区間　　愛知県名古屋市中川区島井町　　から
愛知県海部郡飛島村木場　　まで

（ロ） 延　　長　　12. 2キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　直轄事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 2 種 第 1 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
愛知県名古屋市中川区島井町 から 愛知県海部郡飛島村木場 まで	60	12．2	

（ニ） 設計自動車荷重　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
愛知県名古屋市中川区島井町 から 愛知県海部郡飛島村木場 まで	4 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	－	－	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	１．２５×２	２．５０	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員　　－　メートル　（土工部）
　　２．２５　メートル　（橋梁部）

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
近畿自動車道 名古屋亀山線	愛知県名古屋市中川区島井町	平面接続及び立体接続	名古屋西ジャンクション
市道高速1号（名古屋高速道路）	愛知県名古屋市中川区島井町	立体接続	名古屋西ジャンクション
一般国道302号	愛知県名古屋市中川区服部	立体接続	名古屋西ジャンクション南インターチェンジ（仮称）
一般国道302号	愛知県名古屋市中川区かの里及び愛知県名古屋市港区西蟹田	立体接続	富田インターチェンジ（仮称）
一般国道302号	愛知県名古屋市港区南陽町大字茶屋新田	立体接続	南陽インターチェンジ（仮称）
一般国道302号	愛知県海部郡飛島村大字梅之郷	立体接続	名四西インターチェンジ（仮称）
近畿自動車道 名古屋神戸線	愛知県海部郡飛島村木場	立体接続	飛島ジャンクション（仮称）
一般国道302号（伊勢湾岸道路）	愛知県海部郡飛島村木場	立体接続	飛島ジャンクション（仮称）

（4） 工事予算

120，725百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手(予定)年月日

イ　愛知県名古屋市中川区島井町　から　愛知県名古屋市中川区島井町　まで
平成　24年　5月　1日

ロ　愛知県名古屋市中川区島井町　から　愛知県名古屋市中川区服部　まで
平成　29年　8月　23日

ハ　愛知県名古屋市中川区服部　から　愛知県名古屋市中川区供米田　まで
平成　30年　4月　1日

ニ　愛知県名古屋市中川区供米田　から　愛知県名古屋市中川区かの里　まで
平成　32年　4月　1日

ホ　愛知県名古屋市中川区かの里　から　愛知県名古屋市港区南陽町　まで
平成　30年　4月　1日

ヘ　愛知県名古屋市港区南陽町　から　愛知県海部郡飛島村大字梅之郷　まで
平成　29年　8月　23日

ト　愛知県海部郡飛島村大字梅之郷　から　愛知県海部郡飛島村大字梅之郷　まで
平成　32年　4月　1日

チ　愛知県海部郡飛島村大字梅之郷　から　愛知県海部郡飛島村木場　まで
平成　29年　8月　23日

リ　愛知県海部郡飛島村木場　から　愛知県海部郡飛島村木場　まで
平成　29年　8月　23日

ヌ　愛知県海部郡飛島村木場　から　愛知県海部郡飛島村木場　まで
平成　24年　5月　1日

・なお、直轄事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が直轄事業者から事業引き継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

130，691 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　124，156 百万円）（消費税込み）

第一東海自動車道（横浜青葉JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第一東海自動車道

（2） 工事の箇所

神奈川県横浜市青葉区下谷本町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
横浜市道高速横浜環状北西線 （首都高速道路）	神奈川県横浜市 青葉区下谷本町	立体接続	横浜青葉ジャンクション（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

461 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日

平成　24 年　 5 月　 1 日

②工事の完成予定年月日

平成　32 年　 7 月　24 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

517 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　491 百万円）（消費税込み）

中央自動車道西宮線（甲府中央スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　西宮線

（2） 工事の箇所

山梨県甲府市大津町

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道29号甲府中央右左口線	山梨県甲府市 大津町	立体接続	甲府中央スマートインターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

３，347　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　26 年　９ 月　１ 日

②工事の完成予定年月日　平成　32 年　３ 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

３，638　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　―　百万円）（消費税込み）

中央自動車道西宮線（小黒川スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　西宮線

（2） 工事の箇所

長野県伊那市西町

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道I1683号線、市道I1684号線、市道I1685号線、市道I1686号線	長野県伊那市西町	立体接続	小黒川スマートインターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

807　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　26 年　9 月　1 日

②工事の完成予定年月日　平成　29 年　9 月　30 日　（供用開始）

平成　30 年　3 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

897　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　―　百万円）（消費税込み）

中央自動車道西宮線（駒ヶ岳スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　西宮線

（2） 工事の箇所

長野県駒ヶ根市赤穂

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道1-1105号線及び 市道1-1106号線	長野県駒ヶ根市赤穂	立体接続	駒ヶ岳スマートインターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

996　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　26 年　9 月　1 日

②工事の完成予定年月日　平成　30 年　3 月　17 日　（供用開始）

平成　31 年　3 月　30 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，087　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　―　百万円）（消費税込み）

第二東海自動車道横浜名古屋線（山北スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第二東海自動車道横浜名古屋線

（2） 工事の箇所

神奈川県足柄上郡山北町川西

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
町道10号河内川谷戸線	神奈川県足柄上郡山北町川西	立体接続	山北スマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

752　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　26 年　9 月　1 日

②工事の完成予定年月日　平成　33 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

845　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　―　百万円）（消費税込み）

一般国道４６８号（首都圏中央連絡自動車道）（厚木PAスマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道468号

（有料道路名 ： 首都圏中央連絡自動車道）

（2） 工事の箇所

神奈川県厚木市山際　　から

神奈川県厚木市関口　　まで

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道2-46号線及び市道B-266号線	神奈川県厚木市山際及び神奈川県厚木市関口	立体接続	厚木PAスマートインターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

1，275　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　26 年　9 月　1 日

②工事の完成予定年月日　平成　31 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，390　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　―　百万円）（消費税込み）

一般国道４７５号（東海環状自動車道）（海津スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道475号

（有料道路名 ： 東海環状自動車道）

（2） 工事の箇所

岐阜県海津市南濃町志津新田

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
（仮称）海津34421号線	岐阜県海津市 南濃町志津新田	立体接続	海津スマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

837　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　26 年　9 月　1 日

②工事の完成予定年月日　平成　33 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

938　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　―　百万円）（消費税込み）

第二東海自動車道横浜名古屋線（秦野SAスマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第二東海自動車道横浜名古屋線

（2） 工事の箇所

神奈川県秦野市横野　　から
神奈川県秦野市戸川　　まで

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道144号線及び市道146号線	神奈川県秦野市横野及び戸川	立体接続	秦野SAスマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

713　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　27 年　8 月　26 日

②工事の完成予定年月日　平成　33 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

796　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　―　百万円）（消費税込み）

中央自動車道西宮線（座光寺スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　西宮線

（2） 工事の箇所

長野県飯田市座光寺地先

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道座光寺280号線 市道座光寺281号線	長野県飯田市座光寺地先	立体接続	座光寺スマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

1,363　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日　平成　28 年　6 月　24 日

②工事の完成予定年月日　平成　33 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1,554　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　―　百万円）（消費税込み）

第一東海自動車道（足柄スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第一東海自動車道

（2） 工事の箇所

静岡県駿東郡小山町

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
町道2451号線及び2452号線	静岡県駿東郡小山町桑木地内	立体接続	足柄スマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

1,437　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日　平成　28 年　6 月　24 日

②工事の完成予定年月日　平成　31 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1,575　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　―　百万円）（消費税込み）

第一東海自動車道（駒門スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第一東海自動車道

（2） 工事の箇所

静岡県御殿場市駒門　　から
静岡県御殿場市町屋　　まで

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道3697号線及び3698号線	静岡県御殿場市駒門及び町屋	立体接続	駒門スマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

949　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日　平成　28 年　6 月　24 日

②工事の完成予定年月日　平成　32 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1,048　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　―　百万円）（消費税込み）

北陸自動車道（上市スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

北陸自動車道

（2） 工事の箇所

富山県中新川郡上市町江上　から
富山県中新川郡上市町東江上 まで

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
（仮称）上市インター南線 及び（仮称）上市インター北線	富山県中新川郡上市町中江上 及び富山県中新川郡上市町東江上	立体接続	上市スマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

1,697　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日　平成　28 年　6 月　24 日

②工事の完成予定年月日　平成　32 年　12 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1,967　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　―　百万円）（消費税込み）

一般国道138号（東富士五湖道路）（富士吉田南スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道138号（東富士五湖道路）

（2） 工事の箇所

山梨県富士吉田市上吉田

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道農場線	山梨県富士吉田市上吉田	立体接続	富士吉田南スマートインターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

2,066　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日　平成　28 年　6 月　24 日

②工事の完成予定年月日　平成　33 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2,314　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　―　百万円）（消費税込み）

第一東海自動車道（豊橋PA（下り線））に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第一東海自動車道

（2）工事の箇所

愛知県豊橋市

（3） 工事予算

1，882 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　29　年　5　月　13　日
②工事の完成予定年月日　　平成　31　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，048 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，946 百万円）（消費税込み）

中央自動車道西宮線（神坂スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　西宮線

（2） 工事の箇所

岐阜県中津川市神坂地内

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道神坂44号線、 市道神坂45号線	岐阜県中津川市神坂地内	立体接続	（仮称）神坂スマートインターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

1,246　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日　平成　29 年　8 月　31 日

②工事の完成予定年月日　平成　34 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1,404　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　―　百万円）（消費税込み）

第二東海自動車道横浜名古屋線（刈谷スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

第二東海自動車道横浜名古屋線

（2） 工事の箇所

愛知県刈谷市東境町地内

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道01-41号線	愛知県刈谷市東境町地内	立体接続	（仮称）刈谷スマートインターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

1,280　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日　平成　29 年　8 月　31 日

②工事の完成予定年月日　平成　34 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1,442　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　―　百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－２

近畿自動車道名古屋神戸線

（滋賀県大津市上田上牧町から京都府城陽市寺田金尾まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　滋賀県大津市上田上牧町　　から
京都府城陽市寺田金尾　　まで

（ロ） 延　　長　　25．1 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
滋賀県大津市上田上牧町 から 京都府城陽市寺田金尾 まで	120	25．1	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
滋賀県大津市 上田上牧町　から 京都府城陽市 寺田金尾　まで	4 車線	6 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	－	－	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分 （中小橋）	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2	3．50	1．75	1．25	3．00	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　ー　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道307号	京都府綴喜郡 宇治田原町大字郷之口	立体接続	宇治田原インターチェンジ（仮称）
一般国道24号 （京奈道路）	京都府城陽市 寺田金尾	立体接続	城陽ジャンクション・インターチェンジ
一般国道24号	京都府城陽市 寺田金尾	立体接続	城陽ジャンクション・インターチェンジ

（4） 工事予算

334，115 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　5 年　12 月　4 日
②工事の完成予定年月日　　平成　36 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

386，825 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　369，524 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－３

近畿自動車道名古屋神戸線

（京都府城陽市寺田金尾から京都府八幡市美濃山荒坂まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　京都府城陽市寺田金尾　　から
京都府八幡市美濃山荒坂　　まで

（ロ） 延　　長　　3．5 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
京都府城陽市寺田金尾　から 京都府八幡市美濃山荒坂　まで	120	3．5	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
京都府城陽市 寺田金尾　から 京都府八幡市 美濃山荒坂　まで	4 車線	6 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	2．50×2	5．00	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　ー　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道24号（京奈道路）	京都府城陽市寺田金尾	立体接続	城陽ジャンクション・インターチェンジ
一般国道24号	京都府城陽市寺田金尾	立体接続	城陽ジャンクション・インターチェンジ
一般国道1号（第二京阪道路）	京都府八幡市美濃山荒坂	立体接続	八幡京田辺ジャンクション・インターチェンジ
府道八幡京田辺インター線	京都府八幡市美濃山古寺	立体接続	八幡京田辺ジャンクション・インターチェンジ

（4） 工事予算

109，007 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　 1 月　20 日
②工事の完成予定年月日　　平成　29 年　 4 月　30 日（供用開始）
　　平成　31 年　 3 月　31 日（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

104，105 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　104，105 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－４

近畿自動車道名古屋神戸線

（京都府八幡市美濃山荒坂から大阪府高槻市原まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　京都府八幡市美濃山荒坂　　から
大阪府高槻市原　　まで

（ロ） 延　　長　　10．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
京都府八幡市美濃山荒坂 から 大阪府高槻市原 まで	120	10．7	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
京都府八幡市 美濃山荒坂　から 大阪府高槻市 原　まで	4 車線	6 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	－	－	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	2．50	1．25	3．75	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2	3．50	1．75	1．25	3．00	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道1号（第二京阪道路）	京都府八幡市美濃山荒坂	立体接続	八幡京田辺ジャンクション・インターチェンジ
府道八幡京田辺インター線	京都府八幡市美濃山古寺	立体接続	八幡京田辺ジャンクション・インターチェンジ

（4） 工事予算

362，457 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　1 月　8 日
②工事の完成予定年月日　　平成　36 年　3 月　31 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

424，891 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　406，517 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－５

近畿自動車道名古屋神戸線

（大阪府高槻市原から大阪府箕面市下止々呂美まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　大阪府高槻市原　　から
大阪府箕面市下止々呂美　　まで

（ロ） 延　　長　　18．0 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
大阪府高槻市原 から 大阪府箕面市下止々呂美 まで	120	18．0	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
大阪府高槻市原 から 大阪府箕面市下止々呂美 まで	4 車線	6 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	－	－	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分（中小橋）	－	－	2．50	1．25	3．75	
橋梁高架部分（長大橋）	－	－	1．75	1．25	3．00	

（ト） 付加車線の標準幅員　　ー　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
中道自動車道西宮線	大阪府高槻市宮が谷	立体接続	高槻ジャンクション・インターチェンジ
府道伏見柳谷高槻線	大阪府高槻市成合	立体接続	高槻ジャンクション・インターチェンジ
府道茨木摂津線	大阪府茨木市千提寺	立体接続	茨木千提寺インターチェンジ
一般国道423号	大阪府箕面市下止々呂美	立体接続	箕面とどろみインターチェンジ
一般国道423号バイパス	大阪府箕面市下止々呂美	立体接続	箕面とどろみインターチェンジ

（4） 工事予算

382，152 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12 年　 1 月　12 日
②工事の完成予定年月日　　平成　29 年　12 月　10 日（供用開始）
　　平成　32 年　 3 月　30 日（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

406，062 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　392，856 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－６

近畿自動車道名古屋神戸線

（大阪府箕面市下止々呂美から兵庫県神戸市北区八多町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　大阪府箕面市下止々呂美　　から
兵庫県神戸市北区八多町　　まで

（ロ） 延　　長　　22．6 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 1 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第2級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
大阪府箕面市下止々呂美 から 兵庫県神戸市北区八多町 まで	120	22．6	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
大阪府箕面市 下止々呂美　から 兵庫県神戸市 北区八多町　まで	4 車線	6 車線	

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
トンネル部分	－	－	1．00	1．00	2．00	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2	3．50	1．75	1．25	3．00	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　ー　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

4．50　メートル　（土工部）
4．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
県道川西インター線	兵庫県川西市西畦野	立体接続	川西インターチェンジ
中国縦貫自動車道	兵庫県神戸市北区八多町	立体接続	神戸ジャンクション
山陽自動車道吹田山口線	兵庫県神戸市北区八多町	平面接続	神戸ジャンクション

（4） 工事予算

384，574 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　 1 月　 8 日
②工事の完成予定年月日　　平成　29 年　12 月　10 日（箕面とどろみIC～川西IC　供用開始）
平成　30 年　 3 月　18 日（川西IC～神戸JCT　供用開始）
平成　32 年　 3 月　30 日（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

413，085 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　404，701 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－９

中国横断自動車道姫路鳥取線

（兵庫県たつの市新宮町角亀から兵庫県宍粟市山崎町市場まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中国横断自動車道　姫路鳥取線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　兵庫県たつの市新宮町角亀　　から
兵庫県宍粟市山崎町市場　　まで

（ロ） 延　　長　　11．4 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
兵庫県たつの市新宮町角亀 から 兵庫県宍粟市山崎町市場 まで	80	11．4	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
兵庫県たつの市 新宮町角亀　から 兵庫県宍粟市 山崎町市場　まで	2 車線	4 車線	

用地買収については、現地条件等を勘案した上で、当面、暫定二車線施工に必要となる用地を取得するものとする。

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	1．25×2	2．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
県道播磨新宮インター線	兵庫県たつの市新宮町光都三丁目	立体接続	播磨新宮インターチェンジ
中国縦貫自動車道	兵庫県宍粟市山崎町市場	立体接続	山崎ジャンクション（仮称）

（4） 工事予算

65，148 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　4 月　19 日
②工事の完成予定年月日　平成　33 年　3 月　31 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

73，888 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　70，788 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－１２

四国横断自動車道阿南四万十線

（徳島県徳島市北沖洲から徳島県徳島市川内町富久まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

四国横断自動車道　阿南四万十線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　徳島県徳島市北沖洲　　から
徳島県徳島市川内町富久　　まで

（ロ） 延　　長　　4．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第3級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
徳島県徳島市北沖洲　から 徳島県徳島市川内町富久　まで	100	4．7	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
徳島県徳島市 北沖洲　から 徳島県徳島市 川内町富久　まで	2 車線	4 車線	

用地買収については、現地条件等を勘案した上で、当面、暫定二車線施工に必要となる用地を取得するものとする。

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
四国横断自動車道 阿南四万十線	徳島県徳島市 北沖洲	平面接続	本線（新直轄）
県道徳島東インター線	徳島県徳島市 北沖洲	立体接続	徳島東インターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

80，634 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　1 月　8 日
②工事の完成予定年月日　　平成　32 年　3 月　31 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

90，088 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　86，979 百万円）（消費税込み）

四国横断自動車道阿南四万十線
（徳島県徳島市川内町鈴江東から徳島県鳴門市大津町大代まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

四国横断自動車道　阿南四万十線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　徳島県徳島市川内町鈴江東　　から
徳島県鳴門市大津町大代　　まで

（ロ） 延　　長　　10．9 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第3級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
徳島県徳島市川内町鈴江東　から 徳島県鳴門市大津町大代　まで	100	10．9	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
徳島県徳島市 川内町鈴江東　から 徳島県鳴門市 大津町大代　まで	2 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．50　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

ー　メートル　（土工部）
ー　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
四国縦貫自動車道	徳島県徳島市 川内町鈴江東	平面接続	本線
一般国道11号	徳島県徳島市 川内町沖島	立体接続	徳島インターチェンジ

（4） 工事予算

92，887 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　1 月　8 日
②工事の完成予定年月日　平成　27 年　3 月　14 日（供用開始）
　　平成　31 年　3 月　31 日（残事業完成）

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

104，711 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　104，711 百万円）（消費税込み）

東九州自動車道

（福岡県築上郡築上町大字上ノ河内から大分県宇佐市大字山本まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東九州自動車道

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　福岡県築上郡築上町大字上ノ河内　　から
大分県宇佐市大字山本　　まで

（ロ） 延　　長　　28．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第3級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
福岡県築上郡 築上町大字上ノ河内 から 大分県宇佐市 大字山本 まで	100	28．3	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
福岡県築上郡 築上町大字上ノ河内　から 大分県宇佐市 大字山本　まで	2 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	1．25×2	2．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　３．５０　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道10号（椎田道路）	福岡県築上郡築上町大字上ノ河内	立体接続	椎田南インターチェンジ
一般国道10号（椎田道路）	福岡県築上郡築上町大字上ノ河内	平面接続	本線
県道犀川豊前線	福岡県豊前市大字久路土	立体接続	豊前インターチェンジ
一般国道212号	大分県中津市三光西秣	立体接続	中津インターチェンジ
一般国道10号（宇佐別府道路）	大分県宇佐市大字山本	立体接続	宇佐インターチェンジ
一般国道10号（宇佐別府道路）	大分県宇佐市大字山本	平面接続	本線

別　紙　1

（4） 工事予算

87，450 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　18 年　4 月　19 日
②工事の完成予定年月日　平成　27 年　3 月　1 日（豊前～宇佐間供用開始）
平成　28 年　4 月　24 日（椎田南～豊前間供用開始）
平成　31 年　9 月　30 日（残事業完成）

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

100，860 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　100，860 百万円）（消費税込み）

中央自動車道西宮線（瀬田東JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　西宮線

（2） 工事の箇所

滋賀県大津市大江八丁目

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道1号（京滋バイパス）	滋賀県大津市大江八丁目	立体接続	瀬田東ジャンクション
県道大津能登川長浜線	滋賀県大津市大江八丁目	立体接続	瀬田東インターチェンジ

（4） 工事予算

10，128 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　昭和　62 年　 3 月　24 日
②工事の完成予定年月日　　平成　38 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

11，449 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　10，911 百万円）（消費税込み）

中央自動車道西宮線（京都南JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中央自動車道　西宮線

（2） 工事の箇所

京都府京都市伏見区竹田真幡木町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道1号（油小路線）	京都府京都市 伏見区竹田真幡木町	立体接続	京都南ジャンクション（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

1，132 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日　　平成　31 年　4 月　1 日
②工事の完成予定年月日　　平成　41 年　3 月　31 日

※本事業については、都市計画決定の上、事業の着手を行うものとする。

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，474 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，416 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道天理吹田線（郡山下ッ道JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　天理吹田線

（2） 工事の箇所

奈良県大和郡山市八条町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道24号 （京奈和自動車道）	奈良県大和郡山市 八条町	立体接続	郡山下ッ道ジャンクション

（4） 工事予算

24，121 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　12 年　 1 月　18 日
②工事の完成予定年月日　　平成　27 年　 3 月　22 日（供用開始）
　　平成　31 年　 3 月　30 日（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

26，253 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　26，253 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－３１

近畿自動車道天理吹田線

（大阪府摂津市三島一丁目から大阪府摂津市鶴野二丁目まで）（改築）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　天理吹田線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　大阪府摂津市三島一丁目　　から
大阪府摂津市鶴野二丁目　　まで

（ロ） 延　　長　　1．0 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
大阪府摂津市三島一丁目 から 大阪府摂津市鶴野二丁目 まで	80	1．0	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
大阪府摂津市 三島一丁目　から 大阪府摂津市 鶴野二丁目　まで	4 車線	4 車線	付加車線事業

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	－	－	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	0．75×2	1．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　3．00　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
1．50　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
－	－	－	

（4） 工事予算

3，231 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　16 年　6 月　29 日
②工事の完成予定年月日　平成　35 年　3 月　31 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

3，772 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　3，715 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道松原那智勝浦線（和歌山JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　松原那智勝浦線

（2） 工事の箇所

和歌山県和歌山市上黒谷

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道24号（紀北西道路）	和歌山県和歌山市上黒谷	立体接続	和歌山ジャンクション

（4） 工事予算

12，193 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　4 月　19 日
②工事の完成予定年月日　　平成　29 年　3 月　18 日　（供用開始）
　　平成　31 年　3 月　31 日　（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

13，545 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　13，545 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道松原那智勝浦線

（和歌山県海南市藤白から和歌山県有田郡有田川町天満まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　松原那智勝浦線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　和歌山県海南市藤白　　から
和歌山県有田郡有田川町天満　　まで

（ロ） 延　　長　　9．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
和歌山県海南市藤白 から 和歌山県有田郡有田川町天満 まで	80	9．8	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
和歌山県海南市 藤白　から 和歌山県有田郡 有田川町天満　まで	4 車線	4 車線	4車線化

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	－	－	2．50	1．00	3．50	
トンネル部分	－	－	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	2．50	1．00	3．50	
橋梁高架部分 （長大橋）	－	－	1．75	1．00	2．75	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　ー　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道42号	和歌山県海南市藤白	立体接続	海南インターチェンジ
県道興加茂郷停車場線	和歌山県海南市下津町橘本	立体接続	下津インターチェンジ
一般国道42号及び県道吉備金屋線	和歌山県有田郡有田川町天満	立体接続	有田インターチェンジ
一般国道42号（湯浅御坊道路）	和歌山県有田郡有田川町天満	平面接続	本線

（4） 工事予算

47，855 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日	平成	11 年	1 月	8 日	
②工事の完成予定年月日	平成	22 年	7 月	7 日	（供用開始）
	平成	31 年	3 月	30 日	（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

48，993 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　48，993 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道敦賀線（春日JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　敦賀線

（2） 工事の箇所

兵庫県丹波市春日町棚原

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道483号 （春日和田山道路）	兵庫県丹波市 春日町棚原	立体接続	春日ジャンクション（仮称）

（4） 工事予算

618 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　11 年　 1 月　 8 日
②工事の完成予定年月日　　平成　38 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

858 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　826 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道敦賀線

（京都府福知山市長田野町三丁目から京都府綾部市有岡町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　敦賀線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　京都府福知山市長田野町三丁目　　から
京都府綾部市有岡町　　まで

（ロ） 延　　長　　10．2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
京都府福知山市長田野町三丁目 から 京都府綾部市有岡町 まで	80	10．2	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
京都府福知山市 長田野町三丁目　から 京都府綾部市 有岡町　まで	4 車線	4 車線	4車線化

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	1．75	1．00	2．75	
トンネル部分	―	―	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	1．75	1．00	2．75	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	1．25	1．00	2．25	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
－	－	－	

（4） 工事予算

22，972 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　昭和　54 年　3 月　18 日
②工事の完成予定年月日　平成　33 年　3 月　31 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

24，547 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　23，458 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道敦賀線

（京都府綾部市上杉町から京都府舞鶴市字堀まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　敦賀線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　京都府綾部市上杉町　から
京都府舞鶴市字堀　まで

（ロ） 延　　長　　4．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
京都府綾部市上杉町 から 京都府舞鶴市字堀 まで	80	4．7	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
京都府綾部市 上杉町　から 京都府舞鶴市 字堀　まで	4 車線	4 車線	4車線化

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	1．75	1．00	2．75	
トンネル部分	―	―	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	1．75	1．00	2．75	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	1．25	1．00	2．25	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
－	－	－	

（4） 工事予算

12，013 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　昭和　54 年　3 月　18 日
②工事の完成予定年月日　平成　33 年　3 月　31 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

9，811 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　9，386 百万円）（消費税込み）

山陽自動車道吹田山口線（瀬戸JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

山陽自動車道　吹田山口線

（2） 工事の箇所

岡山県岡山市東区瀬戸町塩納

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
主要地方道佐伯長船線	岡山県岡山市東区瀬戸町塩納	立体接続	瀬戸ジャンクション（仮称）

（4） 工事予算

1，029 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　18 年　4 月　19 日
②工事の完成予定年月日　　平成　35 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，302 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，252 百万円）（消費税込み）

山陽自動車道吹田山口線（五日市JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

山陽自動車道　吹田山口線

（2） 工事の箇所

広島県広島市佐伯区五日市町大字石内

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道佐伯1区380号線	広島県広島市 佐伯区五日市町大字石内	平面接続	五日市ジャンクション（仮称）

（4） 工事予算

926 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　24 年　 5 月　 1 日
②工事の完成予定年月日　　平成　38 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，301 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，254 百万円）（消費税込み）

四国横断自動車道阿南四万十線（高知IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

四国横断自動車道　阿南四万十線

（2） 工事の箇所

高知県高知市一宮

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道55号	高知県高知市一宮	立体接続	高知インターチェンジ

（4） 工事予算

738 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　6 年　1 月　26 日
②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，083 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，046 百万円）（消費税込み）

九州横断自動車道長崎大分線（多久IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

九州横断自動車道　長崎大分線

（2） 工事の箇所

佐賀県多久市北多久町大字多久原

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道203号	佐賀県多久市 北多久町大字多久原	立体接続	多久インターチェンジ

（4） 工事予算

599 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　昭和　48 年　 9 月　29 日
②工事の完成予定年月日　　平成　38 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

919 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　888 百万円）（消費税込み）

九州横断自動車道長崎大分線（大分米良IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

九州横断自動車道　長崎大分線

（2） 工事の箇所

大分県大分市大字片島

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道10号	大分県大分市大字片島	立体接続	大分米良インターチェンジ

（4） 工事予算

776 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　2 年　5 月　15 日
②工事の完成予定年月日　　平成　38 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，254 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，214 百万円）（消費税込み）

東九州自動車道（弥生PA）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

東九州自動車道

（2） 工事の箇所

大分県佐伯市弥生大字床木

（3） 工事予算

1，458 百万円（消費税込み）

（4） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　10 年　1 月　20 日
②工事の完成予定年月日　　平成　34 年　3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，839 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1，764 百万円）（消費税込み）

西日本高速道路株式会社が管理する高速道路に係る

高速道路利便増進事業に関する計画（スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1．工事の内容及び工事に要する費用に係る債務引受限度額

（1） 工事予算

30，198 百万円（消費税込み）

（2） 工事に要する費用に係る債務引受限度額

37，609 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　百万円（消費税込み））

（3） 個別箇所に関する工事の内容及び工事に要する費用に係る債務引受限度額

個別箇所に関する工事の内容及び工事に要する費用に係る債務引受限度額は、下記のとおりとする。
ただし、工事予算及び債務引受限度額については、（1）工事予算及び（2）債務引受限度額の内数である。
また、工事完成後は精算額としている。

別　紙　1

（イ） 路線名	（ロ） 工事の箇所	（ハ）工事方法 他の道路との接続位置及び接続の方法			（ニ） 工事の着手および完成の予定年月日		（ホ） 工事予算 （消費税込み）	（へ） 債務引受 限度額 （消費税込み）	うち 助成対象 基準額 （消費税込み）	備考
		他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	工事の着手 年月日	工事の完成 予定年月日				
中央自動車道 西宮線	滋賀県東近 江市木村町	県道土山蒲 生近江八幡 線	滋賀県東近 江市木村町	立体接続	平成21年9月18日	平成25年12月22日 （供用開始） 平成26年　9月29日 （残事業完成）	1,848百万円	2,123百万円	―	本線 直結型
近畿自動車道 天理吹田線	奈良県大和 郡山市西町	県道天理斑 鳩線及び県 道大和郡山 広陵線	奈良県大和郡山 市椎木町及び奈 良県生駒郡安堵 町大字岡崎及び 奈良県大和郡山 市池沢町	立体接続	平成21年9月18日	平成26年　3月23日 （供用開始） 平成27年　3月　6日 （残事業完成）	2,516百万円	2,765百万円	―	本線 直結型
中国縦貫自動車道	兵庫県姫路 市夢前町	市道置塩13 4号線	兵庫県姫路 市夢前町	立体接続	平成21年9月18日	平成27年9月26日 （供用開始） 平成28年9月29日 （残事業完成）	2,604百万円	3,081百万円	―	本線 直結型
中国横断自動車道 岡山米子線	鳥取県西伯 郡伯耆町大 字岸本	町道岸本福 原線	鳥取県西伯郡 伯耆町大字久 古及び鳥取県 西伯郡伯耆町 大字岸本	立体接続	平成21年9月18日	平成23年　6月30日 （供用開始） 平成23年12月27日 （残事業完成）	233百万円	288百万円	―	大山 PA
九州縦貫自動車道 鹿児島線	福岡県宮若 市下有木	主要地方道 室木下有木 若宮線及び 市道壱町田・ 大谷線	福岡県宮若 市下有木	立体接続	平成21年9月18日	平成23年3月26日 （供用開始） 平成23年6月29日 （残事業完成）	941百万円	1,044百万円	―	本線 直結型
九州縦貫自動車道 鹿児島線	熊本県八代 郡氷川町高 塚	町道吉本本 山線	熊本県八代 郡氷川町高 塚	立体接続	平成21年9月18日	平成26年　3月29日 （供用開始） 平成27年　3月30日 （残事業完成）	1,720百万円	2,027百万円	―	本線 直結型
九州縦貫自動車道 鹿児島線	熊本県熊本 市北区改寄 町	市道鶴羽田 改寄町第1号 線及び市道 植木町広住 線	熊本県熊本 市北区植木 町石川及び 熊本県熊本 市北区改寄 町	立体接続	平成23年4月23日	平成31年3月31日	2,380百万円	3,028百万円	―	本線 直結型

別　紙　1

（イ） 路線名	（ロ） 工事の箇所	（ハ）工事方法 他の道路との接続位置及び接続の方法			（ニ） 工事の着手および完成の予定年月日		（ホ） 工事予算 （消費税込み）	（へ） 債務引受 限度額 （消費税込み）	うち 助成対象 基準額 （消費税込み）	備考
		他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	工事の着手 年月日	工事の完成 予定年月日				
近畿自動車道 名古屋神戸線	兵庫県宝塚 市玉瀬	市道宝塚北 インター線	兵庫県宝塚 市玉瀬	立体接続	平成24年5月17日	平成30年　3月18日 （供用開始） 平成32年　3月30日 （残事業完成）	449百万円	459百万円	―	宝塚北 SA
四国横断自動車道 阿南四万十線	徳島県板野 郡松茂町長 岸	町道松茂24 号線	徳島県板野 郡松茂町長 岸	立体接続	平成24年5月17日	平成27年　3月14日 （供用開始） 平成28年　3月30日 （残事業完成）	352百万円	412百万円	―	松茂 PA
九州縦貫自動車道 鹿児島線	熊本県熊本 市南区城南 町塚原	市道塚原第3 号線（仮称） 及び市道塚 原第4号線 （仮称）	熊本県熊本 市南区城南 町塚原	立体接続	平成24年5月17日	平成29年　7月　9日 （供用開始） 平成30年　6月30日 （残事業完成）	1,504百万円	1,894百万円	―	本線 直結型
九州横断自動車道 長崎大分線	長崎県大村 市木場一丁 目	市道上久原 芋堀手線	長崎県大村 市木場一丁 目	立体接続	平成24年5月17日	平成30年　3月18日 （供用開始） 平成31年　3月30日 （残事業完成）	2,336百万円	3,025百万円	―	大分方面： 本線直結型 長崎方面： 木場PA
九州横断自動車道 長崎大分線	佐賀県小城 市小城町松 尾	市道高速道 路接続線	佐賀県小城 市小城町松 尾	立体接続	平成24年5月17日	平成30年　3月31日 （供用開始） 平成31年　3月30日 （残事業完成）	1,104百万円	1,869百万円	―	小城 PA
東九州自動車道	福岡県行橋 市大字流末	市道東九州自 動車道側道4号 線（仮称）及び 市道東九州自 動車道側道3号 線（仮称）	福岡県行橋 市大字宝山 及び福岡県 行橋市大字 流末	立体接続	平成24年5月17日	平成26年12月13日 （供用開始） 平成27年12月12日 （残事業完成）	217百万円	244百万円	―	今川 PA
東九州自動車道	福岡県築上 郡上毛町大 字下唐原	町道音・穴ケ 葉山線	福岡県築上 郡上毛町大 字下唐原	立体接続	平成24年5月17日	平成27年　3月　1日 （供用開始） 平成28年　3月30日 （残事業完成）	350百万円	370百万円	―	上毛 PA

別　紙　1

（イ） 路線名	（ロ） 工事の箇所	（ハ）工事方法 他の道路との接続位置及び接続の方法			（ニ） 工事の着手および完成の予定年月日		（ホ） 工事予算 （消費税込み）	（へ） 債務引受 限度額 （消費税込み）	うち 助成対象 基準額 （消費税込み）	備考
		他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	工事の着手 年月日	工事の完成 予定年月日				
近畿自動車道 松原那智勝浦線	和歌山県和歌山市森小手穂	県道和歌山橋本線	和歌山県和歌山市森小手穂	立体接続	平成25年7月12日	平成31年3月31日	4,683百万円	5,537百万円	―	本線 直結型
山陽自動車道 吹田山口線	広島県福山市津之郷町大字津之郷	市道津之郷瀬戸幹線	広島県福山市津之郷町大字津之郷	立体接続	平成25年7月12日	平成30年3月31日 （供用開始） 平成31年3月30日 （残事業完成）	886百万円	1,198百万円	―	福山 SA
九州縦貫自動車道 鹿児島線	鹿児島県姶良市西餅田	市道サービスエリア線及び市道鍋倉～触田線	鹿児島県姶良市西餅田	立体接続	平成25年7月12日	平成31年3月31日	927百万円	1,430百万円	―	桜島 SA
九州縦貫自動車道 宮崎線	宮崎県都城市山之口町花木	市道山之口SA南通線及び市道山之口SA北通線	宮崎県都城市山之口町山之口及び花木	立体接続	平成25年7月12日	平成28年　9月24日 （供用開始） 平成29年　9月30日 （残事業完成）	685百万円	901百万円	―	山之口 SA
九州横断自動車道 長崎大分線	大分県由布市湯布院町塚原	市道高速側道11号線及び市道高速側道12号線	大分県由布市湯布院町塚原	立体接続	平成25年7月12日	平成28年11月27日 （供用開始） 平成29年　9月30日 （残事業完成）	912百万円	1,379百万円	―	由布岳 PA
東九州自動車道	宮崎県東臼杵郡門川町大字加草	町道門川南インター線	宮崎県東臼杵郡門川町大字加草	立体接続	平成25年7月12日	平成29年　3月25日 （供用開始） 平成29年12月30日 （残事業完成）	1,168百万円	1,495百万円	―	本線 直結型
東九州自動車道	宮崎県東諸県郡国富町大字岩知野	県道宮崎須木線	宮崎県東諸県郡国富町大字岩知野及び塚原	立体接続	平成25年7月12日	平成32年3月31日	2,383百万円	3,040百万円	―	本線 直結型

近畿自動車道松原那智勝浦線
（和歌山県御坊市野口から和歌山県田辺市稲成町まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　松原那智勝浦線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　和歌山県御坊市野口　　から
和歌山県田辺市稲成町　　まで
（なお、事業着手する区間については和歌山県御坊市野口から和歌山県日高郡印南町山口までとする。）

（ロ） 延　　長　　26．9 キロメートル　（9．5キロメートル）
※（　）内は、和歌山県御坊市野口から和歌山県日高郡印南町山口までを表す

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設　計　区　間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
和歌山県御坊市野口 から 和歌山県田辺市稲成町 まで	80	26．9	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
和歌山県御坊市 野口　から 和歌山県田辺市 稲成町　まで	4 車線	4 車線	4車線化

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．00	3．50	
トンネル部分	－	－	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分 （中小橋）	2．50×2	5．00	2．50	1．00	3．50	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．75×2	3．50	1．75	1．00	2．75	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
－	－	－	

（4） 工事予算

75，000 百万円（消費税込み）

（うち、和歌山県御坊市野口から和歌山県日高郡印南町山口までの工事予算　23，684 百万円（消費税込み））

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日　　平成　28　年　7　月　1　日
②工事の完成予定年月日　　平成　33　年　12　月　31　日

（なお、上記については和歌山県御坊市野口から和歌山県日高郡印南町山口までの工事の着手および完成の予定年月日を表す。）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

27，997 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　26，752 百万円）（消費税込み）
（なお、上記については和歌山県御坊市野口から和歌山県日高郡印南町山口までの債務引受限度額および助成対象基準額を表す。）

四国横断自動車道阿南四万十線

（徳島県鳴門市撫養町木津から香川県高松市前田東町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

四国横断自動車道　阿南四万十線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　徳島県鳴門市撫養町木津　　から
香川県高松市前田東町　　まで

（ロ） 延　　長　　51．8 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分

設 計 区 間	道路の区分	摘　要
徳島県鳴門市 撫養町木津　から 香川県さぬき市 津田町鶴羽　まで	第1種第2級	道路構造令
香川県さぬき市 津田町鶴羽　から 香川県高松市 前田東町　まで	第1種第3級	道路構造令

別　紙　1

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
徳島県鳴門市 撫養町木津　から 香川県さぬき市 津田町鶴羽　まで	100	36．2	
香川県さぬき市 津田町鶴羽　から 香川県高松市 前田東町　まで	80	15．6	

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
徳島県鳴門市 撫養町木津　から 香川県高松市 前田東町　まで	4 車線	4 車線	4車線化

別　紙　1

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

設計区間	構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
		左　側	計	左　側	右　側	計	
徳島県鳴門市 撫養町木津 から 香川県さぬき市 津田町鶴羽 まで	土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．25	3．75	
	トンネル部分	－	－	1．00	1．00	2．00	
	橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	2．50	1．25	3．75	
	橋梁高架部分 （長大橋）	－	－	1．75	1．25	3．00	
香川県さぬき市 津田町鶴羽 から 香川県高松市 前田東町 まで	土工（掘割）部分	2，50×2	5，00	2．50	1．00	3．50	
	トンネル部分	－	－	0．75	0．75	1．50	
	橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	2．50	1．00	3．50	
	橋梁高架部分 （長大橋）	－	－	1．75	1．00	2．75	

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

設 計 区 間	幅　員	摘　要
徳島県鳴門市 撫養町木津　から 香川県さぬき市 津田町鶴羽　まで	4．50メートル（土工部） 4．50メートル（橋梁部）	
香川県さぬき市 津田町鶴羽　から 香川県高松市 前田東町　まで	3．00メートル（土工部） 3．00メートル（橋梁部）	

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
―	―	―	

（4） 工事予算

75，912 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　24 年　 5 月　17 日
②工事の完成予定年月日　　平成　29 年　11 月　21 日（一部供用開始）
　　平成　31 年　 3 月　31 日（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

83，535 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　80，207 百万円）（消費税込み）

九州横断自動車道長崎大分線

（長崎県長崎市早坂町から長崎県長崎市中里町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

九州横断自動車道　長崎大分線

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　長崎県長崎市早坂町　　から
長崎県長崎市中里町　　まで

（ロ） 延　　長　　11．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
長崎県長崎市 早坂町　から 長崎県長崎市 中里町　まで	80	11．3	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
長崎県長崎市 早坂町　から 長崎県長崎市 中里町　まで	4 車線	4 車線	4車線化

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	2．50	1．00	3．50	
トンネル部分	－	－	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	2．50	1．00	3．50	
橋梁高架部分 （長大橋）	－	－	1．75	1．00	2．75	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
－	－	－	

（4） 工事予算

44，642 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　平成　24 年　5 月　17 日
②工事の完成予定年月日　平成　31 年　3 月　31 日（長崎芒塚～長崎多良見間）
平成　34 年　3 月　31 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

48，702 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　46，586 百万円）（消費税込み）

一般国道４２号（湯浅御坊道路）
（和歌山県御坊市野口から和歌山県有田郡有田川町天満まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道42号　（有料道路名 ： 湯浅御坊道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　和歌山県御坊市野口　から
和歌山県有田郡有田川町天満　まで

（ロ） 延　長　19．4 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
和歌山県御坊市野口 から 和歌山県有田郡有田川町天満 まで	80	19．4	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
和歌山県御坊市 野口　から 和歌山県有田郡 有田川町天満　まで	4 車線	4 車線	4車線化

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	1．75	1．00	2．75	
トンネル部分	－	－	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分 （中小橋）	1．75×2	3．50	1．75	1．00	2．75	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	1．25	1．00	2．25	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
－	－	－	－

（4） 工事予算

87，591 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成 25 年 7 月 12 日
②工事の完成予定年月日　平成 33 年 12 月 31 日

別　紙　1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

96，916 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　92，520 百万円）（消費税込み）

山陰自動車道鳥取益田線（出雲IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

山陰自動車道　鳥取益田線

（2） 工事の箇所

島根県出雲市知井宮町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道出雲インター線	島根県出雲市 知井宮町	立体接続	出雲インターチェンジ
一般国道9号 （出雲・湖陵道路）	島根県出雲市 知井宮町	平面接続	本線

（4） 工事予算

1,000 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　26 年　 9 月　 9 日
②工事の完成予定年月日　　平成　32 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1,112 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1,068 百万円）（消費税込み）

沖縄自動車道（幸地IC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

沖縄自動車道

（2） 工事の箇所

沖縄県中頭郡西原町字幸地

（3） 工事方法

（イ）他の道路との接続位置

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道　幸地インター線	沖縄県 中頭郡西原町字幸地	立体接続	幸地インターチェンジ（仮称）

別　紙　1

（4） 工事予算

1,387 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　26 年　 9 月　 9 日
②工事の完成予定年月日　　平成　33 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1,551 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　1,481 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道名古屋神戸線（新名神大津スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の箇所

滋賀県大津市大石龍門

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
県道　宇治田原大石東線	滋賀県大津市大石龍門	立体接続	新名神大津スマートインターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

426 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　26 年　 9 月　 9 日
②工事の完成予定年月日　　平成　36 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

494 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　－ 百万円）（消費税込み）

中国縦貫自動車道（湯田PAスマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中国縦貫自動車道

（2） 工事の箇所

山口県山口市吉田

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道湯田パーキング線	山口県山口市吉田	立体接続	湯田PAスマートインターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

2,596 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　26 年　 9 月　 9 日
②工事の完成予定年月日　　平成　32 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，894 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　－　百万円）（消費税込み）

山陽自動車道吹田山口線（沼田PAスマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

山陽自動車道吹田山口線

（2） 工事の箇所　　広島県広島市安佐南区沼田町大字伴

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道安佐南4区431号線　及び 市道安佐南4区803号線	広島県広島市安佐南区 沼田町大字伴	立体接続	沼田PAスマートインターチェンジ

（4） 工事予算

1,591 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　26 年　 9 月　 9 日
②工事の完成予定年月日　　平成　30 年　 3 月　21 日（供用開始）
　　平成　31 年　 3 月　30 日（残事業完成）

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，774 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　百万円）（消費税込み）

四国縦貫自動車道（中山スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

四国縦貫自動車道

（2） 工事の箇所

愛媛県伊予市双海町上灘

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道日尾野引坂線	愛媛県伊予市双海町上灘	立体接続	中山スマートインターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

1,388 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　26 年　 9 月　 9 日
②工事の完成予定年月日　　平成　32 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1，548 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　－　百万円）（消費税込み）

九州縦貫自動車道鹿児島線（人吉球磨スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

九州縦貫自動車道鹿児島線

（2） 工事の箇所

熊本県人吉市七地町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道スマートインターチェンジ第1号線及び市道スマートインターチェンジ第2号線	熊本県人吉市浪床町	立体接続	人吉球磨スマートインターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

3，143 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　26 年　 9 月　 9 日
②工事の完成予定年月日　　平成　31 年　 9 月　30 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

3，464 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　百万円）（消費税込み）

九州横断自動車道長崎大分線（別府湾スマートIC（上り線））に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

九州横断自動車道長崎大分線

（2） 工事の箇所

大分県別府市大字内竈

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道八石荷戸2号線	大分県別府市大字内竈	立体接続	別府湾スマートインターチェンジ（上り線）

（4） 工事予算

733 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　26 年　 9 月　 9 日
②工事の完成予定年月日　　平成　30 年　 9 月　30 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

814 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　－ 百万円）（消費税込み）

一般国道１号（淀川左岸線延伸部）
（大阪府門真市三ツ島一丁目から大阪府大阪市鶴見区緑地公園まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道1号　　（有料道路名 ： 淀川左岸線延伸部）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　大阪府門真市三ツ島一丁目　　から
大阪府大阪市鶴見区緑地公園　　まで

（ロ） 延　　長　　1．9 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分

設 計 区 間	道路の区分	摘　要
大阪府門真市 三ツ島一丁目　から 大阪府門真市 大字蕷島　まで	第1種第3級	
大阪府門真市 大字蕷島　から 大阪府大阪市 鶴見区緑地公園　まで	第2種第2級	

別　紙　1

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
大阪府門真市 三ツ島一丁目　から 大阪府門真市 大字蕷島　まで	80	0．8	
大阪府門真市 大字蕷島　から 大阪府大阪市 鶴見区緑地公園　まで	60	1．1	

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員

設 計 区 間	車線の幅員	摘　要
大阪府門真市 三ツ島一丁目　から 大阪府門真市 大字蕷島　まで	3．50メートル	
大阪府門真市 大字蕷島　から 大阪府大阪市 鶴見区緑地公園　まで	3．25メートル	

別　紙　1

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
大阪府門真市 三ツ島一丁目 から 大阪府門真市 大字蕪島 まで	4 車線	4 車線	
大阪府門真市 大字蕪島 から 大阪府大阪市 鶴見区緑地公園 まで	4 車線	4 車線	

別　紙　1

（へ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

設 計 区 間	構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
		左 側	計	左 側	右 側	計	
大阪府門真市三ツ島一丁目 から 大阪府門真市大字蒲島 まで	土工（掘割）部分	－	－	－	－	－	
	トンネル部分	－	－	－	－	－	
	橋梁高架部分（中小橋）	－	－	－	－	－	
	橋梁高架部分（長大橋）	2．50×2	5．00	－	－	－	
大阪府門真市大字蒲島 から 大阪府大阪市鶴見区緑地公園 まで	土工（掘割）部分	1．25×2	2．50	－	－	－	
	トンネル部分	－	－	－	－	－	
	橋梁高架部分（中小橋）	－	－	－	－	－	
	橋梁高架部分（長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

別　紙　1

（チ） 中央帯の標準幅員

設 計 区 間	中央帯の標準幅員	摘 要
大阪府門真市 三ツ島一丁目　から 大阪府門真市 大字蕷島　まで	―　メートル　（土工部） ２．25　メートル　（橋梁部）	
大阪府門真市 大字蕷島　から 大阪府大阪市 鶴見区緑地公園　まで	１．75　メートル　（土工部） １．75　メートル　（橋梁部）	

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道1号 （第二京阪道路）	大阪府門真市 三ツ島一丁目	平面接続	本線
近畿自動車道 天理吹田線	大阪府門真市大字蕷島 大阪府大阪市鶴見区茨田大宮二丁目	立体接続	門真ジャンクション
主要地方道　八尾茨木線	大阪府門真市大字蕷島	立体接続	門真西インターチェンジ（仮称）
一般国道1号 （淀川左岸線延伸部）	大阪府大阪市 鶴見区緑地公園	平面接続	本線（直轄・阪神高速）

別　紙　1

（4） 工事予算

60，000 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成 29 年 6 月 7 日
②工事の完成予定年月日　平成 44 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

87，418 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　83，433 百万円）（消費税込み）

一般国道1号（油小路線）（京都南JCT）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道1号
（有料道路名：油小路線）

（2） 工事の箇所

京都府京都市伏見区竹田真幡木町

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
中央自動車道　西宮線	京都府京都市伏見区竹田真幡木町	立体接続	京都南ジャンクション（仮称）

（4） 工事予算

30，273 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日　　平成　31 年　 4 月　 1 日
②工事の完成予定年月日　　平成　41 年　 3 月　31 日

※本事業については、都市計画決定の上、事業の着手を行うものとする。

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

39，446 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　37，696 百万円）（消費税込み）

一般国道２６号（堺泉北道路）
（大阪府堺市中区平井から大阪府高石市綾園まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道26号　（有料道路名 ： 堺泉北道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　大阪府堺市中区平井　から
大阪府高石市綾園　まで

（ロ） 延　長　4．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　第 4 種 第 1 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
大阪府堺市中区平井 から 大阪府高石市綾園 まで	60	4．7	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
大阪府堺市 中区平井　から 大阪府高石市 綾園　まで	4 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	－	－	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	0．75×2	1．5	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　ー　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
１．５０　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
近畿自動車道松原那智勝浦線	大阪府堺市中区平井	立体接続	堺ジャンクション
府道泉大津美原線	大阪府堺市中区平井	立体接続	平井出入口
府道泉大津美原線	大阪府堺市西区太平寺	立体接続	太平寺出入口
府道泉大津美原線	大阪府堺市西区菱木	立体接続	菱木出入口
府道泉大津美原線	大阪府高石市取石	立体接続	取石出入口
府道和泉大津美原線	大阪府高石市綾園	平面接続	本線

別　紙　1

（4） 工事予算

5，449 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　30　年　3　月　31　日
②工事の完成予定年月日　　平成　30　年　3　月　31　日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

5，470 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　－ 百万円）（消費税込み）

一般国道165号（南阪奈道路）
（大阪府堺市美原区丹上から大阪府羽曳野市蔵之内まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道165号　（有料道路名 ： 南阪奈道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　大阪府堺市美原区丹上　から
大阪府羽曳野市蔵之内　まで

（ロ） 延　長　4．6 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
大阪府堺市美原区丹上 から 大阪府羽曳野市蔵之内 まで	80	4．6	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ニ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
大阪府堺市 美原区丹上　から 大阪府羽曳野市 蔵之内　まで	4 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　ー　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

３．００　メートル　（土工部）
３．００　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
近畿自動車道松原那智勝浦線	大阪府堺市美原区丹上	立体接続	美原ジャンクション
府道泉大津美原線	大阪府堺市美原区丹上	立体接続	美原インターチェンジ
府道美原太子線	大阪府堺市美原区小平尾	立体接続	美原東インターチェンジ
府道美原太子線	大阪府羽曳野市蔵之内	立体接続	羽曳野インターチェンジ
一般国道165号（南阪奈道路）	大阪府羽曳野市蔵之内	平面接続	本線

別　紙　1

（4） 工事予算

32，246 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　30　年　3　月　31　日
②工事の完成予定年月日　　平成　30　年　3　月　31　日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

32，331 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　－ 百万円）（消費税込み）

近畿自動車道名古屋神戸線（城陽スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

近畿自動車道　名古屋神戸線

（2） 工事の箇所

京都府城陽市富野長谷山

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道　城陽スマートインター線(仮称)	京都府城陽市富野長谷山	立体接続	城陽スマートインターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

2，697 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　29 年　 9 月　22 日
②工事の完成予定年月日　　平成　36 年　 3 月　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

3，194 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　－ 百万円）（消費税込み）

中国横断自動車道尾道松江線（加茂BSスマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

中国横断自動車道　尾道松江線

（2） 工事の箇所

島根県雲南市加茂町三代

（3） 工事方法

（イ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
市道　加茂インター線（仮称）	島根県雲南市加茂町三代	立体接続	加茂BSスマートインターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

2，065 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成　29 年　 9 月　22 日
②工事の完成予定年月日　　平成　34 年　 6 月　30 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，399 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　－ 百万円）（消費税込み）

別紙１－Ｗ－１２１

一般国道2号（第二神明道路）

（兵庫県神戸市西区伊川谷町井吹から兵庫県神戸市西区平野町中津まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道2号　　（有料道路名 ： 第二神明道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　兵庫県神戸市西区伊川谷町井吹　　から
兵庫県神戸市西区平野町中津　　まで

（ロ） 延　　長　　6．2 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
兵庫県神戸市西区 伊川谷町井吹　から 兵庫県神戸市西区 平野町中津　まで	80	6．2	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
兵庫県神戸市西区 伊川谷町井吹　から 兵庫県神戸市西区 平野町中津　まで	4 車線	4 車線	

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	2．50×2	5．00	－	―	－	
トンネル部分	―	―	―	―	―	
橋梁高架部分（中小橋）	2．50×2	5．00	－	―	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．75×2	3．50	－	―	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　―　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

3．00　メートル　（土工部）
3．00　メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
一般国道2号 （第二神明道路）	兵庫県神戸市西区 伊川谷町井吹	平面接続	永井谷ジャンクション
兵庫県道高速北神戸線 （阪神高速7号北神戸線）	兵庫県神戸市西区 伊川谷町井吹	立体接続	永井谷ジャンクション
一般国道2号	兵庫県神戸市西区 伊川谷町別府	立体接続	永井谷インターチェンジ（仮称）
一般国道2号	兵庫県神戸市西区 櫨谷町菅野	立体接続	櫨谷インターチェンジ（仮称）
一般国道2号	兵庫県神戸市西区 平野町向井	立体接続	平野東インターチェンジ（仮称）
一般国道175号	兵庫県神戸市西区 平野町下村	立体接続	平野西インターチェンジ（仮称）
一般国道2号 （第二神明道路）	兵庫県神戸市西区 平野町中津	立体接続	石ケ谷ジャンクション（仮称）

（4） 工事予算

40，000 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日　　平成　30　年　5　月　1　日

・ なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　37　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

47，973 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　45，766 百万円）（消費税込み）

一般国道１０号（延岡南道路）

（宮崎県延岡市石田町から宮崎県延岡市伊形町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道10号
（有料道路名 ： 延岡南道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　宮崎県延岡市石田町　　から
宮崎県延岡市伊形町　　まで

（ロ） 延　　長　　0．7 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 2 級（道路構造令）
・なお、暫定施工時は、第1種第3級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
宮崎県延岡市石田町　から 宮崎県延岡市伊形町　まで	100	0．7	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（二） 車線の幅員　　3．50　メートル

（ホ） 車線数

設　計　区　間	工事施工	用地買収	摘　要
宮崎県延岡市石田町　から 宮崎県延岡市伊形町　まで	2 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	－	－	－	
トンネル部分	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分（中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	－	－	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

－　メートル　（土工部）
－　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道10号（延岡道路）	宮崎県延岡市石田町	平面接続	本線
一般国道10号	宮崎県延岡市伊形町	立体接続	延岡南インターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

2，054 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日　　平成　30　年　5　月　1　日
②工事の完成予定年月日　　平成　33　年　3　月　31　日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

2，573 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　2，468 百万円）（消費税込み）

一般国道１０号（隼人道路）

（鹿児島県霧島市隼人町住吉から鹿児島県姶良市加治木町反土まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道10号

（有料道路名　:隼人道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　鹿児島県霧島市隼人町住吉　　から
鹿児島県姶良市加治木町反土　　まで

（ロ） 延　　長　　7．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
鹿児島県霧島市隼人町住吉 から 鹿児島県姶良市加治木町反土 まで	80	7．3	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50　メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
鹿児島県霧島市隼人町住吉 から 鹿児島県姶良市加治木町反土 まで	4 車線	4 車線	4車線化

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	1．75	1．00	2．75	
トンネル部分	－	－	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分（中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．25×2	2．50	1．25	1．00	2．25	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

3．00 メートル　（土工部）
3．00 メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
―	―	―	

（4） 工事予算

24，821 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日　　平成　30　年　5　月　1　日

・なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　37　年　3　月　31　日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

30，087 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　28，734 百万円）（消費税込み）

一般国道２４号（京奈和自動車道（大和北道路））

（奈良県奈良市歌姫町から奈良県奈良市八条三丁目まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道24号　（有料道路名 ： 京奈和自動車道路（大和北道路））

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　奈良県奈良市歌姫町　から
奈良県奈良市八条三丁目　まで

（ロ） 延　長　6．1 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
奈良県奈良市歌姫町 から 奈良県奈良市八条三丁目 まで	80	6．1	

別　紙　1

（二） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（へ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
奈良県奈良市歌姫町 から 奈良県奈良市八条三丁目 まで	4 車線	4 車線	

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	1．25×2	2．50	－	－	－	
トンネル部分	－	－	1．25	0．75	2．0	
橋梁高架部分（中小橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

1．50　メートル　（土工部）
1．50　メートル　（橋梁部）

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道24号（京奈和自動車道（京奈道路））	奈良県奈良市歌姫町	平面接続	本線
一般国道24号	奈良県奈良市左京五丁目	立体接続	奈良北インターチェンジ（仮称）
（都）西九条佐保線	奈良県奈良市八条三丁目	立体接続	奈良インターチェンジ（仮称）

（4） 工事予算

76，886 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日

イ　奈良県奈良市歌姫町（STA6+00）から奈良県奈良市法華寺町（STA28+29）まで
平成　30　年　5　月　1　日

ロ　奈良県奈良市法華寺町（STA28+29）から奈良県奈良市八条三丁目（STA67+26）まで
平成　39　年　10　月　1　日

・なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　45　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

101，182 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　96，519 百万円）（消費税込み）

一般国道２４号（京奈和自動車道（大和北道路））

（奈良県奈良市八条三丁目から奈良県大和郡山市横田町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道24号　（有料道路名 ： 京奈和自動車道路（大和北道路））

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　奈良県奈良市八条三丁目　から
奈良県大和郡山市横田町　まで

（ロ） 延　長　6．3 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度（キロメートル/時）	延　長（キロメートル）	摘　要
奈良県奈良市八条三丁目 から 奈良県大和郡山市横田町 まで	80	6．3	

別　紙　1

（二） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50 メートル

（へ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
奈良県奈良市八条三丁目 から 奈良県大和郡山市横田町 まで	4 車線	4 車線	

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	1．25×2	2．50	―	―	―	
トンネル部分	―	―	―	―	―	
橋梁高架部分（中小橋）	1．25×2	2．50	―	―	―	
橋梁高架部分（長大橋）	1．25×2	2．50	―	―	―	

別　紙　1

（チ） 付加車線の標準幅員　　ー　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

1．50　メートル　（土工部）
1．50　メートル　（橋梁部）

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
（都）西九条佐保線	奈良県奈良市八条三丁目	立体接続	奈良インターチェンジ（仮称）
一般国道24号	奈良県奈良市杏町	立体接続	大和郡山北インターチェンジ（北）（仮称）
一般国道24号	奈良県大和郡山市美濃庄町	立体接続	大和郡山北インターチェンジ（南）（仮称）
一般国道24号	奈良県大和郡山市横田町	立体接続	大和郡山インターチェンジ（仮称）
一般国道24号（京奈和自動車道（大和御所道路））	奈良県大和郡山市横田町	平面接続	郡山下ツ道ジャンクション
西名阪自動車道	奈良県大和郡山市横田町	立体接続	郡山下ツ道ジャンクション

別　紙　1

（4） 工事予算

44，261 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日

イ　奈良県奈良市八条三丁目（STA67+26）から奈良県大和郡山市美濃庄町（STA99+21）まで
平成　37　年　4　月　1　日

ロ　奈良県大和郡山市美濃庄町（STA99+21）から奈良県大和郡山市横田町（STA130+32）まで
平成　30　年　5　月　1　日

・なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　40　年　3　月　31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

55，974 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　53，423 百万円）（消費税込み）

一般国道１６３号（第二阪奈道路）
（大阪府東大阪市西石切町から奈良県奈良市宝来町まで）に関する
工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道163号　（有料道路名 ： 第二阪奈道路）

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　大阪府東大阪市西石切町　　から
奈良県奈良市宝来町　　まで

（ロ） 延　　長　　13．4 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

（ロ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
大阪府東大阪市 西石切町　から 奈良県奈良市 宝来町　まで	60	13．4	

別　紙　1

（ハ） 設計自動車荷重　　TL－20ｔ及び 25ｔ

（二） 車線の幅員　　3．5 メートル

（ホ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
大阪府東大阪市 西石切町　から 奈良県奈良市 宝来町　まで	4 車線	4 車線	

（ヘ） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工（掘割）部分	1．25×2	2．50	－	－	－	
トンネル部分	－	－	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分 （中小橋）	－	－	－	－	－	
橋梁高架部分 （長大橋）	1．25×2	2．50	－	－	－	

別　紙　1

（ト） 付加車線の標準幅員　　ー　メートル

（チ） 中央帯の標準幅員

2．25　メートル　（土工部）
2．25　メートル　（橋梁部）

（リ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　考
一般国道163号	東大阪市西石切町	平面接続	本線
一般国道308号	東大阪市西石切町	立体接続	西石切ランプ
一般国道168号（奈良西幹線）	生駒市壱分町	立体接続	壱分ランプ
都市計画道路菜畑乙田線	生駒市小瀬町	立体接続	小瀬ランプ
都市計画道路高山富雄小泉線	奈良市中町	立体接続	中町ランプ
奈良県道奈良生駒線	奈良市宝来町	平面接続	宝来ランプ

（4） 工事予算

95，667 百万円（消費税込み）

別　紙　1

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手年月日　　平成３１　年３　月31　日
②工事の完成予定年月日　　平成３１　年３　月31　日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

96，110 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　－ 百万円）（消費税込み）

一般国道４９７号（西九州自動車道（佐世保道路））

（長崎県北松浦郡佐々町沖田免から長崎県佐世保市大塔町まで）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道497号

（有料道路名　:西九州自動車道（佐世保道路））

（2） 工事の区間

（イ） 工事の区間　　長崎県北松浦郡佐々町沖田免　　から
長崎県佐世保市大塔町　　まで

（ロ） 延　　長　　16．9 キロメートル

（3） 工事方法

（イ） 事業方式　　一般国道事業と有料道路事業による事業方式

（ロ） 道路の区分　　第 1 種 第 3 級（道路構造令）

別　紙　1

（ハ） 設計速度

設 計 区 間	設計速度 （キロメートル/時）	延　長 （キロメートル）	摘　要
長崎県北松浦郡佐々町沖田免 から 長崎県佐世保市大塔町 まで	80	16．9	

（ニ） 設計自動車荷重　　245kN（B活荷重）

（ホ） 車線の幅員　　3．50　メートル

（ヘ） 車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
長崎県北松浦郡佐々町沖田免 から 長崎県佐世保市大塔町 まで	4 車線	4 車線	4車線化

別　紙　1

（ト） 路肩の標準幅員

（単位：メートル）

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左　側	計	左　側	右　側	計	
土工（掘割）部分	1．75×2	3．50	1．75	1．00	2．75	
トンネル部分	－	－	0．75	0．75	1．50	
橋梁高架部分（中小橋）	1．75×2	3．50	－	－	－	
橋梁高架部分（長大橋）	1．25×2	2．50	1．25	1．00	2．25	

（チ） 付加車線の標準幅員　　－　メートル

（リ） 中央帯の標準幅員

3．00 メートル　（土工部）
3．00 メートル　（橋梁部）

別　紙　1

（ヌ） 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備　　考
―	―	―	

（4） 工事予算

89，149 百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手予定年月日　　平成　30　年　5　月　1　日

・なお、一般国道事業と有料道路事業による事業方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が一般国道事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

②工事の完成予定年月日　　平成　40　年　3　月　31　日

2．工事に要する費用に係る債務引受限度額

118，039 百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　112，730 百万円）（消費税込み）

本州四国連絡高速道路株式会社が管理する高速道路に係る

高速道路利便増進事業に関する計画（スマートIC)に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容及び工事に要する費用に係る債務引受限度額

（1） 工事予算

1,426　百万円（消費税込み）

（2） 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1,606　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　　百万円（消費税込み））

（3） 個別箇所に関する工事の内容及び工事に要する費用に係る債務引受限度額

個別箇所に関する工事の内容及び工事に要する費用に係る債務引受限度額は、下記のとおりとする。
ただし、工事予算及び債務引受限度額については、（1）工事予算及び（2）債務引受限度額の内数である。
また、工事完成後は精算額としている。

（イ）路線名	（ロ）工事の箇所	（ハ）工事方法 他の道路との接続位置及び接続の方法			（ニ）工事の着手及び完成の予定年月日		（ホ）工事予算（消費税込み）	（ヘ）債務引受限度額（消費税込み）	うち助成対象基準額（消費税込み）	備考
		他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	工事の着手年月日	工事の完成予定年月日				
一般国道28号（本州四国連絡道路（神戸・鳴門ルート））	兵庫県洲本市	市道中川原インター東線・同西線	兵庫県洲本市	立体接続	平成25年7月1日	平成30年2月17日（供用開始） 平成31年3月30日（残事業完成）	1，426百万円	1，606百万円	―	本線直結型

別紙1-H-2

一般国道30号（本州四国連絡道路（児島・坂出ルート））（坂出北スマートIC）に関する

工事の内容 及び 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別　紙　1

1. 工事の内容

（1） 路線名

一般国道30号（本州四国連絡道路（児島・坂出ルート））

（2） 工事の箇所

香川県坂出市

（3） 工事方法

（イ） ほかの道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備考
県道瀬居坂出港線	香川県坂出市	立体接続	（仮称）坂出北スマートインターチェンジ

別　紙　1

（4） 工事予算

3,103　百万円（消費税込み）

（5） 工事の着手および完成の予定年月日

①工事の着手（予定）年月日　　平成　　29 年　　9 月　　1 日

②工事の完成予定年月日　　平成　　37 年　　3 月　　31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

3,634　百万円（消費税込み）

（うち、助成対象基準額　　―　百万円）（消費税込み）

別紙３－１から別紙３－４を次のとおり改める。

別紙３－１

修繕に係る工事に要する費用に係る債務引受限度額

（消費税込み）

年度	債務引受限度額
Ｈ１８	24,213百万円
Ｈ１９	25,071百万円
Ｈ２０	24,580百万円
Ｈ２１	37,064百万円
Ｈ２２	50,385百万円
Ｈ２３	34,989百万円
Ｈ２４	33,071百万円
Ｈ２５	41,256百万円
Ｈ２６	68,784百万円
Ｈ２７	95,856百万円
Ｈ２８	88,927百万円
Ｈ２９	105,896百万円
Ｈ３０	148,183百万円
Ｈ３１	116,842百万円
Ｈ３２	201,396百万円
Ｈ３３	130,469百万円
Ｈ３４	51,186百万円
Ｈ３５	66,056百万円
Ｈ３６	51,701百万円
Ｈ３７	51,829百万円
Ｈ３８	52,628百万円
Ｈ３９	52,883百万円
Ｈ４０	52,998百万円
Ｈ４１	53,301百万円
Ｈ４２	191,721百万円
Ｈ４３	54,082百万円
Ｈ４４	54,500百万円
Ｈ４５	53,513百万円
Ｈ４６	54,414百万円
Ｈ４７	53,146百万円
Ｈ４８	53,739百万円
Ｈ４９	54,002百万円
Ｈ５０	53,058百万円
Ｈ５１	52,906百万円
Ｈ５２	52,912百万円
Ｈ５３	52,895百万円
Ｈ５４	53,298百万円
Ｈ５５	53,232百万円
Ｈ５６	52,395百万円
Ｈ５７	51,701百万円
Ｈ５８	51,680百万円
Ｈ５９	51,616百万円
Ｈ６０	52,530百万円
Ｈ６１	51,272百万円
Ｈ６２	51,699百万円
Ｈ６３	51,813百万円
Ｈ６４	51,813百万円
Ｈ６５	51,813百万円
Ｈ６６	51,813百万円
Ｈ６７	51,813百万円
Ｈ６８	51,813百万円
Ｈ６９	51,813百万円
Ｈ７０	51,813百万円
Ｈ７１	48,465百万円

（注1）平成１８年度から平成２８年度までは実績値を、平成２９年度は実績見込値を記載している。

（注2）上記記載の債務引受限度額については、限度額に残余が生じた場合は、繰り越しを認めるものとする。

別紙３－２

修繕に係る工事に要する費用に係る債務引受限度額

（消費税込み）

年度	債務引受限度額
Ｈ１８	14,696百万円
Ｈ１９	24,995百万円
Ｈ２０	27,416百万円
Ｈ２１	32,076百万円
Ｈ２２	21,467百万円
Ｈ２３	19,581百万円
Ｈ２４	31,785百万円
Ｈ２５	48,923百万円
Ｈ２６	33,108百万円
Ｈ２７	106,065百万円
Ｈ２８	59,505百万円
Ｈ２９	68,448百万円
Ｈ３０	90,280百万円
Ｈ３１	104,489百万円
Ｈ３２	138,242百万円
Ｈ３３	104,150百万円
Ｈ３４	40,521百万円
Ｈ３５	53,264百万円
Ｈ３６	129,439百万円
Ｈ３７	37,832百万円
Ｈ３８	38,410百万円
Ｈ３９	38,203百万円
Ｈ４０	38,167百万円
Ｈ４１	38,265百万円
Ｈ４２	39,803百万円
Ｈ４３	38,985百万円
Ｈ４４	40,494百万円
Ｈ４５	39,188百万円
Ｈ４６	40,464百万円
Ｈ４７	38,917百万円
Ｈ４８	39,013百万円
Ｈ４９	39,303百万円
Ｈ５０	38,821百万円
Ｈ５１	38,866百万円
Ｈ５２	38,879百万円
Ｈ５３	38,872百万円
Ｈ５４	38,904百万円
Ｈ５５	39,279百万円
Ｈ５６	38,727百万円
Ｈ５７	38,600百万円
Ｈ５８	38,747百万円
Ｈ５９	38,860百万円
Ｈ６０	40,121百万円
Ｈ６１	38,466百万円
Ｈ６２	38,852百万円
Ｈ６３	38,904百万円
Ｈ６４	38,954百万円
Ｈ６５	39,433百万円
Ｈ６６	38,847百万円
Ｈ６７	38,701百万円
Ｈ６８	38,645百万円
Ｈ６９	38,584百万円
Ｈ７０	38,656百万円
Ｈ７１	35,975百万円

（注1）平成１８年度から平成２８年度までは実績値を、平成２９年度は実績見込値を記載している。

（注2）上記記載の債務引受限度額については、限度額に残余が生じた場合は、繰り越しを認めるものとする。

別紙３－３

修繕に係る工事に要する費用に係る債務引受限度額

（消費税込み）

年度	債務引受限度額
Ｈ１８	16,786百万円
Ｈ１９	24,426百万円
Ｈ２０	25,020百万円
Ｈ２１	26,890百万円
Ｈ２２	37,352百万円
Ｈ２３	37,947百万円
Ｈ２４	42,569百万円
Ｈ２５	55,252百万円
Ｈ２６	79,077百万円
Ｈ２７	68,933百万円
Ｈ２８	83,973百万円
Ｈ２９	91,033百万円
Ｈ３０	119,266百万円
Ｈ３１	159,762百万円
Ｈ３２	202,123百万円
Ｈ３３	223,196百万円
Ｈ３４	47,674百万円
Ｈ３５	46,155百万円
Ｈ３６	42,754百万円
Ｈ３７	60,350百万円
Ｈ３８	43,776百万円
Ｈ３９	43,842百万円
Ｈ４０	43,467百万円
Ｈ４１	44,116百万円
Ｈ４２	45,319百万円
Ｈ４３	46,145百万円
Ｈ４４	47,600百万円
Ｈ４５	48,277百万円
Ｈ４６	50,289百万円
Ｈ４７	48,947百万円
Ｈ４８	49,275百万円
Ｈ４９	49,536百万円
Ｈ５０	50,461百万円
Ｈ５１	50,537百万円
Ｈ５２	50,890百万円
Ｈ５３	51,051百万円
Ｈ５４	50,753百万円
Ｈ５５	51,050百万円
Ｈ５６	50,383百万円
Ｈ５７	49,668百万円
Ｈ５８	49,661百万円
Ｈ５９	50,410百万円
Ｈ６０	51,028百万円
Ｈ６１	49,957百万円
Ｈ６２	50,542百万円
Ｈ６３	51,150百万円
Ｈ６４	51,243百万円
Ｈ６５	51,315百万円
Ｈ６６	51,330百万円
Ｈ６７	50,459百万円
Ｈ６８	50,712百万円
Ｈ６９	50,368百万円
Ｈ７０	50,465百万円
Ｈ７１	47,223百万円

（注1）平成１８年度から平成２８年度までは実績値を、平成２９年度は実績見込値を記載している。

（注2）上記記載の債務引受限度額については、限度額に残余が生じた場合は、繰り越しを認めるものとする。

別紙３－４

修繕に係る工事に要する費用に係る債務引受限度額

（消費税込み）

年度	債務引受限度額
Ｈ１８	1,135百万円
Ｈ１９	4,509百万円
Ｈ２０	4,337百万円
Ｈ２１	5,665百万円
Ｈ２２	5,438百万円
Ｈ２３	4,197百万円
Ｈ２４	3,663百万円
Ｈ２５	8,767百万円
Ｈ２６	11,343百万円
Ｈ２７	12,181百万円
Ｈ２８	6,958百万円
Ｈ２９	10,039百万円
Ｈ３０	14,640百万円
Ｈ３１	11,788百万円
Ｈ３２	14,073百万円
Ｈ３３	20,012百万円
Ｈ３４	8,840百万円
Ｈ３５	9,188百万円
Ｈ３６	9,105百万円
Ｈ３７	8,711百万円
Ｈ３８	8,602百万円
Ｈ３９	7,256百万円
Ｈ４０	7,199百万円
Ｈ４１	6,937百万円
Ｈ４２	7,075百万円
Ｈ４３	6,881百万円
Ｈ４４	6,940百万円
Ｈ４５	6,877百万円
Ｈ４６	6,747百万円
Ｈ４７	6,672百万円
Ｈ４８	6,521百万円
Ｈ４９	6,335百万円
Ｈ５０	6,502百万円
Ｈ５１	6,353百万円
Ｈ５２	6,748百万円
Ｈ５３	6,715百万円
Ｈ５４	6,660百万円
Ｈ５５	6,296百万円
Ｈ５６	6,551百万円
Ｈ５７	6,183百万円
Ｈ５８	6,276百万円
Ｈ５９	6,488百万円
Ｈ６０	6,735百万円
Ｈ６１	6,456百万円
Ｈ６２	6,552百万円
Ｈ６３	7,141百万円
Ｈ６４	7,396百万円
Ｈ６５	7,594百万円
Ｈ６６	7,348百万円
Ｈ６７	7,531百万円
Ｈ６８	7,425百万円
Ｈ６９	7,305百万円
Ｈ７０	7,133百万円
Ｈ７１	6,908百万円

（注1）平成１８年度から平成２８年度までは実績値を、平成２９年度は実績見込値を記載している。

（注2）上記記載の債務引受限度額については、限度額に残余が生じた場合は、繰り越しを認めるものとする。

別紙４－１から別紙４－４を次のとおり改める。

別紙４－１

災害復旧に要する費用に係る債務引受限度額

（消費税込み）

債務引受限度額	86,358百万円

別紙４－２

災害復旧に要する費用に係る債務引受限度額

（消費税込み）

債務引受限度額	81,427百万円

別紙４－３

災害復旧に要する費用に係る債務引受限度額

（消費税込み）

債務引受限度額	73,790百万円

別紙４－４

災害復旧に要する費用に係る債務引受限度額

（消費税込み）

債務引受限度額	12,364百万円

別紙５－１から別紙５－４を次のとおり改める。

別紙５－１

東日本高速道路株式会社に対する無利子貸付けの貸付計画

年度	無利子貸付計画額
H26	9百万円
H27	214百万円
H28	671百万円
H29	1,455百万円
H30	2,640百万円
H31	1,020百万円
H32	4,474百万円
H33	882百万円
H34	892百万円
H35	0百万円
H36	0百万円
H37	0百万円
H38	0百万円
H39	0百万円
H40	0百万円
H41	0百万円
H42	0百万円
H43	0百万円
H44	0百万円
H45	0百万円
H46	0百万円
H47	0百万円
H48	0百万円
H49	0百万円
H50	0百万円
H51	0百万円
H52	0百万円
H53	0百万円
H54	0百万円
H55	0百万円
H56	0百万円
H57	0百万円
H58	0百万円
H59	0百万円
H60	0百万円
H61	0百万円
H62	0百万円
H63	0百万円
H64	0百万円
H65	0百万円
H66	0百万円
H67	0百万円
H68	0百万円
H69	0百万円
H70	0百万円
H71	0百万円

（注1）平成２６年度から平成２８年度までは実績値を，
平成２９年度は実績見込値を記載している。

別紙５－２

中日本高速道路株式会社に対する無利子貸付けの貸付計画

年度	無利子貸付計画額
H26	8百万円
H27	119百万円
H28	310百万円
H29	845百万円
H30	1,159百万円
H31	3,010百万円
H32	2,243百万円
H33	806百万円
H34	0百万円
H35	0百万円
H36	0百万円
H37	0百万円
H38	0百万円
H39	0百万円
H40	0百万円
H41	0百万円
H42	0百万円
H43	0百万円
H44	0百万円
H45	0百万円
H46	0百万円
H47	0百万円
H48	0百万円
H49	0百万円
H50	0百万円
H51	0百万円
H52	0百万円
H53	0百万円
H54	0百万円
H55	0百万円
H56	0百万円
H57	0百万円
H58	0百万円
H59	0百万円
H60	0百万円
H61	0百万円
H62	0百万円
H63	0百万円
H64	0百万円
H65	0百万円
H66	0百万円
H67	0百万円
H68	0百万円
H69	0百万円
H70	0百万円
H71	0百万円

（注1）平成２６年度から平成２８年度までは実績値を，
平成２９年度は実績見込値を記載している。

別紙５－３

西日本高速道路株式会社に対する無利子貸付けの貸付計画

年度	無利子貸付計画額
H26	17百万円
H27	114百万円
H28	276百万円
H29	1,112百万円
H30	1,356百万円
H31	1,757百万円
H32	551百万円
H33	787百万円
H34	504百万円
H35	429百万円
H36	0百万円
H37	0百万円
H38	0百万円
H39	0百万円
H40	0百万円
H41	0百万円
H42	0百万円
H43	0百万円
H44	0百万円
H45	0百万円
H46	0百万円
H47	0百万円
H48	0百万円
H49	0百万円
H50	0百万円
H51	0百万円
H52	0百万円
H53	0百万円
H54	0百万円
H55	0百万円
H56	0百万円
H57	0百万円
H58	0百万円
H59	0百万円
H60	0百万円
H61	0百万円
H62	0百万円
H63	0百万円
H64	0百万円
H65	0百万円
H66	0百万円
H67	0百万円
H68	0百万円
H69	0百万円
H70	0百万円
H71	0百万円

（注1）平成２６年度から平成２８年度までは実績値を，
平成２９年度は実績見込値を記載している。

別紙５－４

本州四国連絡高速道路株式会社に対する無利子貸付けの貸付計画

年度	無利子貸付計画額
H29	6百万円
H30	12百万円
H31	60百万円
H32	96百万円
H33	205百万円
H34	420百万円
H35	468百万円
H36	284百万円
H37	0百万円
H38	0百万円
H39	0百万円
H40	0百万円
H41	0百万円
H42	0百万円
H43	0百万円
H44	0百万円
H45	0百万円
H46	0百万円
H47	0百万円
H48	0百万円
H49	0百万円
H50	0百万円
H51	0百万円
H52	0百万円
H53	0百万円
H54	0百万円
H55	0百万円
H56	0百万円
H57	0百万円
H58	0百万円
H59	0百万円
H60	0百万円
H61	0百万円
H62	0百万円
H63	0百万円
H64	0百万円
H65	0百万円
H66	0百万円
H67	0百万円
H68	0百万円
H69	0百万円
H70	0百万円
H71	0百万円

（注1）平成２９年度は実績見込値を記載している。

別紙６－１から別紙６－４を次のとおり改める。

東日本高速道路株式会社に対する道路資産の貸付料

（消費税込み）

年度	貸付料				
		うち土地・家屋分	うち構造物等分		
				うち盛土・切土・のり面構築物等分	うち橋梁・トンネル等分
Ｈ１８	（ 551,875百万円 ） 551,875百万円	（ 63,667百万円 ） 47,550百万円	（ 379,925百万円 ） 391,645百万円	（ 127,702百万円 ） 111,107百万円	（ 252,223百万円 ） 280,538百万円
Ｈ１９	（ 559,192百万円 ） 558,180百万円	（ 67,965百万円 ） 51,619百万円	（ 405,577百万円 ） 425,162百万円	（ 136,324百万円 ） 120,616百万円	（ 269,253百万円 ） 304,546百万円
Ｈ２０	（ 555,373百万円 ） 522,469百万円	（ 68,941百万円 ） 49,115百万円	（ 411,402百万円 ） 404,532百万円	（ 138,282百万円 ） 114,763百万円	（ 273,120百万円 ） 289,769百万円
Ｈ２１	（ 449,377百万円 ） 420,422百万円	（ 55,670百万円 ） 39,424百万円	（ 332,204百万円 ） 324,717百万円	（ 111,662百万円 ） 92,120百万円	（ 220,542百万円 ） 232,597百万円
Ｈ２２	（ 447,103百万円 ） 414,736百万円	（ 54,937百万円 ） 34,125百万円	（ 327,833百万円 ） 281,068百万円	（ 110,193百万円 ） 79,737百万円	（ 217,640百万円 ） 201,331百万円
Ｈ２３	（ 436,821百万円 ） 400,681百万円	（ 39,902百万円 ） 36,286百万円	（ 328,653百万円 ） 298,870百万円	（ 93,237百万円 ） 84,788百万円	（ 235,416百万円 ） 214,082百万円
Ｈ２４	（ 429,007百万円 ） 471,361百万円	（ 38,674百万円 ） 42,912百万円	（ 318,541百万円 ） 353,445百万円	（ 90,368百万円 ） 100,270百万円	（ 228,173百万円 ） 253,175百万円
Ｈ２５	（ 430,686百万円 ） 484,935百万円	（ 32,447百万円 ） 41,206百万円	（ 267,253百万円 ） 339,394百万円	（ 75,818百万円 ） 96,284百万円	（ 191,435百万円 ） 243,110百万円
Ｈ２６	（ 516,202百万円 ） 605,006百万円	（ 38,687百万円 ） 50,781百万円	（ 318,649百万円 ） 418,260百万円	（ 90,399百万円 ） 118,658百万円	（ 228,250百万円 ） 299,602百万円
Ｈ２７	（ 518,644百万円 ） 628,371百万円	（ 39,437百万円 ） 53,140百万円	（ 324,824百万円 ） 437,691百万円	（ 92,151百万円 ） 124,170百万円	（ 232,673百万円 ） 313,521百万円
Ｈ２８	（ 566,074百万円 ） 626,183百万円	（ 40,169百万円 ） 53,492百万円	（ 330,850百万円 ） 440,591百万円	（ 93,860百万円 ） 124,993百万円	（ 236,990百万円 ） 315,598百万円
Ｈ２９	（ 596,278百万円 ） 622,953百万円	（ 35,238百万円 ） 50,750百万円	（ 290,238百万円 ） 418,002百万円	（ 82,339百万円 ） 118,585百万円	（ 207,899百万円 ） 299,417百万円
Ｈ３０	547,466百万円	24,581百万円	202,465百万円	57,438百万円	145,027百万円
Ｈ３１	561,441百万円	37,456百万円	308,502百万円	87,520百万円	220,982百万円
Ｈ３２	562,318百万円	27,045百万円	222,755百万円	63,194百万円	159,561百万円
Ｈ３３	583,923百万円	36,240百万円	298,488百万円	84,679百万円	213,809百万円
Ｈ３４	581,687百万円	44,980百万円	370,475百万円	105,102百万円	265,373百万円
Ｈ３５	581,077百万円	44,533百万円	366,793百万円	104,057百万円	262,736百万円
Ｈ３６	588,963百万円	46,096百万円	379,667百万円	107,709百万円	271,958百万円
Ｈ３７	593,873百万円	46,298百万円	381,334百万円	108,182百万円	273,152百万円
Ｈ３８	600,422百万円	46,950百万円	386,702百万円	109,705百万円	276,997百万円
Ｈ３９	603,082百万円	47,613百万円	392,166百万円	111,255百万円	280,911百万円
Ｈ４０	602,907百万円	48,170百万円	396,754百万円	112,557百万円	284,197百万円
Ｈ４１	604,872百万円	49,040百万円	403,921百万円	114,590百万円	289,331百万円
Ｈ４２	604,534百万円	41,225百万円	339,548百万円	96,328百万円	243,220百万円
Ｈ４３	597,585百万円	54,301百万円	447,248百万円	126,882百万円	320,366百万円
Ｈ４４	588,278百万円	53,328百万円	439,233百万円	124,608百万円	314,625百万円
Ｈ４５	582,171百万円	52,815百万円	435,015百万円	123,411百万円	311,604百万円
Ｈ４６	573,796百万円	51,887百万円	427,369百万円	121,242百万円	306,127百万円
Ｈ４７	566,615百万円	51,296百万円	422,497百万円	119,860百万円	302,637百万円
Ｈ４８	557,216百万円	50,296百万円	414,262百万円	117,524百万円	296,738百万円
Ｈ４９	548,999百万円	49,447百万円	407,274百万円	115,541百万円	291,733百万円
Ｈ５０	540,837百万円	48,725百万円	401,326百万円	113,854百万円	287,472百万円
Ｈ５１	534,520百万円	48,108百万円	396,244百万円	112,412百万円	283,832百万円
Ｈ５２	523,455百万円	47,001百万円	387,122百万円	109,824百万円	277,298百万円
Ｈ５３	516,246百万円	46,281百万円	381,195百万円	108,143百万円	273,052百万円
Ｈ５４	508,106百万円	45,426百万円	374,156百万円	106,146百万円	268,010百万円
Ｈ５５	501,718百万円	44,794百万円	368,945百万円	104,667百万円	264,278百万円
Ｈ５６	491,738百万円	43,879百万円	361,410百万円	102,530百万円	258,880百万円
Ｈ５７	482,550百万円	43,029百万円	354,410百万円	100,544百万円	253,866百万円
Ｈ５８	475,306百万円	42,306百万円	348,457百万円	98,855百万円	249,602百万円
Ｈ５９	468,858百万円	41,668百万円	343,197百万円	97,363百万円	245,834百万円
Ｈ６０	458,955百万円	40,585百万円	334,282百万円	94,834百万円	239,448百万円
Ｈ６１	450,796百万円	39,895百万円	328,595百万円	93,220百万円	235,375百万円
Ｈ６２	441,583百万円	38,931百万円	320,652百万円	90,967百万円	229,685百万円
Ｈ６３	436,513百万円	38,412百万円	316,380百万円	89,755百万円	226,625百万円
Ｈ６４	426,712百万円	37,431百万円	308,303百万円	87,464百万円	220,839百万円
Ｈ６５	418,458百万円	36,605百万円	301,500百万円	85,534百万円	215,966百万円
Ｈ６６	410,639百万円	35,823百万円	295,056百万円	83,706百万円	211,350百万円
Ｈ６７	403,107百万円	35,069百万円	288,850百万円	81,945百万円	206,905百万円
Ｈ６８	394,651百万円	34,223百万円	281,881百万円	79,968百万円	201,913百万円
Ｈ６９	386,590百万円	33,417百万円	275,239百万円	78,084百万円	197,155百万円
Ｈ７０	378,338百万円	32,591百万円	268,438百万円	76,154百万円	192,284百万円
Ｈ７１	300,168百万円	25,110百万円	206,817百万円	58,673百万円	148,144百万円

（注1）平成１８年度から平成２８年度までの上段（　）内は計画値、下段は実績値を、平成２９年度の上段（　）内は計画値、下段は実績見込値を記載している。

中日本高速道路株式会社に対する道路資産の貸付料

（消費税込み）

年度	貸付料				
		うち土地・家屋分	うち構造物等分		
				うち盛土・切土・のり面構築物等分	うち橋梁・トンネル等分
Ｈ１８	(472,195百万円) 484,094百万円	(86,431百万円) 74,294百万円	(307,137百万円) 316,083百万円	(81,338百万円) 69,250百万円	(225,799百万円) 246,833百万円
Ｈ１９	(482,966百万円) 484,615百万円	(96,496百万円) 80,890百万円	(342,904百万円) 344,144百万円	(90,810百万円) 75,398百万円	(252,094百万円) 268,746百万円
Ｈ２０	(466,881百万円) 456,343百万円	(94,180百万円) 76,802百万円	(334,674百万円) 326,751百万円	(88,630百万円) 71,587百万円	(246,044百万円) 255,164百万円
Ｈ２１	(355,494百万円) 329,680百万円	(70,563百万円) 54,376百万円	(250,751百万円) 231,341百万円	(66,405百万円) 50,684百万円	(184,346百万円) 180,657百万円
Ｈ２２	(350,323百万円) 340,782百万円	(69,626百万円) 52,677百万円	(247,421百万円) 224,113百万円	(65,524百万円) 49,100百万円	(181,897百万円) 175,012百万円
Ｈ２３	(352,605百万円) 355,511百万円	(57,106百万円) 57,620百万円	(242,956百万円) 245,142百万円	(53,229百万円) 53,708百万円	(189,727百万円) 191,434百万円
Ｈ２４	(346,816百万円) 365,770百万円	(55,233百万円) 58,584百万円	(234,987百万円) 249,243百万円	(51,483百万円) 54,606百万円	(183,504百万円) 194,637百万円
Ｈ２５	(348,386百万円) 376,626百万円	(44,204百万円) 53,781百万円	(188,066百万円) 228,811百万円	(41,203百万円) 50,130百万円	(146,863百万円) 178,682百万円
Ｈ２６	(441,426百万円) 496,478百万円	(62,649百万円) 77,803百万円	(266,540百万円) 331,014百万円	(58,396百万円) 72,521百万円	(208,144百万円) 258,492百万円
Ｈ２７	(454,427百万円) 516,780百万円	(63,317百万円) 71,890百万円	(269,384百万円) 305,855百万円	(59,019百万円) 67,009百万円	(210,365百万円) 238,846百万円
Ｈ２８	(487,216百万円) 517,367百万円	(71,833百万円) 77,156百万円	(305,612百万円) 328,260百万円	(66,956百万円) 71,918百万円	(238,656百万円) 256,342百万円
Ｈ２９	(501,944百万円) 516,193百万円	(60,359百万円) 76,386百万円	(256,796百万円) 324,983百万円	(56,261百万円) 71,200百万円	(200,535百万円) 253,783百万円
Ｈ３０	475,020百万円	45,013百万円	191,508百万円	41,957百万円	149,551百万円
Ｈ３１	489,958百万円	53,280百万円	226,678百万円	49,662百万円	177,016百万円
Ｈ３２	489,307百万円	44,907百万円	191,057百万円	41,858百万円	149,199百万円
Ｈ３３	503,837百万円	54,165百万円	230,442百万円	50,487百万円	179,955百万円
Ｈ３４	509,212百万円	66,889百万円	284,578百万円	62,348百万円	222,230百万円
Ｈ３５	510,849百万円	64,851百万円	275,906百万円	60,448百万円	215,458百万円
Ｈ３６	508,067百万円	50,100百万円	213,149百万円	46,698百万円	166,451百万円
Ｈ３７	508,762百万円	65,606百万円	279,120百万円	61,152百万円	217,968百万円
Ｈ３８	510,311百万円	66,156百万円	281,459百万円	61,664百万円	219,795百万円
Ｈ３９	512,452百万円	66,300百万円	282,074百万円	61,799百万円	220,275百万円
Ｈ４０	511,188百万円	64,599百万円	274,836百万円	60,213百万円	214,623百万円
Ｈ４１	510,785百万円	71,649百万円	304,828百万円	66,784百万円	238,044百万円
Ｈ４２	509,216百万円	82,848百万円	352,476百万円	77,223百万円	275,253百万円
Ｈ４３	503,070百万円	81,907百万円	348,471百万円	76,346百万円	272,125百万円
Ｈ４４	496,429百万円	80,466百万円	342,343百万円	75,003百万円	267,340百万円
Ｈ４５	491,000百万円	79,738百万円	339,243百万円	74,324百万円	264,919百万円
Ｈ４６	484,720百万円	78,402百万円	333,561百万円	73,079百万円	260,482百万円
Ｈ４７	479,983百万円	77,839百万円	331,163百万円	72,554百万円	258,609百万円
Ｈ４８	471,192百万円	76,268百万円	324,481百万円	71,090百万円	253,391百万円
Ｈ４９	465,156百万円	75,150百万円	319,725百万円	70,048百万円	249,677百万円
Ｈ５０	459,034百万円	74,153百万円	315,484百万円	69,119百万円	246,365百万円
Ｈ５１	453,995百万円	73,255百万円	311,660百万円	68,281百万円	243,379百万円
Ｈ５２	445,718百万円	71,790百万円	305,428百万円	66,916百万円	238,512百万円
Ｈ５３	439,438百万円	70,681百万円	300,711百万円	65,882百万円	234,829百万円
Ｈ５４	433,663百万円	69,655百万円	296,345百万円	64,926百万円	231,419百万円
Ｈ５５	429,033百万円	68,770百万円	292,581百万円	64,101百万円	228,480百万円
Ｈ５６	421,358百万円	67,511百万円	287,226百万円	62,928百万円	224,298百万円
Ｈ５７	414,594百万円	66,338百万円	282,235百万円	61,834百万円	220,401百万円
Ｈ５８	408,426百万円	65,222百万円	277,487百万円	60,794百万円	216,693百万円
Ｈ５９	403,741百万円	64,374百万円	273,880百万円	60,004百万円	213,876百万円
Ｈ６０	396,319百万円	62,840百万円	267,351百万円	58,573百万円	208,778百万円
Ｈ６１	390,527百万円	62,109百万円	264,240百万円	57,892百万円	206,348百万円
Ｈ６２	383,796百万円	60,851百万円	258,888百万円	56,719百万円	202,169百万円
Ｈ６３	378,583百万円	59,920百万円	254,930百万円	55,852百万円	199,078百万円
Ｈ６４	370,898百万円	58,553百万円	249,114百万円	54,578百万円	194,536百万円
Ｈ６５	364,062百万円	57,261百万円	243,614百万円	53,373百万円	190,241百万円
Ｈ６６	357,193百万円	56,150百万円	238,890百万円	52,338百万円	186,552百万円
Ｈ６７	351,415百万円	55,155百万円	234,655百万円	51,410百万円	183,245百万円
Ｈ６８	343,831百万円	53,824百万円	228,995百万円	50,170百万円	178,825百万円
Ｈ６９	337,274百万円	52,676百万円	224,111百万円	49,100百万円	175,011百万円
Ｈ７０	330,834百万円	51,526百万円	219,214百万円	48,027百万円	171,187百万円
Ｈ７１	259,575百万円	39,413百万円	167,681百万円	36,737百万円	130,944百万円

（注1）平成１８年度から平成２８年度までの上段（　）内は計画値、下段は実績値を、平成２９年度の上段（　）内は計画値、下段は実績見込値を記載している。

西日本高速道路株式会社に対する道路資産の貸付料

（消費税込み）

年度	貸付料				
		うち土地・家屋分	うち構造物等分		
				うち盛土・切土・のり面構築物等分	うち橋梁・トンネル等分
Ｈ１８	(499,925百万円) 510,013百万円	(69,628百万円) 74,784百万円	(332,649百万円) 357,283百万円	(107,706百万円) 115,682百万円	(224,943百万円) 241,601百万円
Ｈ１９	(509,334百万円) 509,334百万円	(76,047百万円) 79,849百万円	(363,317百万円) 381,483百万円	(117,636百万円) 123,517百万円	(245,681百万円) 257,966百万円
Ｈ２０	(502,022百万円) 485,996百万円	(75,381百万円) 76,489百万円	(360,133百万円) 365,426百万円	(116,605百万円) 118,318百万円	(243,528百万円) 247,108百万円
Ｈ２１	(399,934百万円) 381,671百万円	(58,960百万円) 61,193百万円	(281,681百万円) 292,353百万円	(91,203百万円) 94,659百万円	(190,478百万円) 197,694百万円
Ｈ２２	(410,838百万円) 403,375百万円	(61,473百万円) 60,260百万円	(293,688百万円) 287,895百万円	(95,091百万円) 93,215百万円	(198,597百万円) 194,680百万円
Ｈ２３	(395,853百万円) 410,885百万円	(58,087百万円) 45,466百万円	(277,511百万円) 289,436百万円	(89,853百万円) 78,667百万円	(187,658百万円) 210,769百万円
Ｈ２４	(395,037百万円) 424,597百万円	(58,201百万円) 47,363百万円	(278,058百万円) 301,509百万円	(90,030百万円) 81,949百万円	(188,028百万円) 219,560百万円
Ｈ２５	(397,607百万円) 442,443百万円	(35,890百万円) 41,477百万円	(228,473百万円) 264,040百万円	(62,098百万円) 71,765百万円	(166,375百万円) 192,275百万円
Ｈ２６	(488,754百万円) 557,169百万円	(47,742百万円) 56,249百万円	(303,924百万円) 358,080百万円	(82,605百万円) 97,325百万円	(221,319百万円) 260,755百万円
Ｈ２７	(489,117百万円) 571,084百万円	(51,375百万円) 61,589百万円	(327,049百万円) 392,073百万円	(88,890百万円) 106,564百万円	(238,159百万円) 285,509百万円
Ｈ２８	(538,594百万円) 570,996百万円	(46,825百万円) 50,863百万円	(298,084百万円) 323,788百万円	(81,018百万円) 88,004百万円	(217,066百万円) 235,784百万円
Ｈ２９	(546,571百万円) 564,875百万円	(43,129百万円) 57,248百万円	(274,555百万円) 364,439百万円	(74,623百万円) 99,053百万円	(199,932百万円) 265,386百万円
Ｈ３０	500,053百万円	26,954百万円	171,586百万円	46,636百万円	124,950百万円
Ｈ３１	534,530百万円	36,228百万円	230,625百万円	62,683百万円	167,942百万円
Ｈ３２	529,670百万円	29,368百万円	186,954百万円	50,813百万円	136,141百万円
Ｈ３３	535,770百万円	26,434百万円	168,278百万円	45,737百万円	122,541百万円
Ｈ３４	534,285百万円	46,403百万円	295,399百万円	80,288百万円	215,111百万円
Ｈ３５	537,529百万円	46,366百万円	295,160百万円	80,223百万円	214,937百万円
Ｈ３６	535,741百万円	46,963百万円	298,964百万円	81,257百万円	217,707百万円
Ｈ３７	535,397百万円	45,044百万円	286,749百万円	77,937百万円	208,812百万円
Ｈ３８	534,334百万円	47,275百万円	300,950百万円	81,797百万円	219,153百万円
Ｈ３９	534,974百万円	48,454百万円	308,457百万円	83,837百万円	224,620百万円
Ｈ４０	536,138百万円	50,688百万円	322,674百万円	87,701百万円	234,973百万円
Ｈ４１	540,246百万円	53,681百万円	341,730百万円	92,881百万円	248,849百万円
Ｈ４２	538,425百万円	61,360百万円	390,613百万円	106,167百万円	284,446百万円
Ｈ４３	532,321百万円	60,496百万円	385,115百万円	104,673百万円	280,442百万円
Ｈ４４	526,305百万円	59,565百万円	379,189百万円	103,062百万円	276,127百万円
Ｈ４５	522,075百万円	58,954百万円	375,296百万円	102,004百万円	273,292百万円
Ｈ４６	518,673百万円	58,279百万円	371,000百万円	100,836百万円	270,164百万円
Ｈ４７	514,686百万円	57,950百万円	368,903百万円	100,266百万円	268,637百万円
Ｈ４８	506,388百万円	56,875百万円	362,060百万円	98,406百万円	263,654百万円
Ｈ４９	497,250百万円	55,703百万円	354,604百万円	96,380百万円	258,224百万円
Ｈ５０	488,115百万円	54,450百万円	346,624百万円	94,211百万円	252,413百万円
Ｈ５１	481,552百万円	53,622百万円	341,356百万円	92,779百万円	248,577百万円
Ｈ５２	472,802百万円	52,488百万円	334,136百万円	90,817百万円	243,319百万円
Ｈ５３	467,119百万円	51,760百万円	329,500百万円	89,557百万円	239,943百万円
Ｈ５４	461,018百万円	51,037百万円	324,896百万円	88,305百万円	236,591百万円
Ｈ５５	456,579百万円	50,447百万円	321,139百万円	87,284百万円	233,855百万円
Ｈ５６	448,746百万円	49,553百万円	315,454百万円	85,739百万円	229,715百万円
Ｈ５７	441,144百万円	48,695百万円	309,991百万円	84,254百万円	225,737百万円
Ｈ５８	436,739百万円	48,147百万円	306,502百万円	83,306百万円	223,196百万円
Ｈ５９	433,354百万円	47,632百万円	303,223百万円	82,415百万円	220,808百万円
Ｈ６０	425,756百万円	46,608百万円	296,705百万円	80,643百万円	216,062百万円
Ｈ６１	417,203百万円	45,676百万円	290,769百万円	79,030百万円	211,739百万円
Ｈ６２	410,339百万円	44,748百万円	284,860百万円	77,424百万円	207,436百万円
Ｈ６３	404,438百万円	43,936百万円	279,696百万円	76,020百万円	203,676百万円
Ｈ６４	395,889百万円	42,860百万円	272,841百万円	74,157百万円	198,684百万円
Ｈ６５	388,873百万円	41,976百万円	267,218百万円	72,629百万円	194,589百万円
Ｈ６６	381,819百万円	41,095百万円	261,609百万円	71,104百万円	190,505百万円
Ｈ６７	376,175百万円	40,501百万円	257,823百万円	70,075百万円	187,748百万円
Ｈ６８	367,535百万円	39,392百万円	250,769百万円	68,158百万円	182,611百万円
Ｈ６９	360,389百万円	38,545百万円	245,373百万円	66,691百万円	178,682百万円
Ｈ７０	352,934百万円	37,604百万円	239,382百万円	65,063百万円	174,319百万円
Ｈ７１	234,643百万円	23,272百万円	148,151百万円	40,267百万円	107,884百万円

（注1）平成１８年度から平成２８年度までの上段（　）内は計画値、下段は実績値を、平成２９年度の上段（　）内は計画値、下段は実績見込値を記載している。

別紙６－４

本州四国連絡高速道路株式会社に対する道路資産の貸付料

（消費税込み）

年度	貸付料				
		うち土地・家屋分		うち構築物等分	
				うち盛土・切土・のり面構造物等分	うち橋梁・トンネル等分
H18	（ 58,545 百万円 ） 60,704 百万円	（ 2,489 百万円 ） 2,597 百万円	（ 47,289 百万円 ） 49,340 百万円	（ 4,629 百万円 ） 4,830 百万円	（ 42,660 百万円 ） 44,510 百万円
H19	（ 57,759 百万円 ） 60,308 百万円	（ 2,450 百万円 ） 2,577 百万円	（ 46,542 百万円 ） 48,964 百万円	（ 4,556 百万円 ） 4,793 百万円	（ 41,986 百万円 ） 44,171 百万円
H20	（ 54,980 百万円 ） 56,415 百万円	（ 2,311 百万円 ） 2,382 百万円	（ 43,902 百万円 ） 45,266 百万円	（ 4,298 百万円 ） 4,431 百万円	（ 39,604 百万円 ） 40,835 百万円
H21	（ 37,795 百万円 ） 37,631 百万円	（ 1,451 百万円 ） 1,443 百万円	（ 27,577 百万円 ） 27,421 百万円	（ 2,700 百万円 ） 2,685 百万円	（ 24,877 百万円 ） 24,736 百万円
H22	（ 37,196 百万円 ） 38,520 百万円	（ 1,421 百万円 ） 1,473 百万円	（ 27,008 百万円 ） 27,978 百万円	（ 2,644 百万円 ） 2,739 百万円	（ 24,364 百万円 ） 25,239 百万円
H23	（ 37,523 百万円 ） 45,129 百万円	（ 1,572 百万円 ） 1,990 百万円	（ 27,087 百万円 ） 34,275 百万円	（ 2,093 百万円 ） 2,649 百万円	（ 24,994 百万円 ） 31,626 百万円
H24	（ 40,644 百万円 ） 48,011 百万円	（ 1,777 百万円 ） 2,181 百万円	（ 30,655 百万円 ） 37,618 百万円	（ 2,367 百万円 ） 2,904 百万円	（ 28,288 百万円 ） 34,714 百万円
H25	（ 39,461 百万円 ） 48,943 百万円	（ 1,712 百万円 ） 2,232 百万円	（ 29,537 百万円 ） 38,499 百万円	（ 2,280 百万円 ） 2,972 百万円	（ 27,257 百万円 ） 35,527 百万円
H26	（ 46,375 百万円 ） 47,677 百万円	（ 2,073 百万円 ） 2,144 百万円	（ 35,812 百万円 ） 37,043 百万円	（ 2,762 百万円 ） 2,857 百万円	（ 33,050 百万円 ） 34,186 百万円
H27	（ 44,210 百万円 ） 49,086 百万円	（ 1,954 百万円 ） 2,218 百万円	（ 33,734 百万円 ） 38,346 百万円	（ 2,594 百万円 ） 2,946 百万円	（ 31,140 百万円 ） 35,400 百万円
H28	（ 44,264 百万円 ） 48,948 百万円	（ 1,957 百万円 ） 2,209 百万円	（ 33,841 百万円 ） 38,219 百万円	（ 2,600 百万円 ） 2,934 百万円	（ 31,241 百万円 ） 35,285 百万円
H29	（ 43,834 百万円 ） 46,822 百万円	（ 1,917 百万円 ） 2,081 百万円	（ 33,171 百万円 ） 35,995 百万円	（ 2,546 百万円 ） 2,763 百万円	（ 30,625 百万円 ） 33,232 百万円
H30	42,459 百万円	1,842 百万円	31,871 百万円	2,447 百万円	29,424 百万円
H31	40,950 百万円	1,760 百万円	30,444 百万円	2,337 百万円	28,107 百万円
H32	39,764 百万円	1,695 百万円	29,323 百万円	2,251 百万円	27,072 百万円
H33	39,119 百万円	1,660 百万円	28,713 百万円	2,204 百万円	26,509 百万円
H34	37,623 百万円	1,578 百万円	27,299 百万円	2,096 百万円	25,203 百万円
H35	36,775 百万円	1,532 百万円	26,497 百万円	2,034 百万円	24,463 百万円
H36	56,118 百万円	2,589 百万円	44,783 百万円	3,438 百万円	41,345 百万円
H37	55,469 百万円	2,553 百万円	44,170 百万円	3,391 百万円	40,779 百万円
H38	54,815 百万円	2,518 百万円	43,551 百万円	3,343 百万円	40,208 百万円
H39	54,284 百万円	2,489 百万円	43,049 百万円	3,305 百万円	39,744 百万円
H40	53,274 百万円	2,433 百万円	42,095 百万円	3,232 百万円	38,863 百万円
H41	52,665 百万円	2,400 百万円	41,519 百万円	3,187 百万円	38,332 百万円
H42	51,961 百万円	2,362 百万円	40,853 百万円	3,136 百万円	37,717 百万円
H43	51,251 百万円	2,323 百万円	40,182 百万円	3,085 百万円	37,097 百万円
H44	50,429 百万円	2,278 百万円	39,405 百万円	3,025 百万円	36,380 百万円
H45	49,747 百万円	2,241 百万円	38,760 百万円	2,976 百万円	35,784 百万円
H46	48,881 百万円	2,193 百万円	37,942 百万円	2,913 百万円	35,029 百万円
H47	48,434 百万円	2,169 百万円	37,519 百万円	2,880 百万円	34,639 百万円
H48	47,664 百万円	2,127 百万円	36,791 百万円	2,824 百万円	33,967 百万円
H49	46,933 百万円	2,087 百万円	36,100 百万円	2,771 百万円	33,329 百万円
H50	46,144 百万円	2,044 百万円	35,354 百万円	2,714 百万円	32,640 百万円
H51	45,811 百万円	2,026 百万円	35,039 百万円	2,690 百万円	32,349 百万円
H52	44,806 百万円	1,971 百万円	34,089 百万円	2,617 百万円	31,472 百万円
H53	44,280 百万円	1,942 百万円	33,592 百万円	2,579 百万円	31,013 百万円
H54	43,836 百万円	1,918 百万円	33,172 百万円	2,547 百万円	30,625 百万円
H55	43,562 百万円	1,903 百万円	32,913 百万円	2,527 百万円	30,386 百万円
H56	42,889 百万円	1,866 百万円	32,277 百万円	2,478 百万円	29,799 百万円
H57	42,271 百万円	1,832 百万円	31,693 百万円	2,433 百万円	29,260 百万円
H58	41,875 百万円	1,810 百万円	31,319 百万円	2,404 百万円	28,915 百万円
H59	41,558 百万円	1,793 百万円	31,019 百万円	2,381 百万円	28,638 百万円
H60	40,992 百万円	1,762 百万円	30,484 百万円	2,340 百万円	28,144 百万円
H61	40,109 百万円	1,714 百万円	29,649 百万円	2,276 百万円	27,373 百万円
H62	39,731 百万円	1,693 百万円	29,292 百万円	2,249 百万円	27,043 百万円
H63	39,463 百万円	1,679 百万円	29,038 百万円	2,229 百万円	26,809 百万円
H64	38,691 百万円	1,636 百万円	28,309 百万円	2,173 百万円	26,136 百万円
H65	38,077 百万円	1,603 百万円	27,728 百万円	2,129 百万円	25,599 百万円
H66	37,468 百万円	1,570 百万円	27,152 百万円	2,084 百万円	25,068 百万円
H67	37,005 百万円	1,544 百万円	26,715 百万円	2,051 百万円	24,664 百万円
H68	36,256 百万円	1,503 百万円	26,007 百万円	1,996 百万円	24,011 百万円
H69	35,661 百万円	1,471 百万円	25,444 百万円	1,953 百万円	23,491 百万円
H70	35,063 百万円	1,438 百万円	24,879 百万円	1,910 百万円	22,969 百万円
H71	25,267 百万円	934 百万円	16,152 百万円	1,240 百万円	14,912 百万円

（注1）平成18年度から平成28年度までの上段（ ）内は計画値、下段は実績値を、平成29年度の上段（ ）内は計画値、下段は実績見込値を記載している。

別紙７－１から別紙７－４を次のとおり改める。

東日本高速道路株式会社における計画料金収入

別紙７－１

（消費税込み）

年度	計画料金収入
Ｈ１８	(709,612百万円) 711,810百万円
Ｈ１９	(722,190百万円) 713,956百万円
Ｈ２０	(719,683百万円) 679,582百万円
Ｈ２１	(613,220百万円) 578,132百万円
Ｈ２２	(621,266百万円) 582,686百万円
Ｈ２３	(607,061百万円) 564,850百万円
Ｈ２４	(604,468百万円) 652,866百万円
Ｈ２５	(607,533百万円) 667,857百万円
Ｈ２６	(700,369百万円) 796,177百万円
Ｈ２７	(710,760百万円) 827,595百万円
Ｈ２８	(778,089百万円) 845,979百万円
Ｈ２９	(800,738百万円) 835,420百万円
Ｈ３０	754,151百万円
Ｈ３１	773,067百万円
Ｈ３２	776,199百万円
Ｈ３３	789,916百万円
Ｈ３４	794,162百万円
Ｈ３５	794,864百万円
Ｈ３６	802,739百万円
Ｈ３７	808,203百万円
Ｈ３８	813,195百万円
Ｈ３９	815,594百万円
Ｈ４０	814,641百万円
Ｈ４１	815,824百万円
Ｈ４２	815,973百万円
Ｈ４３	807,880百万円
Ｈ４４	797,854百万円
Ｈ４５	790,970百万円
Ｈ４６	782,484百万円
Ｈ４７	776,109百万円
Ｈ４８	765,513百万円
Ｈ４９	757,026百万円
Ｈ５０	748,538百万円
Ｈ５１	742,070百万円
Ｈ５２	731,565百万円
Ｈ５３	723,078百万円
Ｈ５４	714,592百万円
Ｈ５５	708,030百万円
Ｈ５６	697,620百万円
Ｈ５７	689,134百万円
Ｈ５８	680,645百万円
Ｈ５９	673,992百万円
Ｈ６０	663,672百万円
Ｈ６１	655,186百万円
Ｈ６２	646,700百万円
Ｈ６３	640,362百万円
Ｈ６４	630,545百万円
Ｈ６５	622,467百万円
Ｈ６６	614,388百万円
Ｈ６７	607,962百万円
Ｈ６８	598,233百万円
Ｈ６９	590,155百万円
Ｈ７０	582,077百万円
Ｈ７１	538,498百万円

（注１）平成１８年度から平成２８年度までの上段（　）内は計画値、下段は実績値を、平成２９年度の上段（　）内は計画値、下段は実績見込値を記載している。

中日本高速道路株式会社における計画料金収入

別紙７－２

（消費税込み）

年度	計画料金収入
Ｈ１８	（ 589,562百万円 ） 607,357百万円
Ｈ１９	（ 599,122百万円 ） 606,762百万円
Ｈ２０	（ 585,472百万円 ） 569,080百万円
Ｈ２１	（ 477,225百万円 ） 446,639百万円
Ｈ２２	（ 475,906百万円 ） 461,606百万円
Ｈ２３	（ 474,594百万円 ） 482,245百万円
Ｈ２４	（ 476,380百万円 ） 500,097百万円
Ｈ２５	（ 480,109百万円 ） 513,150百万円
Ｈ２６	（ 579,896百万円 ） 640,747百万円
Ｈ２７	（ 599,015百万円 ） 667,358百万円
Ｈ２８	（ 641,255百万円 ） 677,818百万円
Ｈ２９	（ 656,484百万円 ） 677,298百万円
Ｈ３０	636,015百万円
Ｈ３１	654,611百万円
Ｈ３２	654,220百万円
Ｈ３３	661,391百万円
Ｈ３４	665,723百万円
Ｈ３５	666,834百万円
Ｈ３６	663,571百万円
Ｈ３７	662,252百万円
Ｈ３８	663,373百万円
Ｈ３９	665,604百万円
Ｈ４０	663,838百万円
Ｈ４１	663,534百万円
Ｈ４２	662,076百万円
Ｈ４３	656,063百万円
Ｈ４４	649,555百万円
Ｈ４５	644,539百万円
Ｈ４６	638,014百万円
Ｈ４７	633,210百万円
Ｈ４８	624,964百万円
Ｈ４９	618,439百万円
Ｈ５０	611,913百万円
Ｈ５１	607,038百万円
Ｈ５２	598,863百万円
Ｈ５３	592,339百万円
Ｈ５４	585,814百万円
Ｈ５５	580,867百万円
Ｈ５６	572,765百万円
Ｈ５７	566,240百万円
Ｈ５８	559,715百万円
Ｈ５９	554,698百万円
Ｈ６０	546,667百万円
Ｈ６１	540,142百万円
Ｈ６２	533,618百万円
Ｈ６３	528,400百万円
Ｈ６４	520,316百万円
Ｈ６５	513,665百万円
Ｈ６６	507,014百万円
Ｈ６７	501,723百万円
Ｈ６８	493,712百万円
Ｈ６９	487,061百万円
Ｈ７０	480,409百万円
Ｈ７１	444,586百万円

（注１）平成１８年度から平成２８年度までの上段（　）内は計画値、下段は実績値を、平成２９年度の上段（　）内は計画値、下段は実績見込値を記載している。

西日本高速道路株式会社における計画料金収入

別紙７－３

（消費税込み）

年度	計画料金収入
Ｈ１８	（ 643,757百万円 ） 660,282百万円
Ｈ１９	（ 652,624百万円 ） 655,944百万円
Ｈ２０	（ 644,959百万円 ） 622,483百万円
Ｈ２１	（ 547,669百万円 ） 523,929百万円
Ｈ２２	（ 566,717百万円 ） 553,587百万円
Ｈ２３	（ 546,542百万円 ） 567,040百万円
Ｈ２４	（ 549,281百万円 ） 584,334百万円
Ｈ２５	（ 552,462百万円 ） 602,823百万円
Ｈ２６	（ 647,514百万円 ） 722,404百万円
Ｈ２７	（ 658,713百万円 ） 747,267百万円
Ｈ２８	（ 715,852百万円 ） 755,413百万円
Ｈ２９	（ 725,342百万円 ） 750,899百万円
Ｈ３０	688,871百万円
Ｈ３１	726,422百万円
Ｈ３２	724,013百万円
Ｈ３３	719,505百万円
Ｈ３４	715,828百万円
Ｈ３５	717,273百万円
Ｈ３６	715,743百万円
Ｈ３７	715,720百万円
Ｈ３８	715,894百万円
Ｈ３９	717,960百万円
Ｈ４０	720,085百万円
Ｈ４１	722,751百万円
Ｈ４２	721,331百万円
Ｈ４３	714,081百万円
Ｈ４４	708,256百万円
Ｈ４５	704,653百万円
Ｈ４６	699,237百万円
Ｈ４７	694,115百万円
Ｈ４８	685,268百万円
Ｈ４９	678,258百万円
Ｈ５０	671,244百万円
Ｈ５１	666,013百万円
Ｈ５２	657,175百万円
Ｈ５３	650,149百万円
Ｈ５４	643,123百万円
Ｈ５５	637,887百万円
Ｈ５６	629,207百万円
Ｈ５７	622,237百万円
Ｈ５８	615,222百万円
Ｈ５９	609,870百万円
Ｈ６０	601,254百万円
Ｈ６１	594,257百万円
Ｈ６２	587,253百万円
Ｈ６３	581,551百万円
Ｈ６４	572,683百万円
Ｈ６５	565,405百万円
Ｈ６６	558,143百万円
Ｈ６７	552,435百万円
Ｈ６８	543,730百万円
Ｈ６９	536,520百万円
Ｈ７０	529,272百万円
Ｈ７１	490,887百万円

（注１）平成１８年度から平成２８年度までの上段（　）内は計画値、下段は実績値を、平成２９年度の上段（　）内は計画値、下段は実績見込値を記載している。

本州四国連絡高速道路株式会社における計画料金収入

別紙７－４

（消費税込み）

年度	計画料金収入
Ｈ１８	（ 75,422百万円 ） 78,335百万円
Ｈ１９	（ 75,021百万円 ） 78,320百万円
Ｈ２０	（ 72,084百万円 ） 74,240百万円
Ｈ２１	（ 54,982百万円 ） 54,268百万円
Ｈ２２	（ 54,506百万円 ） 56,375百万円
Ｈ２３	（ 53,810百万円 ） 61,954百万円
Ｈ２４	（ 56,893百万円 ） 64,828百万円
Ｈ２５	（ 55,949百万円 ） 65,990百万円
Ｈ２６	（ 62,880百万円 ） 64,811百万円
Ｈ２７	（ 61,476百万円 ） 66,967百万円
Ｈ２８	（ 62,345百万円 ） 67,652百万円
Ｈ２９	（ 61,974百万円 ） 65,582百万円
Ｈ３０	60,734百万円
Ｈ３１	59,451百万円
Ｈ３２	58,036百万円
Ｈ３３	56,654百万円
Ｈ３４	55,305百万円
Ｈ３５	54,136百万円
Ｈ３６	73,251百万円
Ｈ３７	72,476百万円
Ｈ３８	71,696百万円
Ｈ３９	71,125百万円
Ｈ４０	70,166百万円
Ｈ４１	69,467百万円
Ｈ４２	68,728百万円
Ｈ４３	68,173百万円
Ｈ４４	67,262百万円
Ｈ４５	66,545百万円
Ｈ４６	65,825百万円
Ｈ４７	65,301百万円
Ｈ４８	64,474百万円
Ｈ４９	63,780百万円
Ｈ５０	63,101百万円
Ｈ５１	62,599百万円
Ｈ５２	61,753百万円
Ｈ５３	61,094百万円
Ｈ５４	60,485百万円
Ｈ５５	60,006百万円
Ｈ５６	59,209百万円
Ｈ５７	58,579百万円
Ｈ５８	57,954百万円
Ｈ５９	57,533百万円
Ｈ６０	56,764百万円
Ｈ６１	56,151百万円
Ｈ６２	55,552百万円
Ｈ６３	55,222百万円
Ｈ６４	54,592百万円
Ｈ６５	54,120百万円
Ｈ６６	53,652百万円
Ｈ６７	53,331百万円
Ｈ６８	52,724百万円
Ｈ６９	52,270百万円
Ｈ７０	51,815百万円
Ｈ７１	48,181百万円

（注１）平成１８年度から平成２８年度までの上段（　）内は計画値、下段は実績値を、平成２９年度の上段（　）内は計画値、下段は実績見込値を記載している。

別紙８を次のとおり改める。

【機構の収支予算の明細】

別紙8

全国路線網

【特定更新等工事に係る債務を除くその他の債務の残高を示す収支予算の明細】

［ 百万円（消費税込み） ］

		未償還残高(期首)				会社からの引受け債務			収入			支出			収支差
		債務残高(期首)(注1)													
		有利子借入金	社会資本借入金	無利子借入金	出資金(注2)	有利子借入金	社会資本借入金	無利子借入金	貸付料	占用料等	出資金等	管理費等	支払利息	無利子貸付金	
2006年度	平成18年度	28, 239, 160	0	260, 505	3, 091, 490	113, 008	0	19, 557	1, 606, 686	9, 171	80, 000	72, 799	476, 169	0	1, 146, 889
2007年度	平成19年度	27, 205, 328	0	260, 458	3, 171, 490	427, 583	0	0	1, 612, 437	7, 574	82, 850	59, 064	429, 833	2, 850	1, 211, 114
2008年度	平成20年度	26, 430, 177	0	252, 077	3, 251, 490	407, 768	0	8, 523	1, 521, 223	11, 019	85, 673	62, 217	416, 242	5, 673	1, 133, 783
2009年度	平成21年度	23, 503, 417	0	234, 696	3, 331, 490	551, 074	0	0	1, 169, 404	9, 974	80, 000	32, 710	393, 897	0	832, 770
2010年度	平成22年度	23, 239, 101	0	217, 315	3, 411, 490	480, 983	0	0	1, 197, 413	8, 475	80, 000	37, 300	366, 990	0	881, 598
2011年度	平成23年度	23, 025, 618	0	199, 935	3, 491, 490	398, 793	0	0	1, 212, 206	4, 736	91, 572	291, 855	347, 917	11, 572	657, 170
2012年度	平成24年度	22, 784, 642	0	182, 553	3, 571, 490	1, 356, 491	0	49, 021	1, 309, 738	3, 779	97, 702	−1, 306	353, 584	37, 449	1, 021, 493
2013年度	平成25年度	23, 137, 021	0	165, 173	3, 631, 743	433, 260	0	0	1, 352, 947	68, 882	61, 347	47, 835	349, 752	0	1, 085, 589
2014年度	平成26年度	22, 503, 547	0	147, 792	3, 693, 090	802, 274	0	0	1, 706, 330	54, 859	34	72, 012	328, 793	34	1, 360, 385
2015年度	平成27年度	21, 962, 817	0	130, 412	3, 693, 090	951, 909	0	0	1, 765, 320	31, 352	447	65, 500	306, 738	447	1, 424, 434
2016年度	平成28年度	21, 507, 673	0	113, 031	3, 693, 090	454, 361	0	0	1, 763, 494	14, 139	6, 450	101, 297	283, 779	6, 450	1, 392, 557
2017年度	平成29年度	20, 586, 838	0	95, 670	3, 693, 090	1, 409, 199	0	35, 452	1, 750, 843	14, 613	32, 419	32, 576	264, 319	32, 419	1, 468, 562
2018年度	平成30年度	20, 556, 008	0	78, 333	3, 693, 090	2, 801, 492	0	4, 553	1, 564, 998	3, 397	5, 167	−72, 672	255, 324	5, 167	1, 385, 743
2019年度	平成31年度	22, 104, 790	0	61, 000	3, 715, 687	902, 751	0	6, 253	1, 626, 879	3, 398	5, 848	64, 842	253, 784	5, 848	1, 311, 650
2020年度	平成32年度	21, 713, 224	0	43, 667	3, 715, 687	3, 446, 400	0	8, 595	1, 621, 059	3, 398	7, 364	−105, 537	257, 881	7, 364	1, 472, 113
2021年度	平成33年度	23, 704, 844	0	26, 333	3, 715, 687	623, 751	0	2, 884	1, 662, 649	3, 398	2, 680	80, 332	364, 808	2, 680	1, 220, 907
2022年度	平成34年度	23, 125, 022	0	9, 000	3, 715, 687	240, 463	0	2, 571	1, 662, 807	3, 398	1, 816	109, 056	401, 119	1, 816	1, 156, 028
2023年度	平成35年度	22, 218, 457	0	0	3, 715, 687	995, 067	0	1, 546	1, 666, 230	3, 398	897	67, 143	415, 992	897	1, 186, 492
2024年度	平成36年度	22, 027, 031	0	0	3, 715, 687	1, 010, 645	0	1, 551	1, 688, 889	3, 398	284	53, 454	455, 011	284	1, 183, 822
2025年度	平成37年度	21, 853, 855	0	0	3, 715, 687	204, 080	0	0	1, 693, 501	3, 398	0	113, 161	483, 369	0	1, 100, 369
2026年度	平成38年度	20, 957, 566	0	0	3, 715, 687	165, 516	0	0	1, 699, 882	3, 398	0	115, 879	472, 219	0	1, 115, 183
2027年度	平成39年度	20, 007, 899	0	0	3, 715, 687	316, 197	0	0	1, 704, 792	3, 398	0	105, 138	484, 725	0	1, 118, 327
2028年度	平成40年度	19, 205, 769	0	0	3, 715, 687	182, 752	0	0	1, 703, 507	3, 398	0	114, 878	548, 203	0	1, 043, 824
2029年度	平成41年度	18, 344, 696	0	0	3, 715, 687	142, 620	0	0	1, 708, 568	3, 398	0	118, 198	573, 708	0	1, 020, 060
2030年度	平成42年度	17, 467, 256	0	0	3, 715, 687	283, 919	0	0	1, 704, 136	3, 398	0	107, 396	564, 503	0	1, 035, 635
2031年度	平成43年度	16, 715, 540	0	0	3, 715, 687	233, 512	0	0	1, 684, 227	3, 398	0	109, 885	545, 556	0	1, 032, 183
2032年度	平成44年度	15, 916, 868	0	0	3, 715, 687	250, 716	0	0	1, 661, 441	3, 398	0	107, 186	522, 304	0	1, 035, 348
2033年度	平成45年度	15, 132, 236	0	0	3, 715, 687	147, 855	0	0	1, 644, 993	3, 398	0	113, 091	494, 735	0	1, 040, 565
2034年度	平成46年度	14, 239, 526	0	0	3, 715, 687	151, 914	0	0	1, 626, 070	3, 398	0	111, 391	467, 969	0	1, 050, 108
2035年度	平成47年度	13, 341, 333	0	0	3, 715, 687	147, 682	0	0	1, 609, 718	3, 398	0	110, 490	441, 264	0	1, 061, 362
2036年度	平成48年度	12, 427, 653	0	0	3, 715, 687	148, 548	0	0	1, 582, 460	3, 398	0	108, 408	414, 158	0	1, 063, 291
2037年度	平成49年度	11, 512, 911	0	0	3, 715, 687	149, 176	0	0	1, 558, 338	3, 398	0	106, 576	383, 323	0	1, 071, 836
2038年度	平成50年度	10, 590, 250	0	0	3, 715, 687	148, 842	0	0	1, 534, 130	3, 398	0	104, 806	355, 641	0	1, 077, 080
2039年度	平成51年度	9, 662, 012	0	0	3, 715, 687	148, 662	0	0	1, 515, 878	3, 398	0	103, 469	318, 967	0	1, 096, 839
2040年度	平成52年度	8, 713, 835	0	0	3, 715, 687	149, 429	0	0	1, 486, 781	3, 398	0	101, 256	286, 867	0	1, 102, 056
2041年度	平成53年度	7, 761, 207	0	0	3, 715, 687	149, 533	0	0	1, 467, 083	3, 398	0	99, 789	250, 260	0	1, 120, 432
2042年度	平成54年度	6, 790, 308	0	0	3, 715, 687	149, 615	0	0	1, 446, 623	3, 398	0	98, 267	213, 794	0	1, 137, 960
2043年度	平成55年度	5, 801, 963	0	0	3, 715, 687	149, 857	0	0	1, 430, 892	3, 398	0	97, 085	177, 750	0	1, 159, 454
2044年度	平成56年度	4, 792, 366	0	0	3, 715, 687	148, 056	0	0	1, 404, 731	3, 398	0	95, 282	142, 775	0	1, 170, 072
2045年度	平成57年度	3, 770, 350	0	0	3, 715, 687	146, 152	0	0	1, 380, 559	3, 398	0	93, 629	108, 858	0	1, 181, 470
2046年度	平成58年度	2, 735, 032	0	0	3, 715, 687	146, 364	0	0	1, 362, 346	3, 398	0	92, 264	74, 735	0	1, 198, 744
2047年度	平成59年度	1, 682, 652	0	0	3, 715, 687	147, 374	0	0	1, 347, 511	3, 398	0	91, 090	30, 699	0	1, 229, 120
2048年度	平成60年度	600, 906	0	0	3, 715, 687	150, 414	0	0	1, 322, 022	3, 398	0	88, 976	260	0	1, 236, 183
2049年度	平成61年度	0	0	0	3, 230, 824	146, 151	0	0	1, 298, 635	3, 398	0	87, 565	0	0	1, 214, 468
2050年度	平成62年度	0	0	0	2, 162, 508	59, 919	0	0	517, 618	1, 379	0	34, 795	0	0	484, 202
2051年度	平成63年度	0	0	0	1, 738, 225	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2052年度	平成64年度	0	0	0	1, 738, 225	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2053年度	平成65年度	0	0	0	1, 738, 225	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2054年度	平成66年度	0	0	0	1, 738, 225	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2055年度	平成67年度	0	0	0	1, 738, 225	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2056年度	平成68年度	0	0	0	1, 738, 225	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2057年度	平成69年度	0	0	0	1, 738, 225	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2058年度	平成70年度	0	0	0	1, 738, 225	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2059年度	平成71年度	0	0	0	1, 738, 225	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2060年度	平成72年度	0	0	0	1, 738, 225										
計						22, 172, 126	0	140, 507	68, 557, 995	348, 674	722, 551	3, 700, 426	15, 078, 574	120, 951	50, 729, 269

(注1)上表の債務残高は「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律(昭和33年法律第34号)」に基づく高速道路利便増進事業のため、平成20年度において一般会計に承継した機構債務を反映し、平成22年度、平成23年度及び平成25年度において高速道路利便増進事業の計画変更に伴い見直しを行っている。また、平成30年度において一の路線・一般国道165号及び一般国道166号（南阪奈道路）の平成29年度期末の債務残高を反映している。
(注1・注2)上表の債務残高及び出資金は、平成31年度において阪神高速道路（兵都圏）に係る地域路線網の平成30年度期末の債務残高及び出資金を反映している。
(注2)平成63年度以降の出資金の残高（17兆円）は本州四国連絡高速道路に係るものであり、その取り扱いについては、機構の解散時までに検討することとしている。
(注3)平成18年度から平成28年度までは実績値を、平成29年度は実績見込値を記載している。
(注4)端数処理の関係上、計が合わないことがある。

【特定更新等工事に係る債務の残高を示す収支予算の明細】

［ 百万円（消費税込み） ］

		未償還残高(期首)	会社からの引受け債務		債務返済開始前の引受け債務に係る消費税相当額	債務返済開始前の支払利息相当額	収入		支出		収支差
		債務残高(期首)	有利子借入金								
		有利子借入金	特定更新等工事に係る債務	その他の債務			貸付料	占用料等	管理費等	支払利息	
2006年度	平成18年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2007年度	平成19年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2008年度	平成20年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2009年度	平成21年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2010年度	平成22年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2011年度	平成23年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2012年度	平成24年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2013年度	平成25年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2014年度	平成26年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2015年度	平成27年度	0	1, 653	0	−122	0	0	0	0	0	0
2016年度	平成28年度	1, 531	13, 537	0	−1, 003	15	0	0	0	0	0
2017年度	平成29年度	14, 079	37, 264	0	−2, 801	770	0	0	0	0	0
2018年度	平成30年度	49, 312	448, 999	0	−33, 214	2, 778	0	0	0	0	0
2019年度	平成31年度	467, 874	237, 410	0	−17, 589	5, 577	0	0	0	0	0
2020年度	平成32年度	693, 272	278, 757	0	−20, 650	8, 354	0	0	0	0	0
2021年度	平成33年度	959, 733	284, 180	0	−21, 052	13, 932	0	0	0	0	0
2022年度	平成34年度	1, 236, 793	284, 690	0	−21, 089	21, 330	0	0	0	0	0
2023年度	平成35年度	1, 521, 724	279, 135	0	−20, 680	29, 347	0	0	0	0	0
2024年度	平成36年度	1, 809, 526	287, 164	0	−21, 274	38, 029	0	0	0	0	0
2025年度	平成37年度	2, 113, 446	292, 620	0	−21, 679	46, 884	0	0	0	0	0
2026年度	平成38年度	2, 431, 272	287, 391	0	−21, 290	54, 877	0	0	0	0	0
2027年度	平成39年度	2, 752, 250	275, 791	0	−20, 433	73, 314	0	0	0	0	0
2028年度	平成40年度	3, 080, 922	261, 847	0	−19, 399	95, 198	0	0	0	0	0
2029年度	平成41年度	3, 418, 568	193, 914	0	−14, 364	116, 174	0	0	0	0	0
2030年度	平成42年度	3, 714, 292	0	0	0	130, 356	0	0	0	0	0
2031年度	平成43年度	3, 844, 648	0	0	0	136, 330	0	0	0	0	0
2032年度	平成44年度	3, 980, 978	0	0	0	142, 154	0	0	0	0	0
2033年度	平成45年度	4, 123, 132	0	0	0	147, 246	0	0	0	0	0
2034年度	平成46年度	4, 270, 378	0	0	0	153, 371	0	0	0	0	0
2035年度	平成47年度	4, 423, 749	0	0	0	158, 764	0	0	0	0	0
2036年度	平成48年度	4, 582, 513	0	0	0	166, 022	0	0	0	0	0
2037年度	平成49年度	4, 748, 535	0	0	0	173, 498	0	0	0	0	0
2038年度	平成50年度	4, 922, 034	0	0	0	186, 530	0	0	0	0	0
2039年度	平成51年度	5, 108, 563	0	0	0	187, 098	0	0	0	0	0
2040年度	平成52年度	5, 295, 661	0	0	0	192, 835	0	0	0	0	0
2041年度	平成53年度	5, 488, 496	0	0	0	197, 898	0	0	0	0	0
2042年度	平成54年度	5, 686, 394	0	0	0	202, 963	0	0	0	0	0
2043年度	平成55年度	5, 889, 357	0	0	0	205, 528	0	0	0	0	0
2044年度	平成56年度	6, 094, 885	0	0	0	211, 180	0	0	0	0	0
2045年度	平成57年度	6, 306, 065	0	0	0	219, 096	0	0	0	0	0
2046年度	平成58年度	6, 525, 160	0	0	0	229, 127	0	0	0	0	0
2047年度	平成59年度	6, 754, 287	0	0	0	245, 529	0	0	0	0	0
2048年度	平成60年度	6, 999, 816	0	0	0	254, 863	0	0	0	0	0
2049年度	平成61年度	7, 254, 679	0	0	0	254, 349	0	0	0	0	0
2050年度	平成62年度	7, 509, 028	0	87, 726	0	103, 813	757, 831	2, 019	50, 942	151, 989	556, 918
2051年度	平成63年度	7, 143, 649	0	149, 008	0	0	1, 258, 997	3, 398	84, 421	232, 223	945, 750
2052年度	平成64年度	6, 346, 907	0	149, 406	0	0	1, 232, 190	3, 398	82, 405	201, 829	951, 353
2053年度	平成65年度	5, 544, 961	0	150, 155	0	0	1, 209, 470	3, 398	80, 668	175, 604	956, 596
2054年度	平成66年度	4, 738, 520	0	149, 338	0	0	1, 187, 119	3, 398	79, 075	151, 235	960, 206
2055年度	平成67年度	3, 927, 652	0	148, 504	0	0	1, 167, 702	3, 398	77, 695	130, 152	963, 252
2056年度	平成68年度	3, 112, 905	0	148, 595	0	0	1, 142, 273	3, 398	75, 804	100, 358	969, 508
2057年度	平成69年度	2, 291, 992	0	148, 070	0	0	1, 119, 914	3, 398	74, 187	71, 209	977, 916
2058年度	平成70年度	1, 462, 147	0	148, 067	0	0	1, 097, 169	3, 398	72, 504	40, 257	987, 806
2059年度	平成71年度	622, 408	0	138, 571	0	0	819, 653	3, 178	52, 511	9, 340	760, 980
2060年度	平成72年度	0									
計			3, 464, 352	1, 417, 444	−256, 639	4, 405, 128	10, 992, 317	32, 377	730, 213	1, 264, 197	9, 030, 285

【未償還残高の総額】

［ 百万円（消費税込み） ］

		未償還残高(期首)			
		債務残高(期首)(注1)			
		有利子借入金	社会資本借入金	無利子借入金	出資金(注2)
2006年度	平成18年度	28, 239, 160	0	260, 505	3, 091, 490
2007年度	平成19年度	27, 205, 328	0	260, 458	3, 171, 490
2008年度	平成20年度	26, 430, 177	0	252, 077	3, 251, 490
2009年度	平成21年度	23, 503, 417	0	234, 696	3, 331, 490
2010年度	平成22年度	23, 239, 101	0	217, 315	3, 411, 490
2011年度	平成23年度	23, 025, 618	0	199, 935	3, 491, 490
2012年度	平成24年度	22, 784, 642	0	182, 553	3, 571, 490
2013年度	平成25年度	23, 137, 021	0	165, 173	3, 631, 743
2014年度	平成26年度	22, 503, 547	0	147, 792	3, 693, 090
2015年度	平成27年度	21, 962, 817	0	130, 412	3, 693, 090
2016年度	平成28年度	21, 509, 203	0	113, 031	3, 693, 090
2017年度	平成29年度	20, 600, 917	0	95, 670	3, 693, 090
2018年度	平成30年度	20, 605, 320	0	78, 333	3, 693, 090
2019年度	平成31年度	22, 572, 664	0	61, 000	3, 715, 687
2020年度	平成32年度	22, 406, 496	0	43, 667	3, 715, 687
2021年度	平成33年度	24, 664, 577	0	26, 333	3, 715, 687
2022年度	平成34年度	24, 361, 815	0	9, 000	3, 715, 687
2023年度	平成35年度	23, 740, 180	0	0	3, 715, 687
2024年度	平成36年度	23, 836, 557	0	0	3, 715, 687
2025年度	平成37年度	23, 967, 301	0	0	3, 715, 687
2026年度	平成38年度	23, 388, 838	0	0	3, 715, 687
2027年度	平成39年度	22, 760, 149	0	0	3, 715, 687
2028年度	平成40年度	22, 286, 691	0	0	3, 715, 687
2029年度	平成41年度	21, 763, 265	0	0	3, 715, 687
2030年度	平成42年度	21, 181, 548	0	0	3, 715, 687
2031年度	平成43年度	20, 560, 188	0	0	3, 715, 687
2032年度	平成44年度	19, 897, 846	0	0	3, 715, 687
2033年度	平成45年度	19, 255, 368	0	0	3, 715, 687
2034年度	平成46年度	18, 509, 904	0	0	3, 715, 687
2035年度	平成47年度	17, 765, 082	0	0	3, 715, 687
2036年度	平成48年度	17, 010, 167	0	0	3, 715, 687
2037年度	平成49年度	16, 261, 446	0	0	3, 715, 687
2038年度	平成50年度	15, 512, 283	0	0	3, 715, 687
2039年度	平成51年度	14, 770, 575	0	0	3, 715, 687
2040年度	平成52年度	14, 009, 496	0	0	3, 715, 687
2041年度	平成53年度	13, 249, 703	0	0	3, 715, 687
2042年度	平成54年度	12, 476, 702	0	0	3, 715, 687
2043年度	平成55年度	11, 691, 320	0	0	3, 715, 687
2044年度	平成56年度	10, 887, 251	0	0	3, 715, 687
2045年度	平成57年度	10, 076, 415	0	0	3, 715, 687
2046年度	平成58年度	9, 260, 192	0	0	3, 715, 687
2047年度	平成59年度	8, 436, 939	0	0	3, 715, 687
2048年度	平成60年度	7, 600, 722	0	0	3, 715, 687
2049年度	平成61年度	7, 254, 679	0	0	3, 230, 824
2050年度	平成62年度	7, 509, 028	0	0	2, 162, 508
2051年度	平成63年度	7, 143, 649	0	0	1, 738, 225
2052年度	平成64年度	6, 346, 907	0	0	1, 738, 225
2053年度	平成65年度	5, 544, 961	0	0	1, 738, 225
2054年度	平成66年度	4, 738, 520	0	0	1, 738, 225
2055年度	平成67年度	3, 927, 652	0	0	1, 738, 225
2056年度	平成68年度	3, 112, 905	0	0	1, 738, 225
2057年度	平成69年度	2, 291, 992	0	0	1, 738, 225
2058年度	平成70年度	1, 462, 147	0	0	1, 738, 225
2059年度	平成71年度	622, 408	0	0	1, 738, 225
2060年度	平成72年度	0	0	0	1, 738, 225
計					

別紙特２－１から別紙特２－４を次のとおり改める。

特定更新等工事に係る工事に要する費用に係る
債務引受限度額

特定更新等工事に係る工事に要する費用に係る債務引受限度額

（消費税込み）

年度	債務引受限度額
Ｈ２７	496百万円
Ｈ２８	1,450百万円
Ｈ２９	8,890百万円
Ｈ３０	152,694百万円
Ｈ３１	69,205百万円
Ｈ３２	89,583百万円
Ｈ３３	90,215百万円
Ｈ３４	79,911百万円
Ｈ３５	68,898百万円
Ｈ３６	75,516百万円
Ｈ３７	78,525百万円
Ｈ３８	77,760百万円
Ｈ３９	73,536百万円
Ｈ４０	67,679百万円
Ｈ４１	60,642百万円

（注1）平成２７年度から平成２８年度は実績値を、平成２９年度は実績見込値を記載している。

（注2）上記記載の債務引受限度額については、限度額に残余が生じた場合は、繰り越しを認めるものとする。

特定更新等工事に係る工事に要する費用に係る
債務引受限度額

特定更新等工事に係る工事に要する費用に係る債務引受限度額

（消費税込み）

年度	債務引受限度額
Ｈ２７	956百万円
Ｈ２８	4,172百万円
Ｈ２９	14,763百万円
Ｈ３０	128,984百万円
Ｈ３１	83,115百万円
Ｈ３２	96,086百万円
Ｈ３３	92,328百万円
Ｈ３４	89,333百万円
Ｈ３５	89,761百万円
Ｈ３６	94,268百万円
Ｈ３７	99,080百万円
Ｈ３８	96,940百万円
Ｈ３９	98,470百万円
Ｈ４０	106,868百万円
Ｈ４１	66,477百万円

（注1）平成２７年度から平成２８年度までは実績値を、平成２９年度は実績見込値を記載している。

（注2）上記記載の債務引受限度額については、限度額に残余が生じた場合は、繰り越しを認めるものとする。

特定更新等工事に係る工事に要する費用に係る
債務引受限度額

特定更新等工事に係る工事に要する費用に係る債務引受限度額

（消費税込み）

年度	債務引受限度額
Ｈ２７	105百万円
Ｈ２８	7,861百万円
Ｈ２９	13,535百万円
Ｈ３０	163,679百万円
Ｈ３１	83,087百万円
Ｈ３２	90,910百万円
Ｈ３３	99,486百万円
Ｈ３４	113,280百万円
Ｈ３５	118,343百万円
Ｈ３６	115,160百万円
Ｈ３７	112,867百万円
Ｈ３８	110,478百万円
Ｈ３９	101,588百万円
Ｈ４０	85,206百万円
Ｈ４１	64,643百万円

（注1）平成２７年度から平成２８年度は実績値を、平成２９年度は実績見込値を記載している。

（注2）上記記載の債務引受限度額については、限度額に残余が生じた場合は、繰り越しを認めるものとする。

特定更新等工事に係る工事に要する費用に係る
債務引受限度額

特定更新等工事に係る工事に要する費用に係る債務引受限度額

（消費税込み）

年度	債務引受限度額
Ｈ２７	96百万円
Ｈ２８	53百万円
Ｈ２９	76百万円
Ｈ３０	3,642百万円
Ｈ３１	2,003百万円
Ｈ３２	2,178百万円
Ｈ３３	2,151百万円
Ｈ３４	2,166百万円
Ｈ３５	2,133百万円
Ｈ３６	2,220百万円
Ｈ３７	2,148百万円
Ｈ３８	2,213百万円
Ｈ３９	2,197百万円
Ｈ４０	2,094百万円
Ｈ４１	2,152百万円

（注１）平成２７年度から平成２８年度までは実績値を、平成２９年度は実績見込値を記載している。

（注2）上記記載の債務引受限度額については、限度額に残余が生じた場合は、繰り越しを認めるものとする。